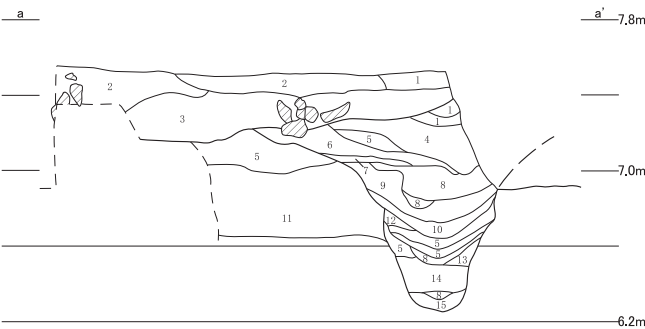
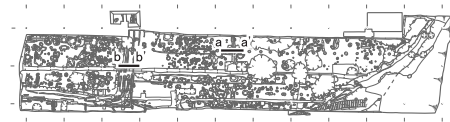


遺構4-600・道路7

No.	土色	土質	炭化物	焼土	植物	笏谷石 (cm)	その他の石 (cm)
1	灰黄褐色	10YR4/2	砂質土	少	少		
2	黄灰色	2.5Y4/1	砂質土	少	少	少(φ0.4)	
3	黄褐色	2.5Y5/3	砂質土	少	少		
4	暗黄褐色	2.5Y4/2	砂質土	少	少		
5	暗黄褐色	2.5Y4/2	砂質土	少	少		
6	黒褐色	2.5Y3/2	粘質土	少	少		
7	黒褐色	2.5Y3/2	粘質土	少	少		
8	オリブ褐色	2.5Y4/3	砂質土	少	少		少(φ1.0)
9	暗黄褐色	2.5Y4/2	砂質土	少	少	少(φ0.5)	
10	褐灰色	10YR4/1	砂質土	少	中		少(φ0.7)
11	褐色	10YR4/4	砂質土	少	少		

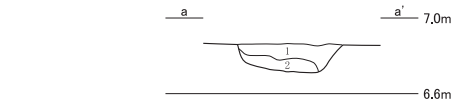
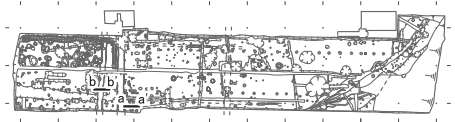
No.	土色	土質	炭化物	焼土	植物	笏谷石 (cm)	その他の石 (cm)
12	オリブ褐色	2.5Y4/3	砂質土	少			少(φ0.5~1.5)
13	黄灰色	2.5Y4/1	砂質土		中		
14	黄灰色	2.5Y4/1	砂質土	少	少	少(φ3.0~17.0)	少(φ0.5~2.0)
15	黄灰色	2.5Y4/1	砂質土	少	少		少(φ1.0)
16	暗褐色	10YR3/3	砂質土	少	少		少(φ0.5)
17	褐灰色	10YR4/1	砂質土	少			
18	灰黄褐色	10YR4/2	砂質土	少	少	少(φ0.5~1.0)	少(φ1.0)
19	黒褐色	10YR3/2	粘質土	少	少	少(φ0.5~2.0)	少(φ4.0)
20	灰黄褐色	10YR4/2	砂質土	少	少	少(φ0.2)	
21	暗オリブ褐	2.5Y3/3	砂質土	少	少		
22	オリブ褐色	2.5Y4/4	砂質土	少		少(φ0.8~2.0)	

砂利層



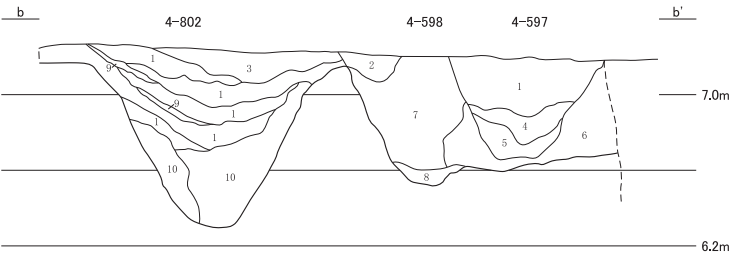
遺構10-1147

No.	土色	土質	炭化物	焼土	植物	笏谷石 (cm)	その他の石 (cm)
1	暗黄褐色	2.5Y5/2	砂質土	少			少(φ0.5~3.0)
2	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	少	少	少(φ0.5)	少(φ0.5)
3	暗黄褐色	2.5Y5/2	粘質土	少	少	少(φ0.5~25.0)	少(φ0.5~5.0)
4	暗黄褐色	2.5Y4/2	粘質土	少	少	少(φ0.5)	少(φ0.5)
5	黄灰色	2.5Y4/1	粘土	少	少		
6	暗オリブ色	5Y4/3	シルト	少	少		
7	黒色	5Y2/1	シルト	多	少		少(φ0.5)
8	灰オリブ色	5Y3/3	シルト	少	少		
9	黄灰色	2.5Y4/1	粘土	少	少	少(φ0.5)	
10	黒褐色	2.5Y3/1	粘土	少	少	少(φ0.5)	
11	黒褐色	10YR3/1	粘土	少	少		
12	灰色	5Y4/1	粘土	少	少		
13	灰オリブ色	5Y5/2	粘土	少	少	少(φ0.1)	
14	灰色	5Y4/1	粘土	少	少	少(φ0.5~1.0)	
15	オリブ黒色	5Y3/1	粘土	少	少	少(φ1.0)	



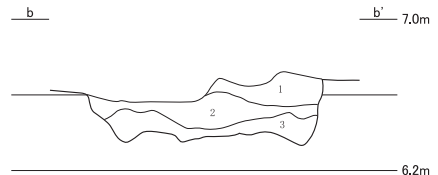
遺構2-452

No.	土色	土質	炭化物	焼土	植物
1	黄灰色	2.5Y4/1	粘質土	少	
2	褐灰色	10YR4/1	粘質土		少



遺構4-597・598・802

No.	土色	土質	炭化物	焼土	植物	笏谷石 (cm)	その他の石 (cm)
1	灰オリブ色	5Y4/2	粘質土	少	少		少(φ1.0~3.0)
2	灰オリブ色	5Y4/2	粘質土	少	少		中(φ1.0~10.0)
3	灰オリブ色	5Y4/2	粘質土	中	少	少(φ1.0~3.0)	少(φ1.0~2.0)
4	灰色	5Y4/1	粘質土	少	少		
5	暗オリブ色	5Y4/3	粘質土	少	少		少(φ0.5~1.0)
6	黄灰色	2.5Y4/1	粘土	少	少	少(φ1.0~3.0)	少(φ1.0~3.0)
7	オリブ黒色	5Y3/2	粘質土	中	少	少(φ1.0~3.0)	中(φ1.0~5.0)
8	オリブ色	5Y6/6	シルト				
9	オリブ黄色	7.5Y6/3	粘質土	少	少		
10	暗青灰色	5BG4/1	粘土				



遺構4-860

No.	土色	土質	炭化物	焼土	植物
1	黒褐色	2.5Y3/1	粘質土	少	少
2	黒色	10YR5/6	粘質土	少	少
3	暗オリブ色	2.5Y4/1	粘質土	少	少

図133 区画③ 溝・砂利敷道路 (S=1/40・1/60)

吉野川東岸調査区 吉野川東岸調査区は中世後半より遺構が確認される。遺構面は溝状遺構を中心とした下面と、溝を埋め立て丁寧に整地し広場？とした上面の2面が確認された。主な遺構は溝状遺構・土坑である。なお、上面は遺構皆無のため遺構配置図は1面のみ記載した(図134)。

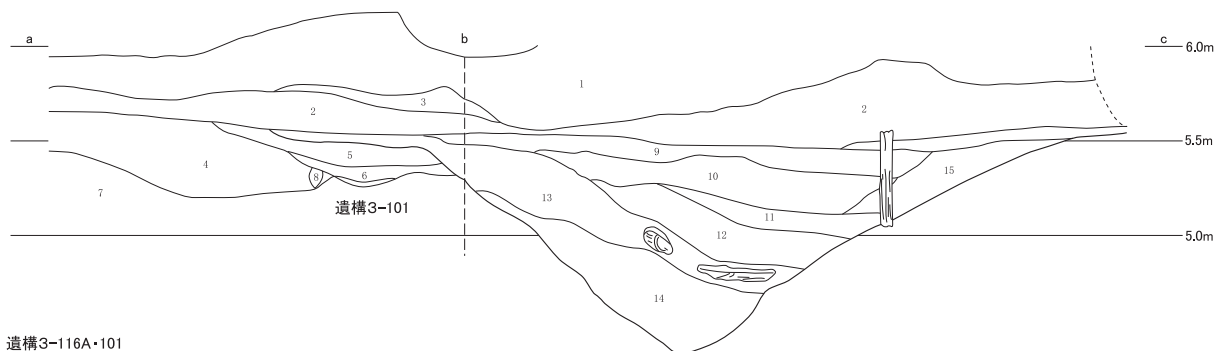
溝 吉野川流路に平行して流れる。確認された3条の溝3-116・117・118である。3-116・117間は遺構肩から測り約3mで、3-117・118間は約5m開く。いずれも断面形状は緩やかな角度の薬研掘りである。幅・深さとも大きな変化はなく、幅約3m、深さ1mを測る。断面図からみると、遺構壁面の自然崩落による自然堆積の後、人工的に埋め立てられた。3-116や3-117(図135・136)では西(川)側から土砂を入れる様子が顕著であるが、他の断面でも西(川)側から堆積する傾向がみえる。

遺構3-253は、遺構3-116から直角に吉野川へ流れる溝である。溝中央を遺構3-10・工事矢板打ち込みに伴う攪乱により分断され、本来一続きなのか、中央で土橋状に掘り残すのか不明である。溝は断面逆台形で、幅約0.8m、深さ約0.4mを測る。

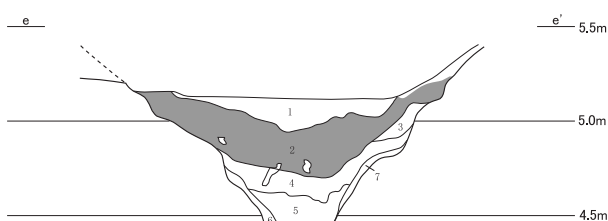
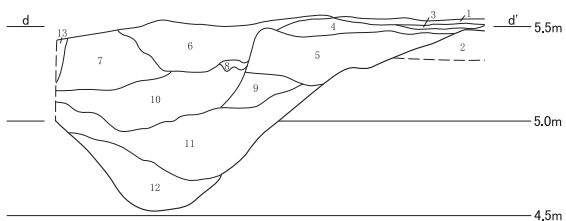
土坑 遺構3-310は銭貨約20枚が纏まって出土した(図136)。意識的に埋納したとも考えられるが明確に穴の輪郭を捉えられず、確証はない。銭貨は一連の銭縷であったものと見られる。遺構3-09は長方形に近い不整形土坑である(図137)。長辺7.10m、深さ1.1mを測る。土層を観察すると、下半部は徐々に自然堆積し、上半部は一気に埋め立て、最上部は丁寧に整地を行った(沈下の度に土を盛った)ように看取された。平面形状は2つの土坑が切り合うように見えるが、明確ではない。3-10は3-09に近接した不整形土坑である(図137)。長辺5.7m、深さ1.8mを測る。層状に堆積し、大きな乱れはない。土坑3-09・10は溝3-116~118が埋め立てられ、整地された面からの遺構であり、溝群より一時期新しい。遺構3-14(図134)は不整形で調査区端のため全容は窺えなかった。遺物は少ない。

整地層 遺構ではないが付け加えておく。溝3-116~118を埋め立て廃絶時、さらに全体を覆うように丁寧な整地をする。厚み0.05~0.1mで、砂質土-有機物-砂質土と互層で重ねる。とくに3-116~117間では砂質土が非常に硬く締まっていた。さらに、この層中には笏谷石礫が遺物と共に散在する部分もある。笏谷石礫には上面が平らで礎石状に据えられていたものもあるが、建物などには復元できなかった。写真図版25(上)は、この整地土を除去、笏谷石群を浮き上がらせた状況での記録である。

福井市街地で不明な中世の様相を垣間見た。遺構面は海拔5.5m前後で、現湧水層4.0mに比べわずか1.5mしかない川岸の低地であり、中世前半以前の遺構は見つかっていない。溝3-116~118がこの地区最古の遺構である。性格・空間配置など不明だが吉野川東岸地区に突如大規模開発が始まったことは意義深い。時期的には遺物の編年観から16世紀第2~3四半期、朝倉期を想定するが検討を要する。上面整地面は明確にこの時期と言える遺構がなく、ただ空閑地が広がる意味不明な空間だが、丁寧に整地の様子は下面同様大規模開発の一環と考えさせ、空閑地を意義あるものと位置づけさせる。いずれにせよ上・下面とも朝倉期の北庄の繁栄と拡大、これに続く柴田氏や丹羽氏などの北庄城・城下町整備という一連の流れの中で捉えるべき遺構群と考えられ、今後の、とくに旧吉野川東岸地区の空間復元に示唆を与える成果と言えよう。福井駅高架関連の調査(平成13~15年度)でも16世紀代の遺構群が確認されており、中世北庄解明を目的とした今後の周囲の調査が期待される。(河村)



遺構3-116A・101



遺構3-116B

No.	土色	土質	炭化物	焼土	植物	笏谷石 (cm)	その他の石 (cm)
1	オリーブ色	5Y5/6	砂質土	少			
2	緑灰色	10GY5/1	粘質土	少			
3	黄灰色	2.5Y4/1	粘質土	中	中		
4	灰オリーブ色	5Y5/2	粘質土	少	少		少 (φ0.5~1.0)
5	灰オリーブ色	5Y6/2	粘質土	少			
6	灰色	5Y5/1	粘質土	少			
7	緑灰色	5G5/1	粘質土	少	少		
8	黄灰色	2.5Y5/1	粘質土	中			
9	緑灰色	5G5/1	粘質土				
10	緑灰色	5G5/1	粘質土		少		
11	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	少			
12	灰色	10Y5/1	粘質土	少	少		
13	灰オリーブ色	5Y5/2	粘質土	中			

遺構3-116C

No.	土色	土質	炭化物	焼土	植物	笏谷石 (cm)	その他の石 (cm)
1	オリーブ黒色	5Y3/1	粘質土	少			
2	オリーブ黒色	5Y3/1	粘質土	中	中		
3	オリーブ黒色	5Y3/2	粘質土	少	少		
4	オリーブ黒色	5Y3/1	粘質土	少	少		
5	灰色	7.5Y4/1	粘質土		少		
6	オリーブ黒色	5Y3/1	粘質土				
7	灰色	5Y4/1	粘質土				

■ ゴミ層

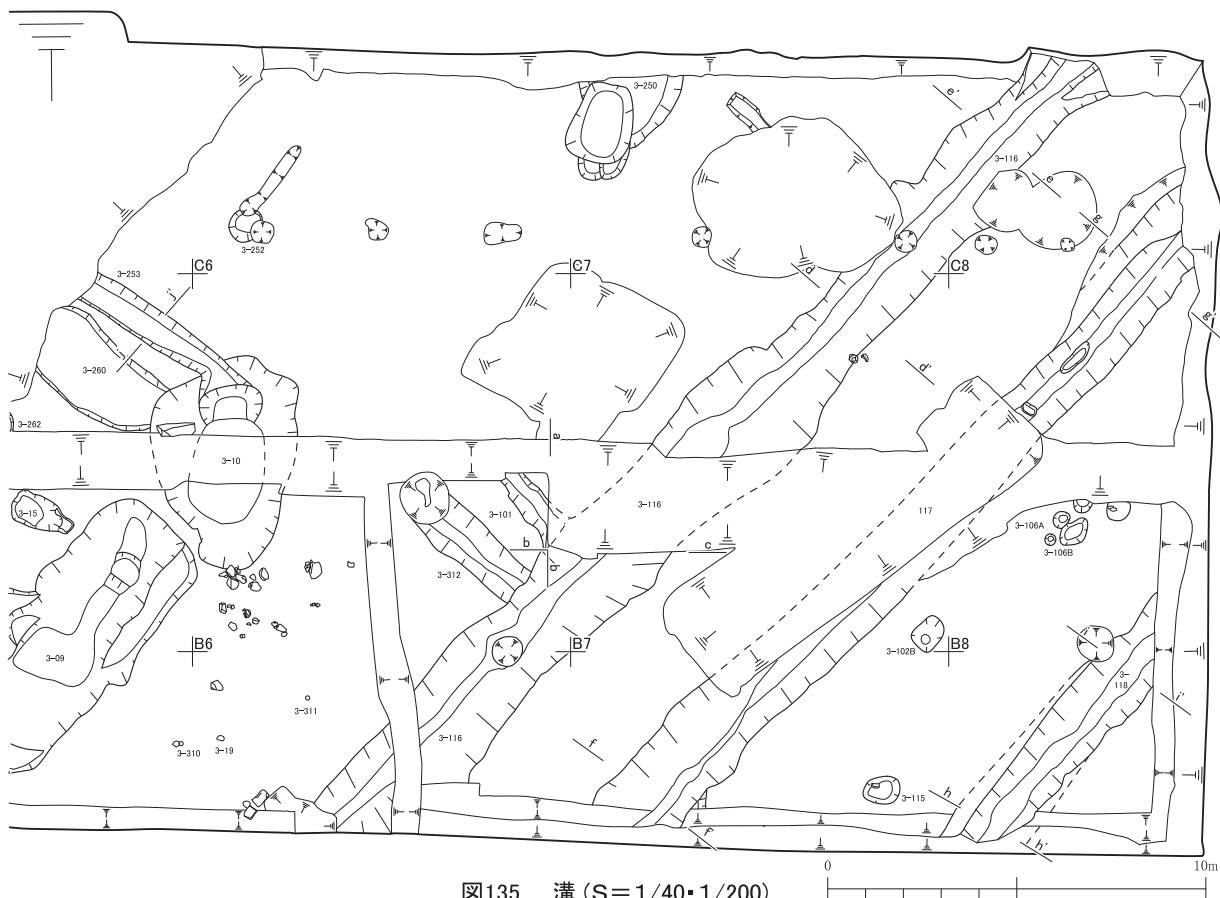
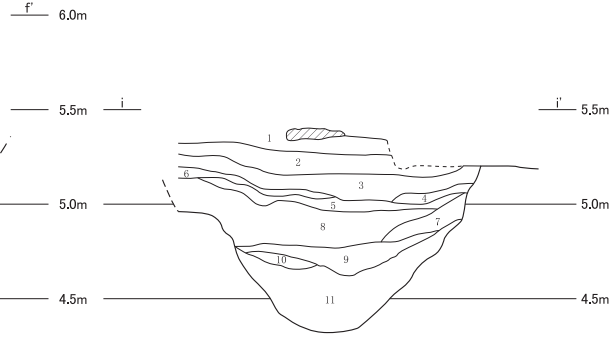
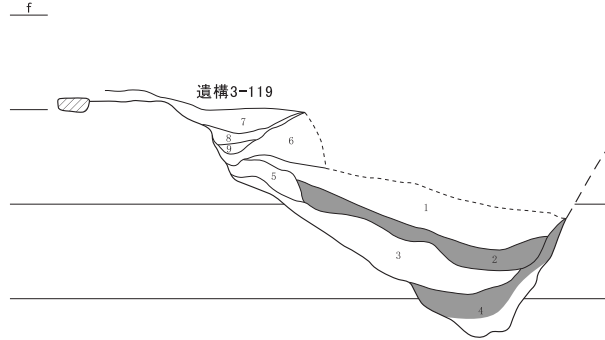


図135 溝 (S=1/40・1/200)

遺構3-116A・101

No.	土色	土質	炭化物	焼土	植物	笏谷石(cm)	その他の石(cm)	備考
1	青灰色	10BG5/1	粘質土	少		少(φ2.0~4.0)		
2	黄灰色	2.5Y5/1	粘質土					
3	オリーブ灰色	5GY5/1	粘質土					
4	灰色	7.5Y5/1	粘質土					
5	黒褐色	10YR3/1	粘質土	中	多			
6	灰オリーブ色	5Y5/2	粘質土	少	中		中(φ1.0~3.0)	
7	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土					

No.	土色	土質	炭化物	焼土	植物	笏谷石(cm)	その他の石(cm)	備考
8	灰色	N5/0	粘質土	少				
9	灰色	10Y5/1	粘質土	中	中			
10	黒褐色	2.5Y3/2	粘質土	多	少	多	少(φ1.0~2.0)	ビード層
11	灰色	10Y5/1	粘質土	少	少			
12	黒褐色	2.5Y3/2	粘質土	多	少	多		ビード層
13	灰色	10Y5/1	粘質土	少	少			
14	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	少	少			
15	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	少	少			



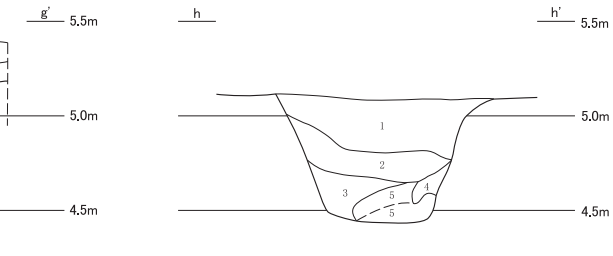
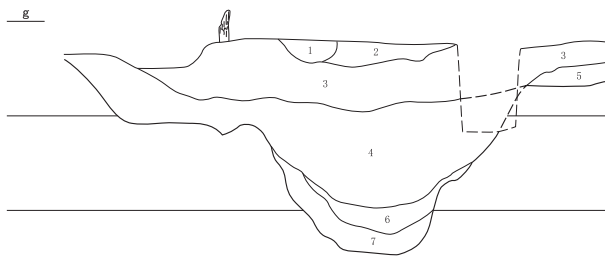
遺構3-117A

No.	土色	土質	炭化物	焼土	植物	笏谷石(cm)	その他の石(cm)	備考
1	オリーブ灰色	5GY5/1	粘質土	少				
2	暗オリーブ灰色	5GY4/1	粘質土	少	少			
3	緑灰色	7.5GY5/1	粘質土					
4	緑灰色	7.5GY5/1	粘質土					
5	オリーブ灰色	5GY5/1	粘質土					
6	オリーブ灰色	5GY5/1	粘質土	少	少			遺構119
7	黄灰色	2.5Y5/1	粘質土	少				遺構119
8	オリーブ色	5Y5/4	砂質土					
9	オリーブ灰色	5GY5/1	粘質土		少			

■ ゴミ窟

遺構3-118A

No.	土色	土質	炭化物	焼土	植物	笏谷石(cm)	その他の石(cm)	備考
1	灰色	7.5Y5/1	粘質土	少	少			
2	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	少				
3	灰色	7.5Y5/1	粘質土	中	中			
4	灰色	7.5Y5/1	粘質土	少	少			
5	灰色	7.5Y5/1	粘質土	多	中			
6	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	少				
7	灰色	10Y5/1	粘質土	少				
8	灰色	10Y5/1	粘質土	少	少			
9	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	多	中			
10	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	少				
11	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	少				

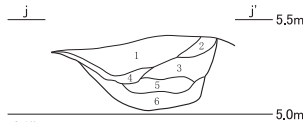


遺構3-117B

No.	土色	土質	炭化物	焼土	植物	笏谷石(cm)	その他の石(cm)	備考
1	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘質土	中	少		少(φ1.5)	
2	オリーブ褐色	2.5Y4/3	粘質土	少	少			
3	オリーブ黒色	10Y3/1	粘質土	少	少			
4	オリーブ黒色	10Y3/1	粘質土	少	少		少(φ0.5)	
5	オリーブ黒色	10Y3/1	粘質土					
6	黄灰色	2.5Y4/1	粘質土		少			
7	暗オリーブ灰色	2.5GY4/1	粘質土	少				

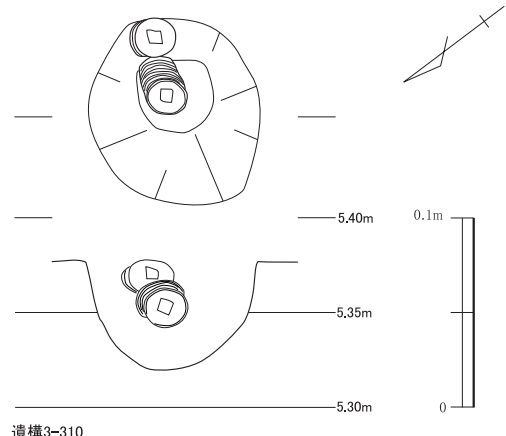
遺構3-118B

No.	土色	土質	炭化物	焼土	植物	笏谷石(cm)	その他の石(cm)	備考
1	灰色	10Y5/1	粘質土	少	少			
2	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	少		少		
3	オリーブ灰色	5GY5/1	粘質土	少		少		
4	オリーブ灰色	5GY6/1	粘質土		少			
5	暗オリーブ灰色	2.5GY4/1	粘質土	少				



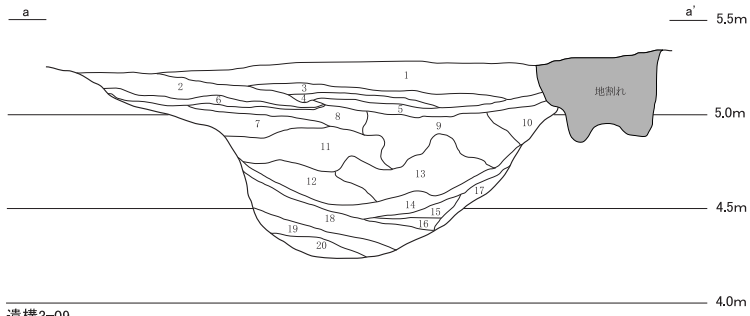
遺構3-253

No.	土色	土質	炭化物	焼土	植物	笏谷石(cm)	その他の石(cm)	備考
1	灰色	10Y5/1	粘質土	少	少			
2	灰色	10Y5/1	粘質土	少	少			
3	オリーブ灰色	5GY5/1	粘質土	少				
4	オリーブ色	5GY5/1	粘質土	少	中			
5	オリーブ灰色	5GY5/1	粘質土	少				
6	緑灰色	10GY5/1	粘質土					



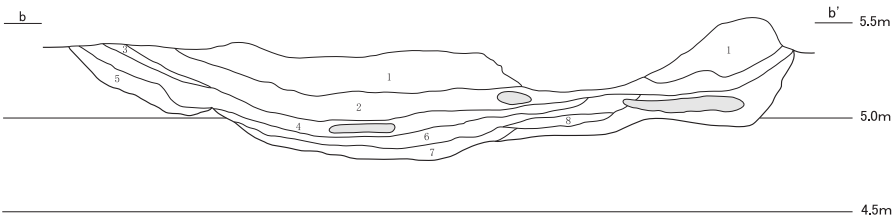
遺構3-310

図136 溝・銭貨出土状況(S=1/40・1/4)



No.	土色	土質	炭	焼	植	備考
1	青灰	10BG5/1	粘質土	少	少	
2	青灰	10BG5/1	粘質土	少	少	
3	灰オリーブ	5Y5/2	粘質土	中	少	
4	青灰	10BG5/1	粘質土	少	少	
5	灰オリーブ	5Y5/2	粘質土	中	少	
6	緑灰	10G5/1	粘質土	少	少	
7	青灰	5BG5/1	粘質土	少	中	
8	青灰	5BG5/1	粘質土	少	少	
9	緑灰	10G5/1	粘質土	少	少	
10	緑灰	10G5/1	粘質土	少	少	
11	青灰	10BG5/1	粘質土	少	中	
12	緑灰	5G5/1	粘質土	少	中	
13	緑灰	5G5/1	粘質土	少	中	
14	灰オリーブ	5Y4/2	粘質土	多	中	遺物多く含む。
15	黄灰	2.5Y4/1	粘質土	中	中	
16	黒褐	7.5Y3/1	粘質土	多		
17	オリーブ灰	2.5GY5/1	粘質土	中		
18	オリーブ灰	5GY5/1	粘質土	少	中	
19	オリーブ灰	5GY5/1	粘質土	少	中	
20	オリーブ灰	5GY5/1	粘質土	少	中	

■ 地割れ



No.	土色	土質	炭	焼	植	笏谷石 (cm)	備考
1	青灰	10BG5/1	粘質土	少			
2	灰	5Y4/1	粘質土	中		少 (φ5.0)	ゴミ層
3	灰	10Y4/1	粘質土	中			ゴミ層
4	オリーブ灰	2.5GY5/1	粘質土	中			
5	黒	10Y2/1	粘質土	多	少		
6	緑灰	10GY5/1	粘質土	少	少		
7	オリーブ灰	5GY5/1	粘質土				

■ 笏谷石を含む層

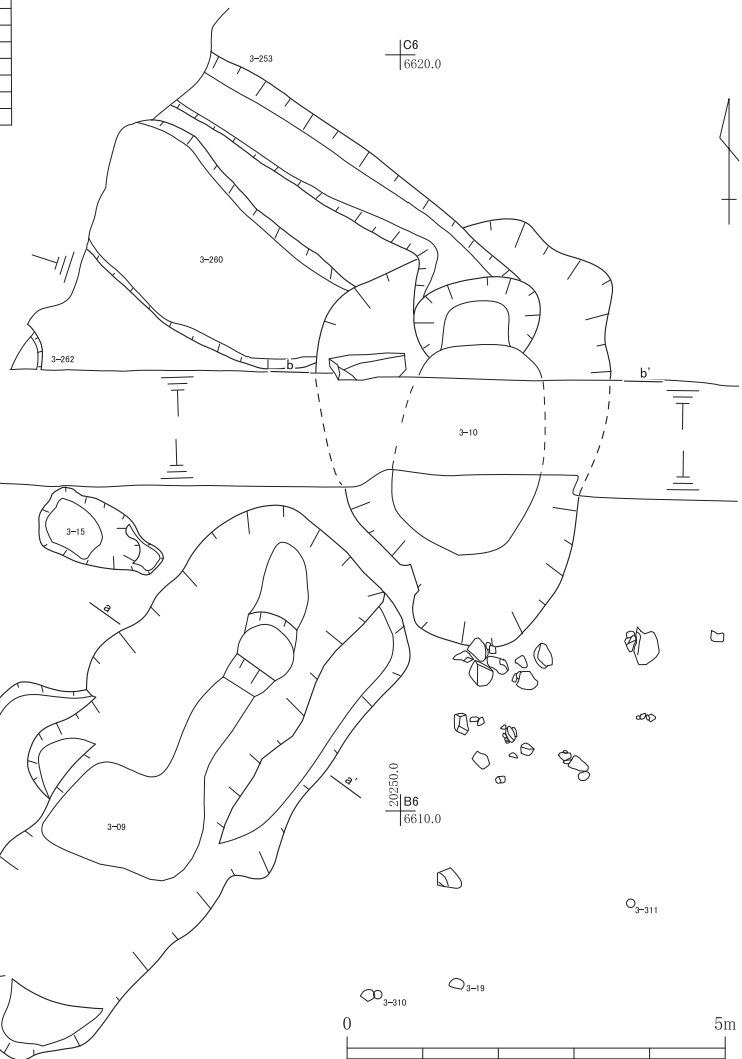


図137 土坑 (S=1/40・1/100)

2. 遺物

土器・陶磁器

出土遺物は時期的には中世後半、15世紀後半から16世紀後半が中心である。産地別では、施釉陶器は瀬戸美濃。焼締陶器は越前焼、僅かに信楽焼。土師質土器。中国産では竜泉窯系青磁、景德鎮系白磁・青華、軟質白磁。李氏朝鮮産の蕎麦手陶器等である。本項でもまず産地毎に概要を述べ、挿図版では一括性を重視し遺構種別・遺構毎に編集した。

1) 瀬戸美濃焼；古瀬戸後期から大窯期に至る時期のものが出土している。器種毎にみてゆく。碗は天目茶碗が圧倒的に多い。主として鉄釉を掛け、露体部に錆釉を塗る大窯前半のものが大半である。包-16は上半部が欠けるが天目形で高台のつくりや釉調から古瀬戸(穴窯期)と考えられる。高台のみだが217-16は高台内に一文字刻線、217-17は放射状に墨線を入れる。灰釉碗は比較的小量である。板石-1、806-1、510-1は青磁写しである。1338-1は平碗である。丸碗類も少量みられるが細片が多い。天目茶碗以外の茶陶が多いのも特色である。鉄釉茶入(包-14・15)はいずれも器壁はやや薄く丁寧な作行きである。大海茶入(2A-12、3A-2)戦国期に多くみられるが、3A-2は無釉で焼締、底部の糸切り痕を残さないが、胴中央の凹線をうっすらと残す。小壺とともに茶壺(四耳壺；3009-1)も出土している。艶のない鉄釉を刷毛塗りし、肩部に耳を付ける。いわゆる祖母懷壺である。鉄釉小坏(2A-5)は漆継ぎ痕が残る。直径10cm前後の小皿は多い。大きくは古瀬戸系の縁釉皿と大窯の灰釉小皿に分かれる。大半は灰釉丸皿(2A-7・8、1009-1、587-2、3313-1、3117-1、3313-1、3B-2等)の他、稜皿(207-3、3009-6)もみえるが折縁皿は確認されなかった。縁釉皿(297-3、1138-1、1338-2)や卸皿(207-2、217-22)は細片も加えると多く出土している。菊形の入子皿(包-5)はうっすらと自然釉が掛かる。灰釉卸目付大皿(9222-3)深皿(217-23、297-2、598-2)も細片を加えると多い。鉄釉香炉(217-24)は袴腰形で低い3脚を付ける。この遺構周辺では仏具・石塔類も出土している。鉄釉鉢(587-3)は低い3脚を付け、袴腰状に胴部を括らせ、口縁部は外へ開き波打つ。内部は露胎のため香炉か。灰釉燭台(994-1、912-1)は2基出土している。外見は同様だが994-1は粘土紐を積み上げるのに対し912-1は袋状の胴部に脚部を付け足す。石裏1は鉄釉水注で、胴部に注口を付ける。

2) 越前焼；近世と違い一乗谷朝倉氏遺跡に近い器種構成である。中心は擂鉢、甕、壺等だが時期幅は広く13世紀まで遡るのみみられる。大甕522-3、9123-1はいずれも埋甕として埋設されていた。9123-1は口縁部が楕円形に大きくゆがむ。口縁部歪みのないことから肩より上は楕円形に成形したと考えられる。類品は福井駅構内地点、北陸新幹線関連地点でも出土している。何れも9123-1と同じ容量の大甕で他の容量の甕ではみられない。時期的にも16世紀(期)に限定される。以上から特定用途向けに作られたと考えられる。520-1は壺である。肩部に窯印を線刻する。出土時、焼土に覆われていたが壺そのものは被災しておらず木箱等に入れられていたか。さらに肩部に紙状のものが広く付着していたことから紙で蓋がされていたとおもわれる。擂鉢は大量に出土している。口縁端部を丸くし、内面口縁2cm下に沈線を1本巡らせる。擂目は底部から引き上げこの沈線で意識的に止める15世紀代(期)のもの(石下2、912-2、594-3、217-25・28)。口縁端部がやや尖る断面三角形状で内面口縁直下に沈線が1本巡り、擂目は底から途中で止めず一気に引き抜く16世紀代(期)のものがみられる。期のもものはさらに口縁端部を四角く面取りし、内面口縁2cm下に沈線を1本巡らせ、擂目は沈線で意識的に止めると期の過渡的形態を示すもの(217-26・27、9222-4、1009-9)。丸い口縁端部に沈線を回す13~14世紀の形態をのこすもの(板石10・18、802-1)に分けられる。912-2は内面のみならず外面にも擂目を施す。

包-4 は摺目を櫛書きと1本線の両方を認められ珍しい。捏鉢 587-4 は内面に 520-1 と同じ窯印を線刻する。薬研 (811-1) は中央に棒を通す角穴を開ける。笏谷石製品も出土しており対比される。

3) 信楽焼; 摺鉢 2B-5 は赤褐色を呈し、長石粒が少量混じる。口縁端部に段を付ける。茶陶以外の信楽焼は国際交流会館地点でも出土している。壺 217- は白灰色の胎土で長石粒を多く含む。壺と考えられるが、花瓶等茶陶の可能性もある。

4) 土師質土器; 大部分は皿である。土坑 10-5015 出土の3枚セット、217-54 は13世紀後半の特色を持つ。これ以外は15世紀後半から16世紀後半にかけてのものである。器形的には見込みの平らと丸いものがある。器壁は薄く精緻なものと厚いものがみえる。胎土色調は白に近いものと赤色系がある。その他羽釜 (217-35) や、棒状のものに粘土を巻き付けた簡単な作りの土錘 (217-36、297-8) がある。

5) 瓦質土器; 風炉、火鉢等みられるが、細片が多く図化し得るものは極めて少ない。802-2 は風炉の脚とおもわれる。

6) 貿易陶磁; 中国製品 産地は中国・李氏朝鮮等みられる。中国製品の中心は青磁碗・皿類である。外面縦線刻と剣頭で蓮弁を簡略化したタイプのもの、外面素紋で見込みに印を押したものに大別されるがいずれも15世紀後半から16世紀代のものが中心だが、鎬蓮弁の292-2 等中世前半の遺物も混じる。皿は碗に比べ少ない。直径13cm前後の稜花皿が目立つ (595-3、217-5、207-4)。直径9cm前後の小皿類 (217-4) も少量出土している。大皿は細片が多い。3層-4 は見込みに放射状の線刻を施し、口縁部をつまみ上げ折縁とする。217-7 は酒会壺蓋である。外面には牡丹紋が施され、内面は壺口縁があたらない部分は施釉する。白磁は口径12cm前後の端反皿と小坏等軟質胎土の小品に大別される。端反皿は多くの遺構から出土しているが、いずれも同形同大である。軟質白磁では口径約8~9cmの六角坏 (板石3)、皿 (583-1、292-3、217-12) と口径12cm (806-3、297-1) に分かれる。217-12・13の見込みには窯積みの際の重ね跡が残る。高台内に記号を漆書きされるものが軟質白磁に限りみられる。丸点の星を幾つか描くもの (292-3、806-3)、方形を描くもの (297-1)、点のみ (598-1) 等みられる。染付は碗・皿等食器類中心である。器種別に碗からみてゆく。3A-3 は見込み部が盛り上がった饅頭心である。3層-1、594-1、217-14 は器壁が他に比べ薄い。皿は碗等に比べ多い。底が高台のものと碁笥底に大別される。806-2、9129-3、931-1 は端反皿である。806-2、129-3 は口径12cm、931-1 は一周り小さく9.5cmである。3103-1、2A-8 は底部のみながら口径12cmクラスと考えられる。碁笥底のものはさらに二種類に分類される。839-3、931-2、3103-3 は口径に対し高台径が小さく外見球形のもの。包-13 は高台径が839-3等に比べ大きいため見込み平坦部の広いものである。小坏は近世福井城期と比べ少ない。600-1 は口縁端部が端反り、外面区画割りし花紋が描かれる。3100-2 は華南三彩菊形小皿である。口径6cm、釉は銀化し、本来の色調を失うが浅葱交趾と考えられる。高台内に印がわずかにみえる。

李朝陶器 蕎麦手の碗・小皿、叩き成形の徳利である。包-11 は蕎麦手碗である。見込みに6ヶ所の目跡が残る。鏡部立ち上がり境に明瞭な段はつけない。包-12 は口径9.5cmを測る蕎麦手小皿である。目跡を見込みに3ヶ所残す。実測できたのはこれ1点だが細片は数多く確認されており大量に輸入・使用されていた様である。1281-1 は徳利である。器壁を極限まで薄くする。胎土は赤橙色で黄色粘土と練り込みになるものもある。肩部に刻線で記号を刻む。形状を復元できたのはこれ1点だが、今回の調査で細片は数多く出土している。福井県下では17世紀初期まで下がるが下筋生田畑田遺跡で出土している (福井県埋蔵文化財調査報告第11集『六条・和田地区遺跡群』昭和62年) 他、16世紀代の遺跡では細片ながら出土する例は多い。

(河村)

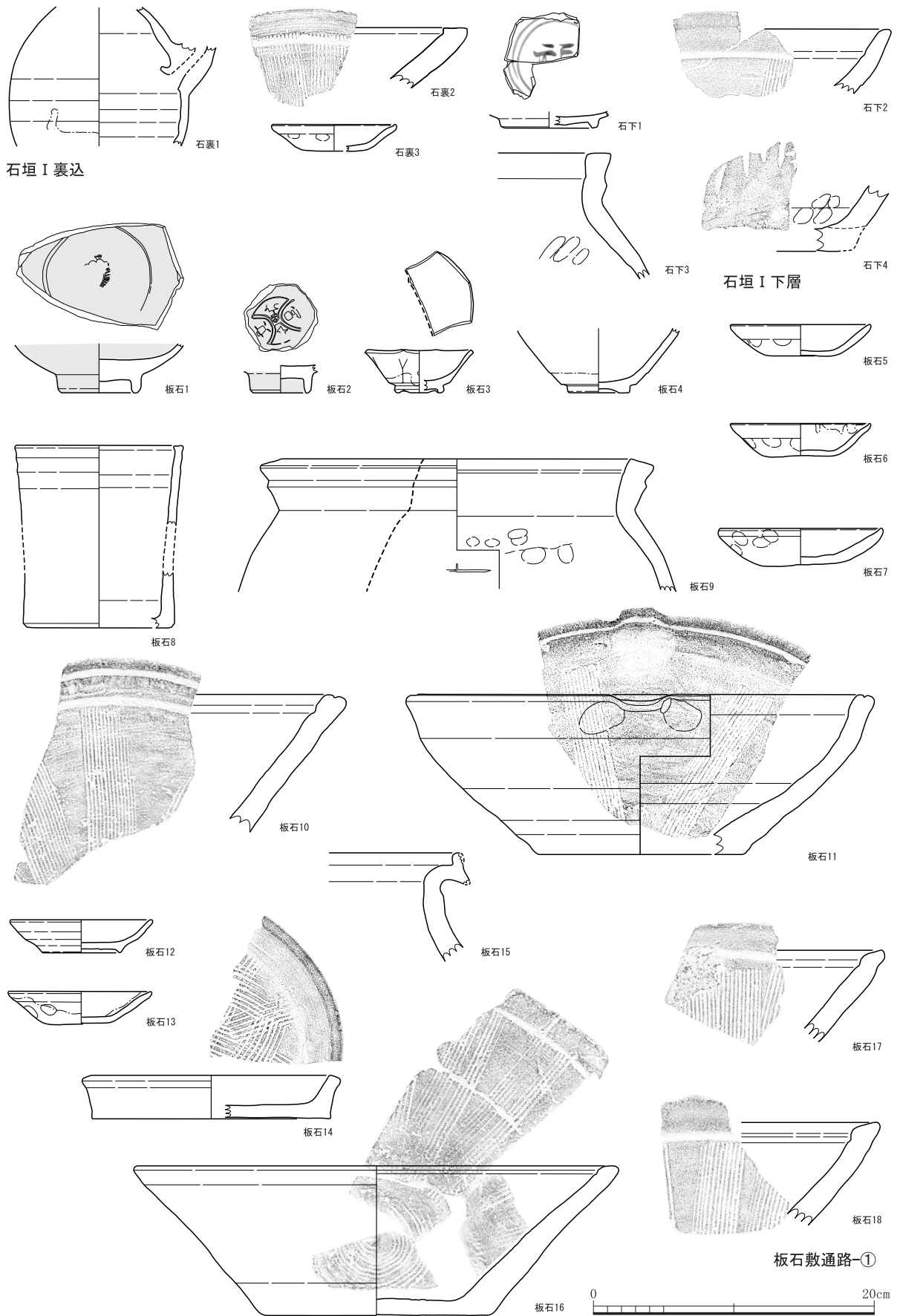


图138 土器・陶磁器① (S = 1/4)

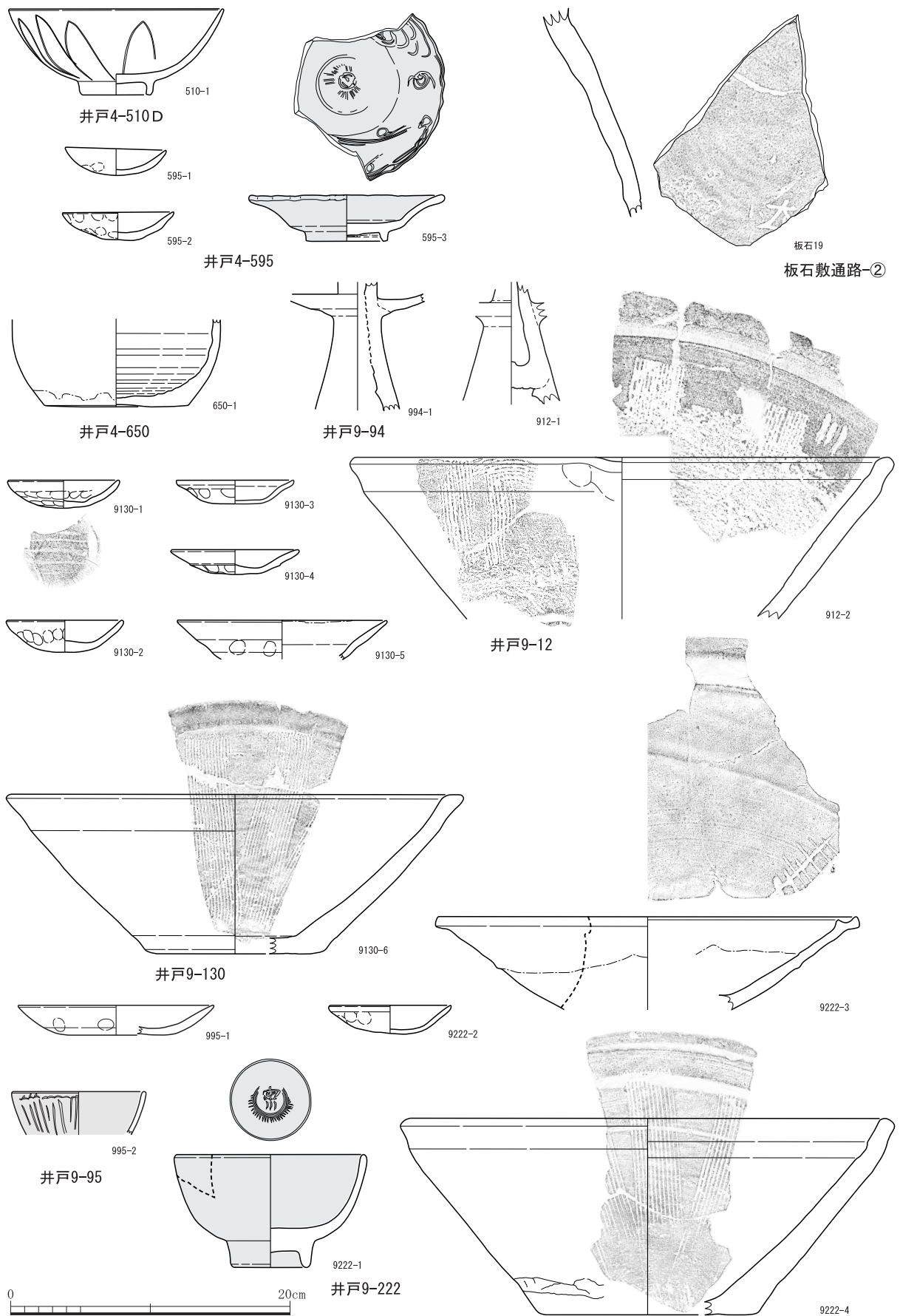


图139 土器・陶磁器② (S=1/4)

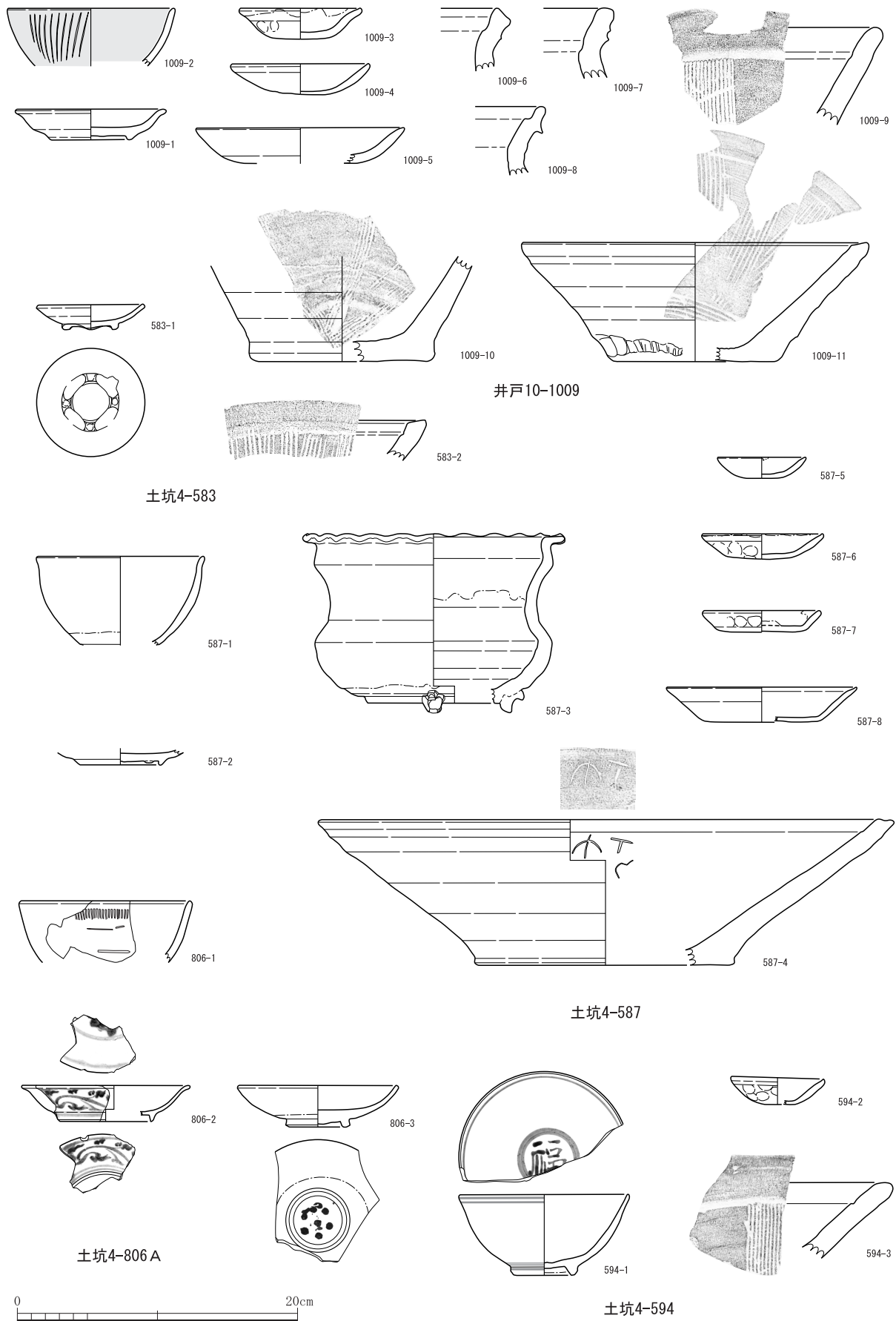


图140 土器・陶磁器③ (S = 1/4)

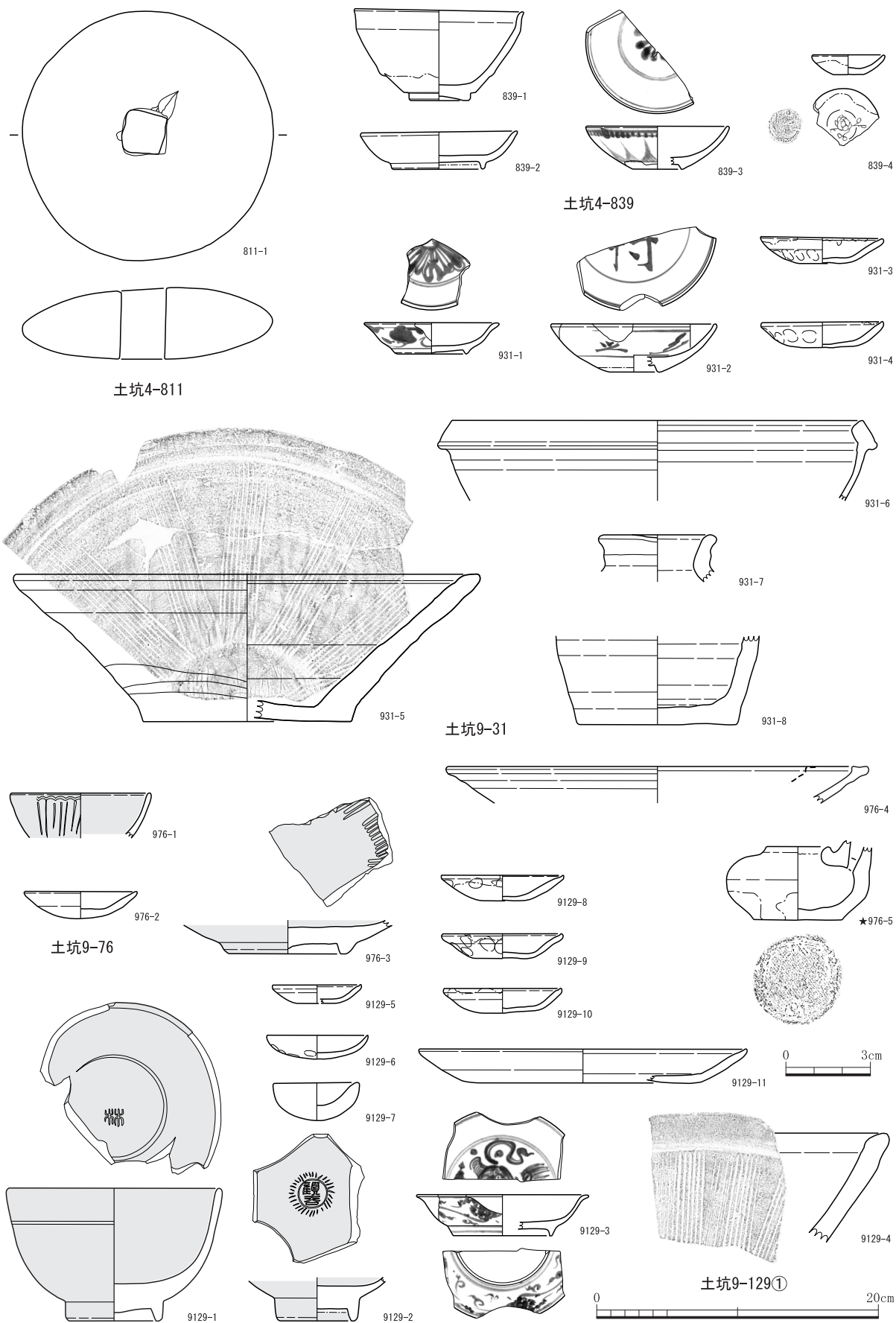


图141 土器・陶磁器④ (S=1/4、但し★=1/2)

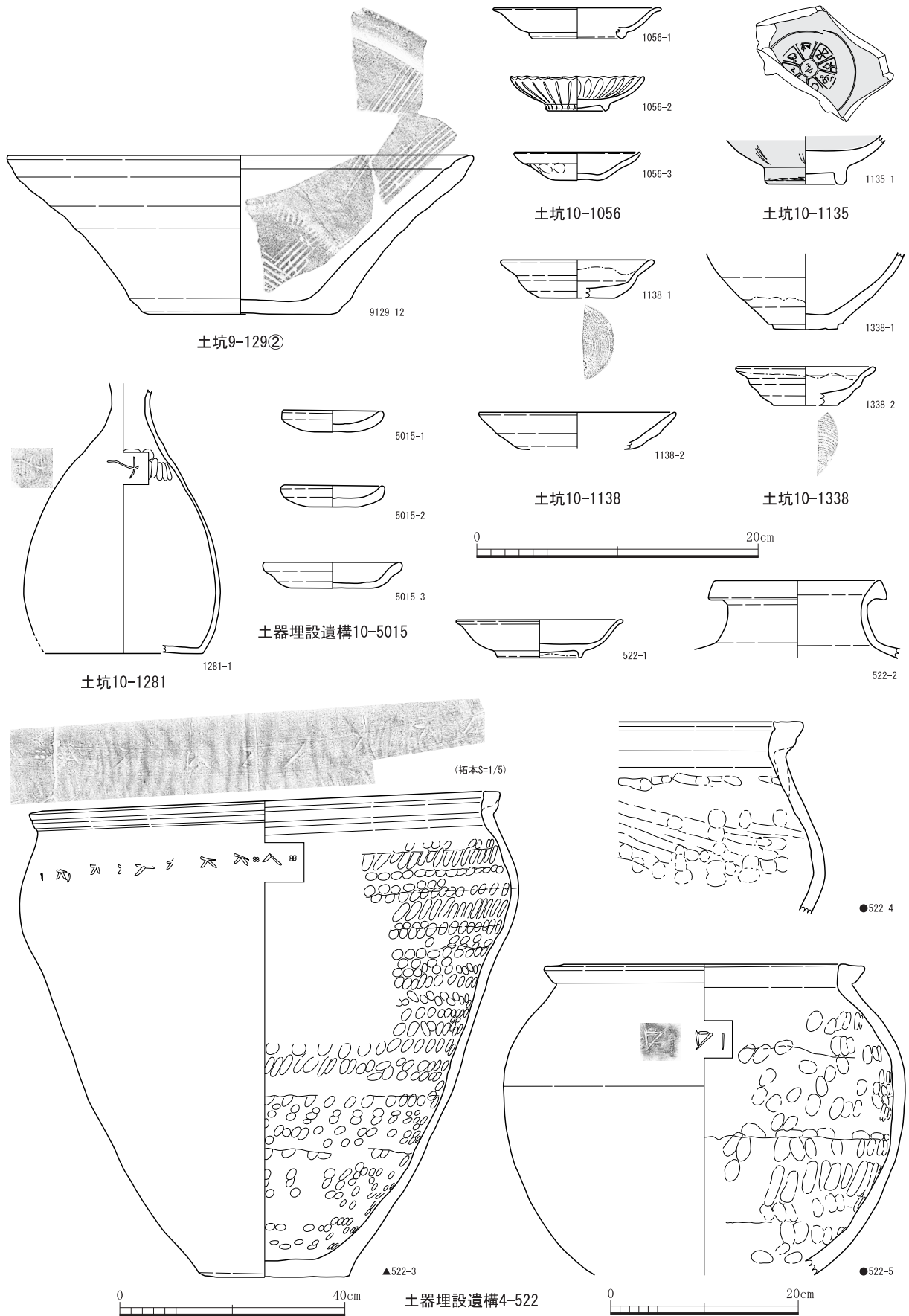
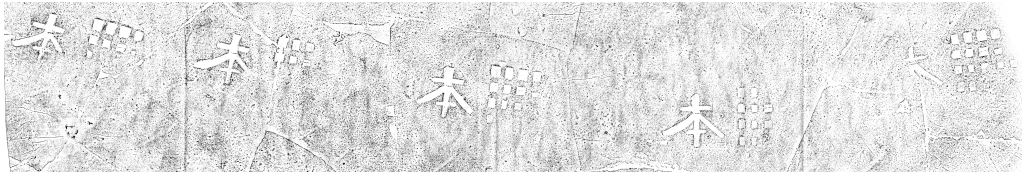
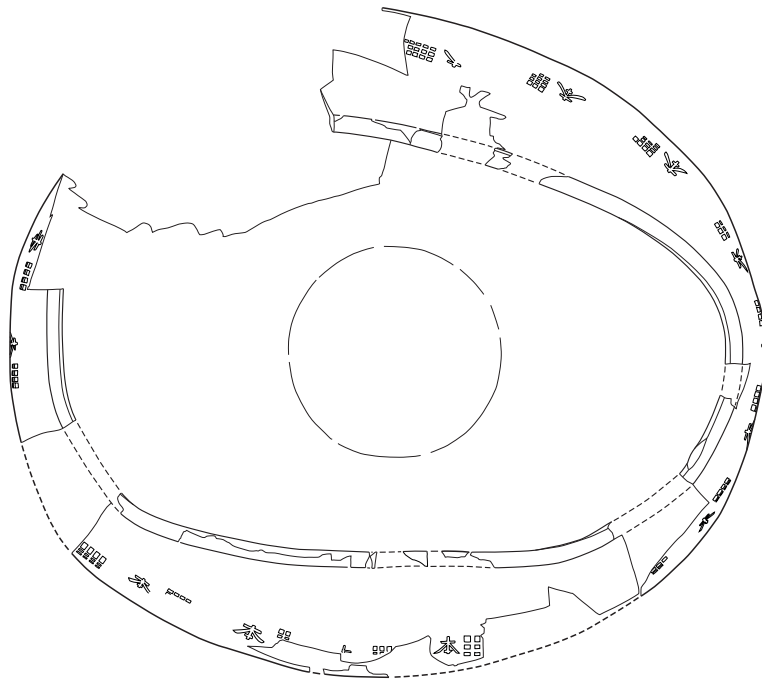
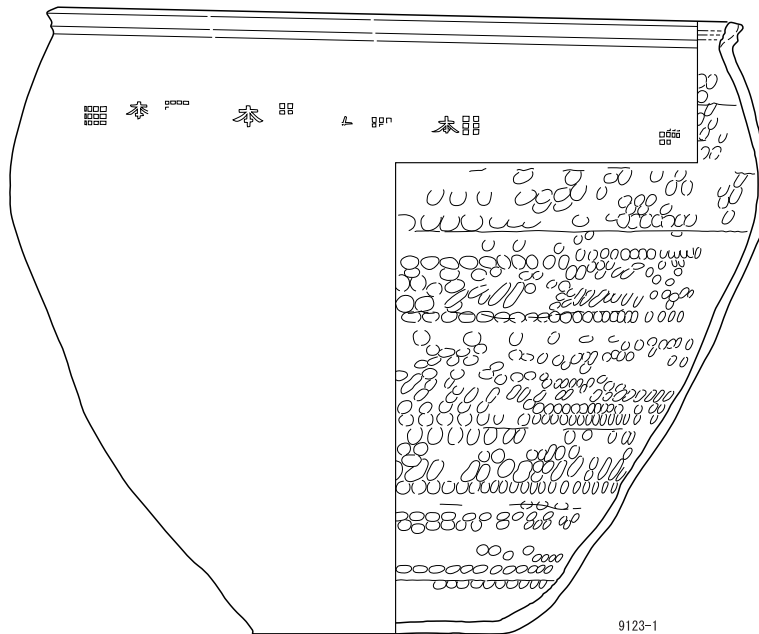


图142 土器・陶磁器⑤ (S = 1/4、但● = 1/6、▲ = 1/10)



(拓本S=1/5)

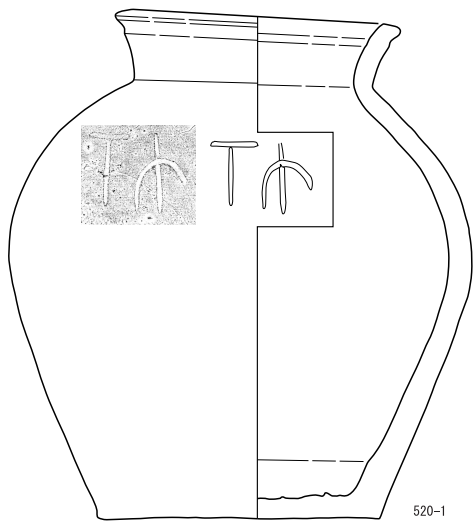


9123-1

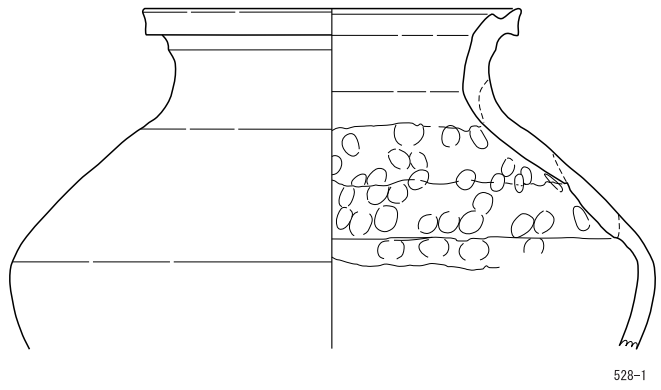
土器埋設遺構9-123



図143 土器・陶磁器⑥ (S=10)



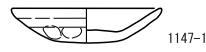
土器埋設遺構4-520



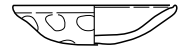
土器埋設遺構4-528

528-1

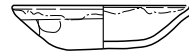
520-1



1147-1



812-1



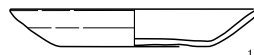
812-2



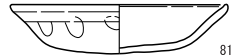
600-1



600-3



1147-2



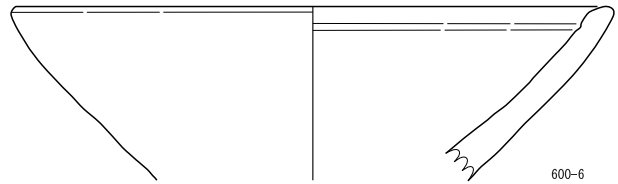
812-3

溝10-1147

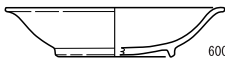
柱穴4-812



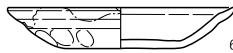
600-4



600-6

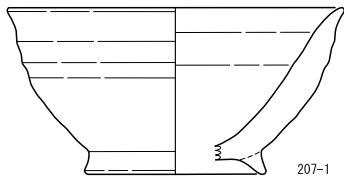


600-2

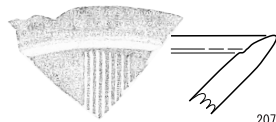


600-5

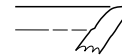
溝4-600



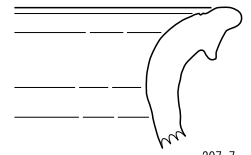
207-1



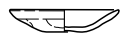
207-5



207-6



207-7



207-8



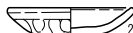
207-13



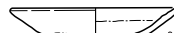
207-18



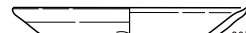
207-2



207-9



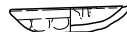
207-14



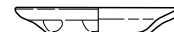
207-19



207-3



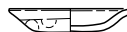
207-10



207-15



207-20



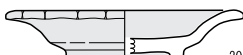
207-11



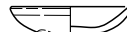
207-16



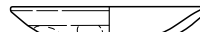
207-21



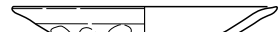
207-4



207-12



207-17



207-22

溝2-207



図144 土器・陶磁器⑦ (S=1/4)

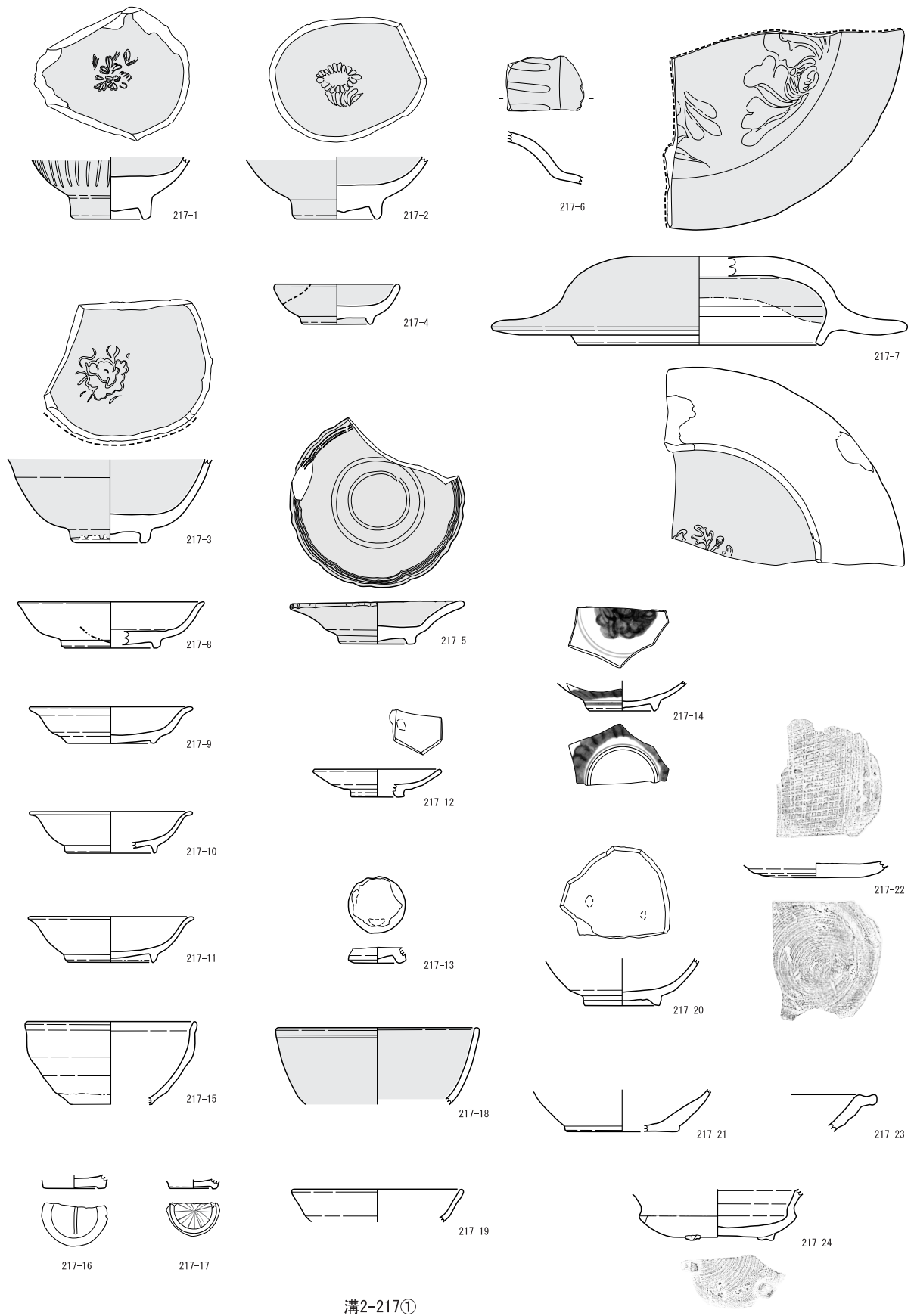


图145 土器·陶磁器⑧ (S=1/4)

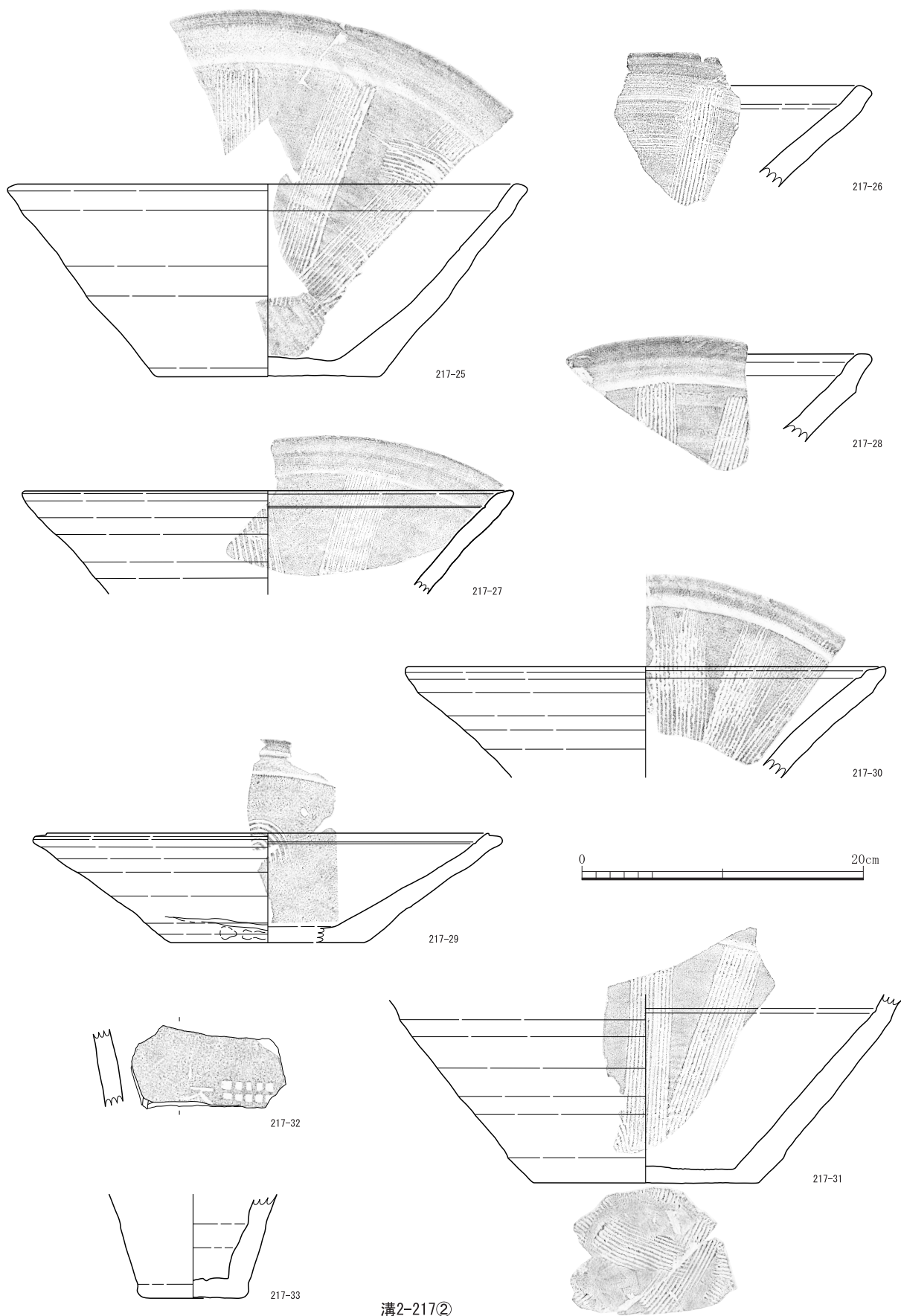
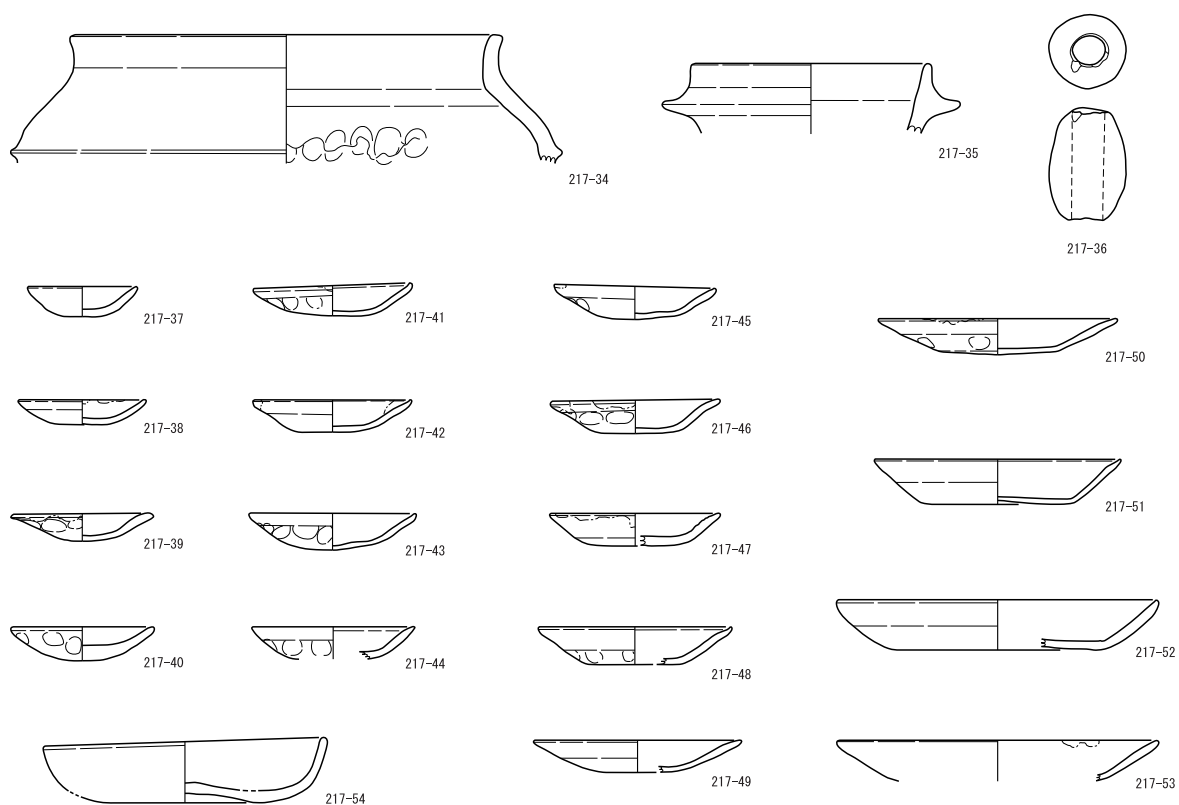
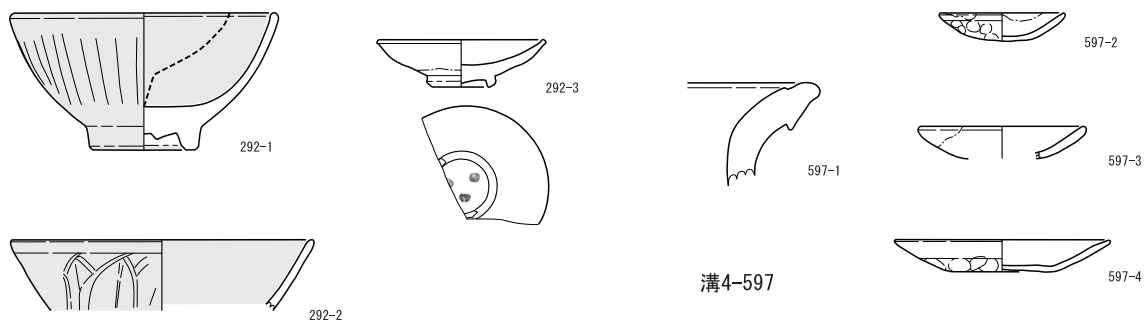


图146 土器·陶磁器⑨ (S=1/4)

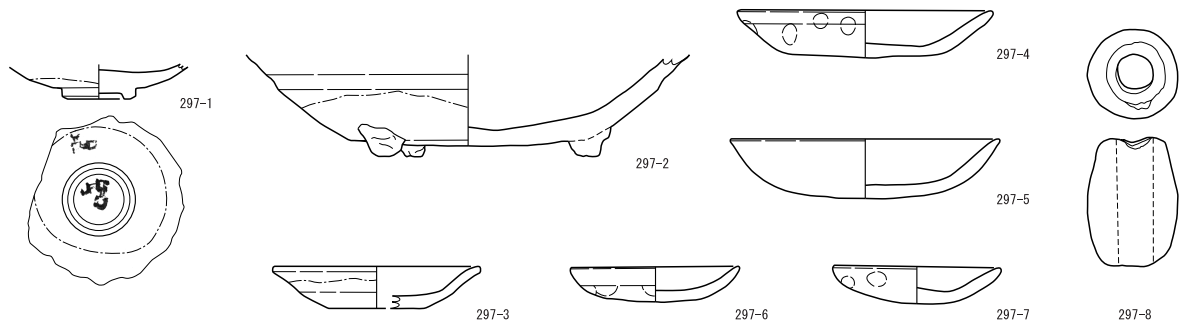


溝2-217③



溝4-597

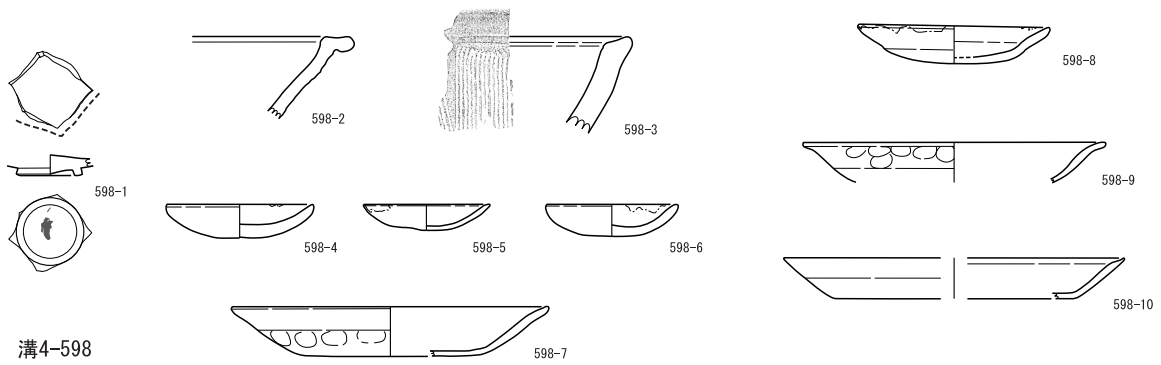
溝2-292



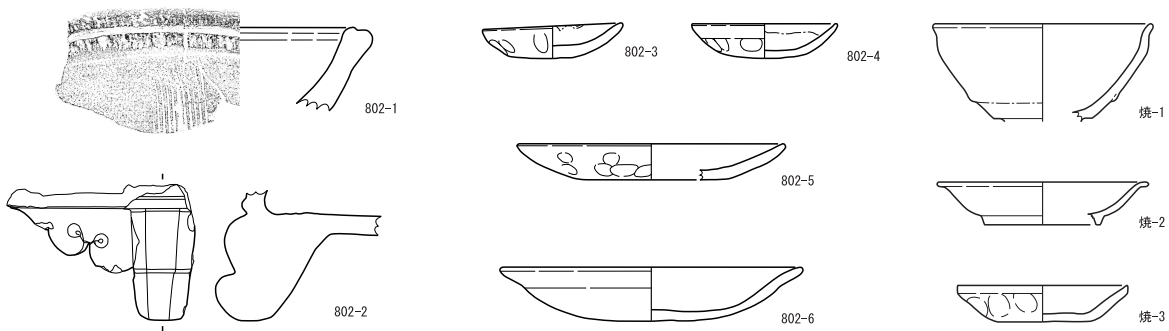
溝2-297



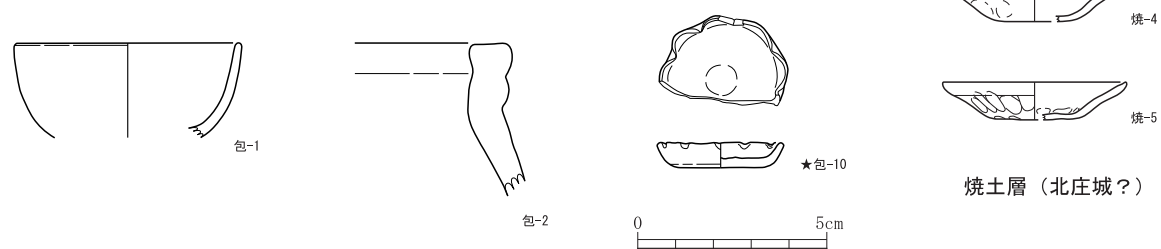
图147 土器・陶磁器⑩ (S=1/4)



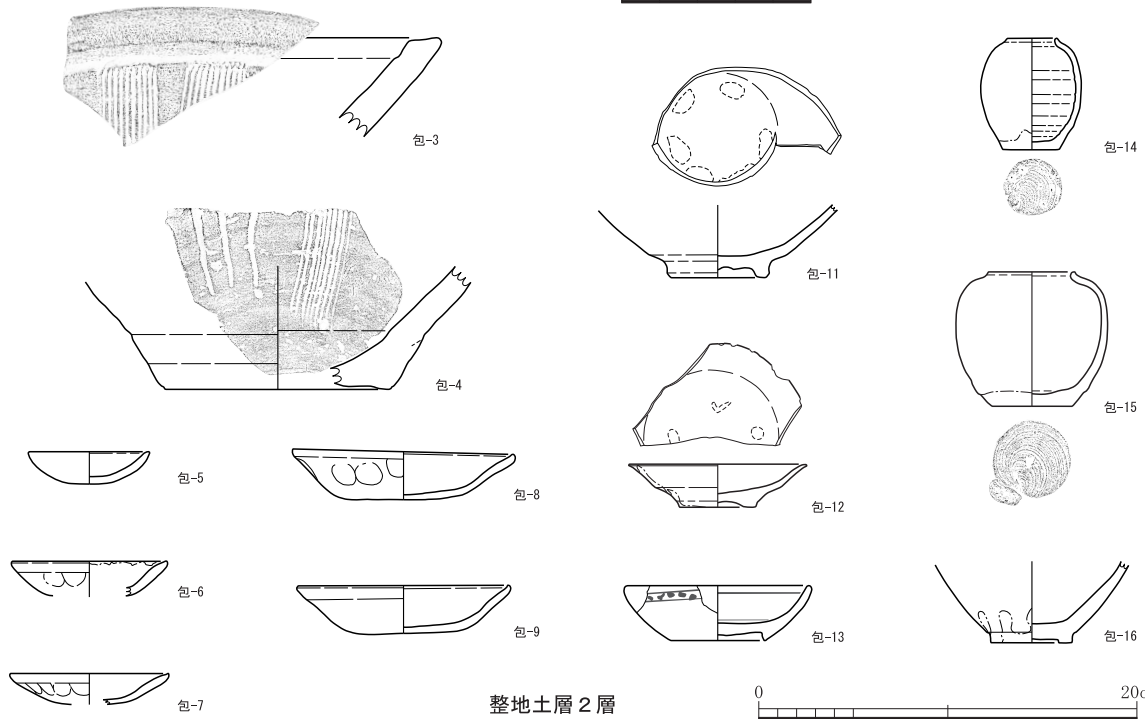
溝4-598



溝4-802



燒土層 (北庄城?)



整地土層 2層

图148 土器・陶磁器① (S = 1/4、但★ = 1/2)

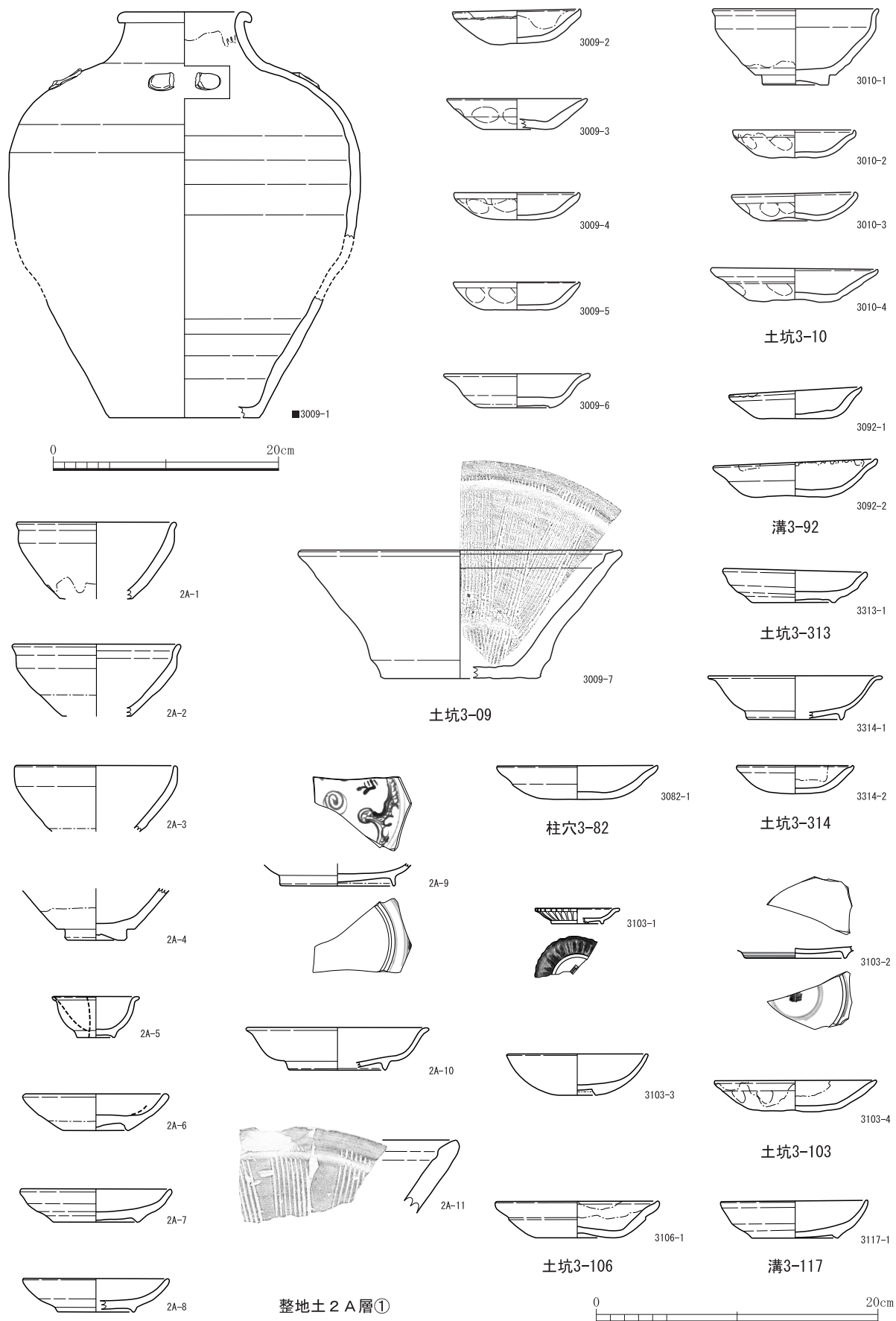


图149 土器・陶磁器⑫ (S=1/4、但し■=1/5)

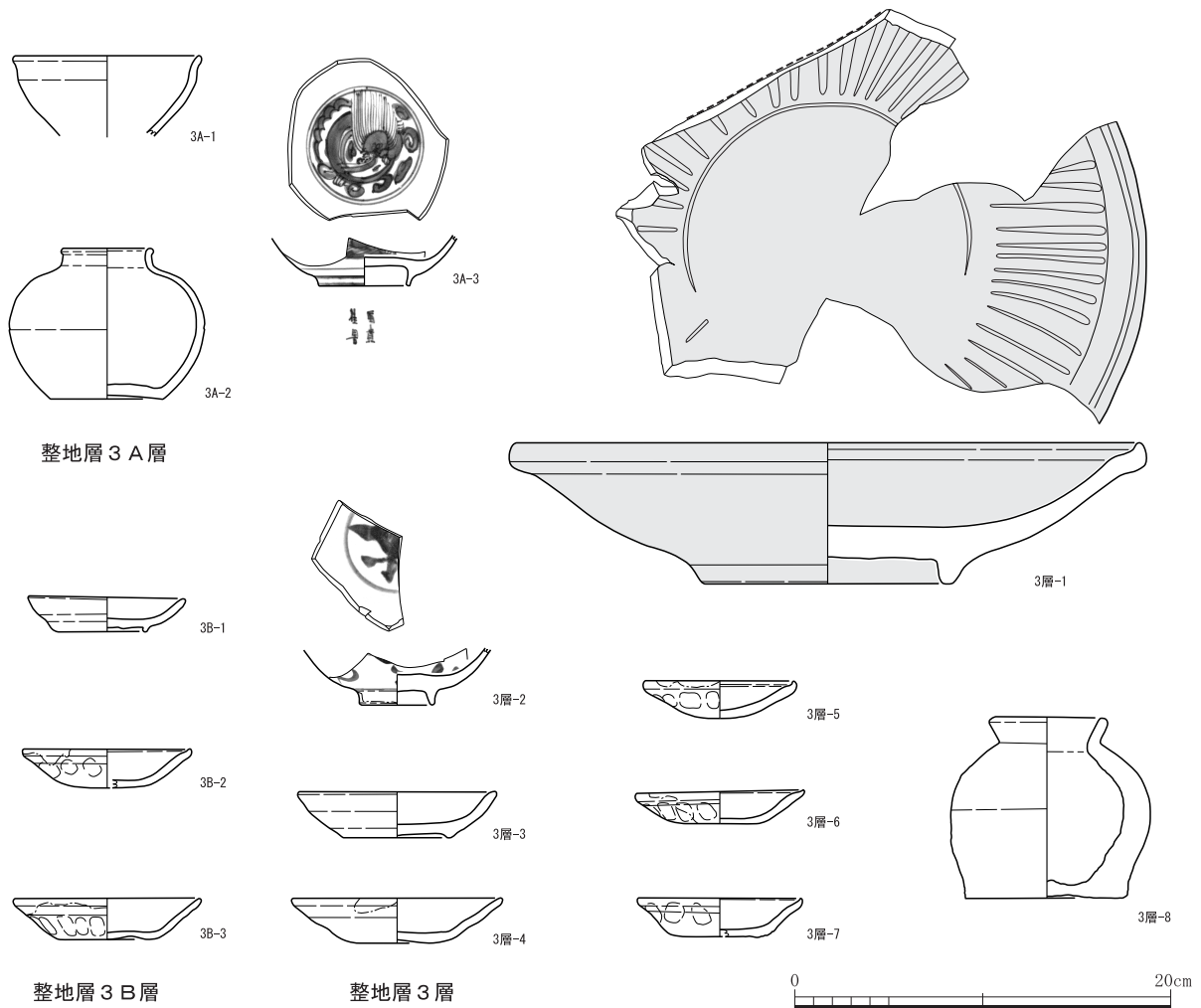
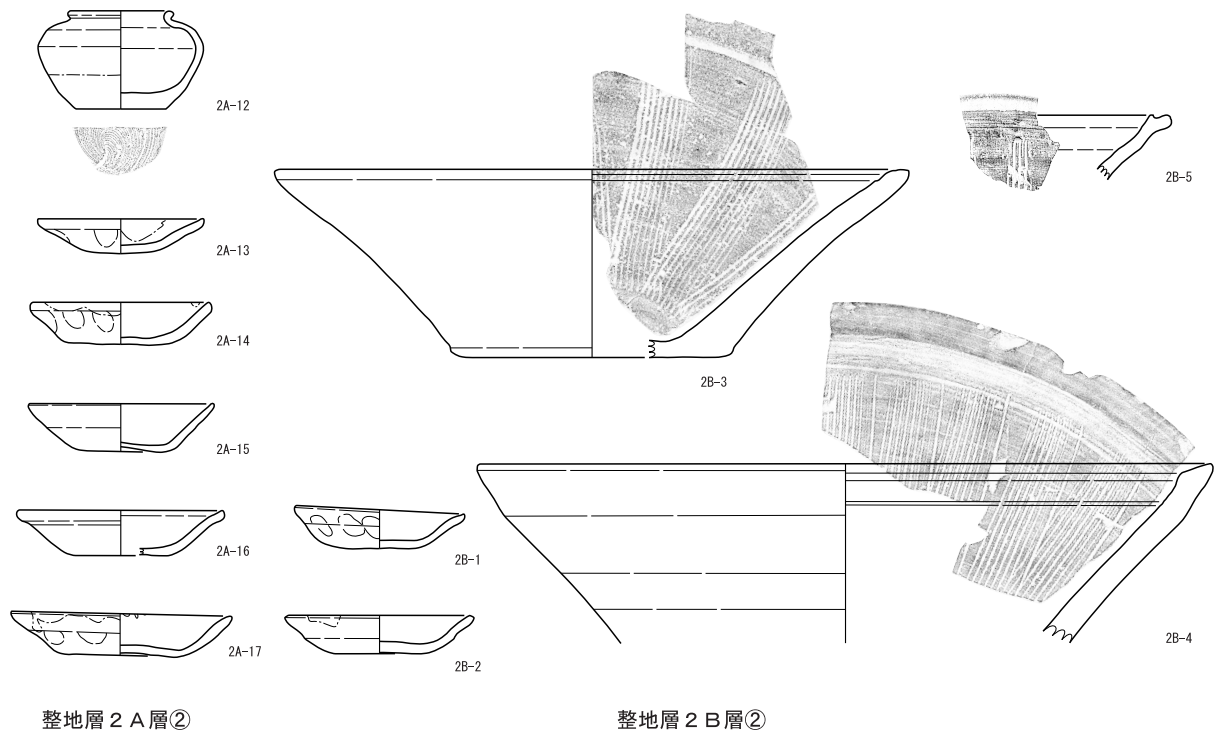


图150 土器・陶磁器⑬ (S = 1/4)

表20 土器・陶磁器観察表（遺構別）

石垣 裏込(FKJ02-4 B-5) 図138

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
石裏1	水注	瀬戸美濃			(9.9)	鉄釉			5 129
石裏2	播鉢	越前			(4.3)		播目2.3cm/9本		5 124
石裏3	土師質皿		8.9		1.9	にぶい黄褐色	見込)回しナデ、面線、口縁)つまむ、外)回し段ナデ		5 125

石垣 下層(FKJ02-4 B-5) 図138

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
石下1	皿	中国(龍泉窯)		6.8		染付			5 007
石下2	播鉢	越前	(40.0)		(4.5)		口縁下沈線		5 010
石下3	襷	越前			(9.05)			前	5 008
石下4	播鉢	越前			(4.6)		播目1本線	?	5 009

板石通路上(FKJ02-2・4・10 A-4~6、B-5-6) 図138・139

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
板石1	碗	中国(龍泉窯)		5.4	(3.5)	青磁	見込)印花		5 122
板石2	襷	越前			(12.75)				5 018
板石3	碗	瀬戸美濃		3.9	(1.95)	灰釉	見込)印花、青磁写し		5 116
板石4	八角小鉢	中国	7.7	3.2	3.05	白磁	板高台、漆継ぎ		5 117
板石5	天目碗	瀬戸美濃		4.2	(4.6)	鉄釉・鉄釉	露胎部鉄釉		5 118
板石6	土師質皿		10.0		2.25	にぶい黄褐色	見込)横ナデ、回しナデ		5 120
板石7	土師質皿	あり	10.0		2.4	にぶい黄褐色	見込)回しナデ、面線、外)回し段ナデ		5 121
板石8	土師質皿		11.75		2.7	にぶい黄褐色	見込)横ナデ、回しナデ、面線		5 126
板石9	水指?	南蛮?	12.0	10.4	(13.0)	焼締	胎土緻密、一重口		5 128
板石10	襷	越前	28.0		(9.45)		漆継ぎ、窯印あり		5 119
板石11	播鉢	越前	(32.0)		(9.8)		播目3.5cm/14本、口縁端)下沈線		5 123
板石12	播鉢	越前	33.4	15.0	11.4		播目2.6cm/10本、口縁端部沈線		5 127
板石13	皿	瀬戸	10.2	5.7	2.25	灰釉	底部裏に輪)子痕あり		5 015
板石14	土師質皿	あり	10.2		2.35	にぶい黄褐色	見込)横ナデ?、回しナデ、外)回し段ナデ		5 019
板石15	脚皿	越前	18.4	17.0	3.1				5 013
板石16	襷	越前			(7.75)				5 016
板石17	播鉢	越前	34.6	16.7	10.7		播目3.3cm/10本、口縁直下沈線、底)播目丸		5 014
板石18	播鉢	越前	(26.0)		(6.55)		播目3.1cm/11本、口縁下沈線	後b	5 011
板石19	播鉢	越前			(7.35)		播目3.1cm/11本、口縁下沈線	後b	5 012
板石20	襷	越前			(14.9)		1本、印		5 020

井戸4-510D(FKJ02-4 B-7) 図139

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
510-1	碗(青磁写し)	瀬戸美濃	15.4	4.8	6.15	灰釉	へう彫り(蓮弁文)		5 097

井戸4-595(FKJ02-4 B-8) 図139

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
595-1	土師質皿	なし	7.2		2.0	灰黄色	内)回しナデ指抜き		5 080
595-2	土師質皿	なし	8.0		2.05	にぶい黄褐色	内)回しナデ指抜き		5 081
595-3	桜花皿	中国(龍泉窯)	14.0	5.8	3.3	青磁			5 084

井戸4-650(FKJ02-4 B-2) 図139

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
650-1	瓶	瀬戸美濃		10.3	(6.3)	鉄釉	大窯期		5 091

井戸4-94(FKJ02-9 C-8) 図139

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
94-1	兼焼	瀬戸			(9.2)	灰釉	古瀬戸		5 116

井戸9-12(FKJ02-9 C-7) 図139

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
912-1	兼焼	瀬戸			(8.7)	灰釉		古瀬戸	5 131
912-2	播鉢	越前	39.0		(11.6)		播目3.5cm/13本、内面煤付着	火鉢として使用されたか	5 132

井戸9-130(FKJ02-9 C-8・9) 図139

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
9130-1	土師質皿	なし	8.0		2.0	淡灰黄色	体部切り抜き痕、外底面板状痕		5 129
9130-2	土師質皿	なし	8.4		2.2	淡灰黄色	内)回しナデ、外底面板状痕		5 128
9130-3	土師質皿	なし	8.4		1.7	灰白色	見込)横ナデ、回しナデ		5 127
9130-4	土師質皿	なし	9.2		1.8	淡灰黄色	見込)横ナデ、回しナデ、外)回し段ナデ		5 130
9130-5	土師質皿	あり	15.0		(2.8)	灰白色	見込)外)回しナデ		5 085
9130-6	播鉢	越前	32.8	13.0	11.4		播目3cm/14本		5 086

井戸9-95(FKJ02-9 C-9) 図139

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
995-1	土師質皿	なし	14.0		2.15	灰褐色	見)横ナデ回しナデ		5 115
995-2	碗	中国(龍泉窯)	9.6		(3.1)	青磁	外)縁刻蓮弁		5 119

井戸9-222(FKJ02-9 C-7) 図139

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
9222-1	碗	中国(龍泉窯)	13.8	5.2	8.08	青磁	見込)印花		5 096
9222-2	土師質皿	なし	8.8		2.08	にぶい黄褐色	見込)横ナデ、回しナデ		5 097
9222-3	脚付大皿	瀬戸	30.4		(6.65)	灰釉	漆継ぎ		5 098
9222-4	播鉢	越前	35.35	15.7	14.05		播目3.2cm/12本、口縁下1.7cm沈線		5 094

井戸10-1009(FKJ02-10 C-2)図140

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり/なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
1009-1	端反皿	瀬戸美濃	10.8	5.8	2.5	灰釉		ひ 046	
1009-2	碗	中国(龍泉窯)	12.0		(4.1)	青磁	外)縁刻蓮弁	ひ 051	
1009-3	土師質皿	あり	(8.8)	4.6	2.2	浅黄褐色	見込)横ナデ、回シナデ、外)横ナデ	ひ 048	
1009-4	土師質皿	なし	10.0		2.2	浅黄褐色	見込)横ナデ、回シナデ	ひ 053	
1009-5	土師質皿	なし	(14.9)		2.55	にぶい褐色	見込)外)回シナデ	ひ 056	
1009-6	甌	越前			(4.5)			ひ 058	
1009-7	甌	越前			(5.0)			ひ 055	
1009-8	甌	越前			(4.9)			ひ 057	
1009-9	播鉢	越前			(7.0)		播目3.7cm/14本	ひ 059	
1009-10	播鉢	越前		12.0	7.5		播目1.8cm/8本	ひ 060	
1009-11	播鉢	越前	24.8	11.6	8.5		播目2.4cm/8本	ひ 061	

土坑4-583(FKJ02-4 B-1)図140

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり/なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
583-1	小皿	中国	7.7	4.0	1.8	白磁	接合台、高台内まで全面施釉	ひ 118	
583-2	播鉢	越前	(38.6)		(2.9)		口縁下沈線	と 090	

土坑4-587(FKJ02-4 B-9)図140

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり/なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
587-1	天目碗	瀬戸美濃	(12.0)		(6.3)	鉄釉・錆釉	露胎部錆釉	ひ 114	
587-2	皿	瀬戸美濃		5.8		灰釉	底)輪ノ子痕	ひ 115	
587-3	香炉	瀬戸	18.7	9.4	12.8	鉄釉	大窯、袴形、口縁波状	接合 遺構4-586	
587-4	播鉢	越前	41.2	18.0	10.4		口縁下沈線、節記号	ひ 120	
587-5	土師質皿	あり	6.3		1.5	浅黄褐色	内)口縁)回シナデ	ひ 112	
587-6	土師質皿	あり	8.7		1.8	にぶい黄褐色	見込)横ナデ、回シナデ、口縁)つまむ	ひ 103	
587-7	土師質皿	あり	8.5		1.55	灰褐色		コ-スター形	
587-8	土師質皿	なし	13.6		2.5	浅黄褐色	見込)横ナデ、回シナデ、口縁、外)回シナデ1/2	ひ 102	

土坑4-594(FKJ02-4 B-8)図140

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり/なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
594-1	碗	中国(漳州窯)	12.2	4.4	5.79	染付		ち 083	
594-2	土師質皿	なし	6.7		2.0	浅黄色	内)回シナデ指抜き	ち 079	
594-3	播鉢	越前			(5.4)		口縁下1.7cm沈線	ち 082	

土坑4-806A(FKJ02-4 B-7)図140

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり/なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
806-1	端反皿	中国(景德鎮)	12.0	6.6	2.55	染付		ま 015	
806-2	碗	瀬戸美濃	12.4		(4.4)	灰釉	縁刻模様あり	ま 013	
806-3	皿	中国	11.5	4.6	2.95	白磁	高台部露胎、高台内)黒漆七曜紋?、赤漆少量付着	ま 014	

土坑4-811(FKJ02-4)図141

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり/なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
811-1	薬研	越前	長 17.7	幅 17.75	厚 5.09	片面自然釉		ち 085	

土坑4-839(FKJ02-4 B-1)図141

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり/なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
839-1	天目茶碗	瀬戸美濃	12.0	4.35	6.5	鉄釉	大窯 露胎部錆釉	大窯	
839-2	皿	中国	11.2	6.5	2.7	白磁	高台砂付着、高台内まで施釉	ま 004	
839-3	皿	中国	10.2	3.6	3.05	染付	唇筋底、外)縁歯紋	ま 006	
839-4	小皿	瀬戸	5.2	2.1	1.4	鉄釉	糸切底、底部)花墨画	と 139	

土坑9-31(FKJ02-9 C-8・9)図141

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり/なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
931-1	端反皿	中国(景德鎮)	9.6	5.2	2.2	染付		の 077	
931-2	皿	中国(景德鎮)	11.8	3.5	3.4	染付	唇筋底	の 078	
931-3	土師質皿	あり	8.7		1.9	にぶい黄褐色	見込)回シナデ指抜き	の 079	
931-4	土師質皿	あり	8.7		1.85	浅黄褐色	内)外)回シナデ	の 081	
931-5	播鉢	越前	33.2	14.9	10.45		播目2.9cm/9本、口縁下沈線	前	
931-6	鉢	越前	31.2		(5.7)		口縁)折り返し	の 080	
931-7	片口壺	越前	8.4		(3.3)		注口内面そそぎ溝	の 084	
931-8	片口壺	越前		11.4	(6.3)			の 083	

土坑9-76(FKJ02-9 C-8・9)図141

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり/なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
976-1	碗	中国(龍泉窯)	(10.0)		(3.2)	青磁	外)縁刻蓮弁	の 090	
976-2	土師質皿	なし	8.0		1.95	灰黄色	内)外)回シナデ	の 088	
976-3	皿	中国(龍泉窯)		8.4	(2.4)	青磁	見込)印花	の 087	
976-4	大皿	瀬戸	(30.0)		(2.6)	灰釉	漆継ぎ	の 089	
976-5	水滴	瀬戸	2.3	3.2	2.6	鉄釉	糸切底	の 091	

土坑9-129(FKJ02-9 C-8)図141・142

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり/なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
9129-1	碗	中国(龍泉窯)	15.3	6.8	9.4	青磁釉	見込)印花'林?'	接合 遺構9-40-30-31	
9129-2	碗	中国(龍泉窯)		5.7	(3.1)	青磁釉	見込)印花'観音?」、外面縁描蓮弁	と 138	
9129-3	端反皿	中国(景德鎮)	12.2	7.0	2.9	染付	見込)玉取獅子紋	と 136	
9129-4	播鉢	越前			(7.8)			前	
9129-5	土師質皿	なし	6.3		1.3	灰白色	見込)回シナデ指抜き、口縁)つまむ	へ 028	
9129-6	土師質皿	なし	7.2		1.7	灰白色	手捏ね、見込)回シナデ	へ 025	
9129-7	取皿	越前	6.15		2.75			へ 024	
9129-8	土師質皿	あり	8.7		1.8	灰白色	見込)回シナデ、口縁)つまむ	へ 023	
9129-9	土師質皿	あり	8.6		1.75	灰白色	見込)横ナデ、回シナデ、口縁)つまむ	へ 026	
9129-10	土師質皿	あり	8.4		1.75	灰白色	見込)横ナデ、回シナデ、口縁)つまむ	へ 029	
9129-11	土師質皿	なし	(23.2)	17.0	2.4	灰白色	見込)横ナデ、回シナデ、口縁、外)回シナデ	へ 027	
9129-12	播鉢	越前	33.2	14.0	11.3		播目)2.8cm/8本?	前、接合 遺構9-31	

土坑10-1056(FKJ02-10 C-1)図142

図面	器種	土師質 灯芯油瓶(あり・なし) 陶磁器 産地	法量(cm)			土師質 胎土:色調 陶磁器 釉薬:装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
1056-1	端反皿	中国(景德鎮)	12.0	6.3	2.2	白磁			ひ 047
1056-2	菊形皿	中国	9.5	4.5	2.45	白磁	菊弁輪花ヘラ彫		ひ 049
1056-3	土師質皿	なし	9.0		2.0	淡黄褐色	見込 横ナデ、回しナデ、圏線、口縁)つまむ		ひ 054

土坑10-1135(FKJ02-10 C-2)図142

図面	器種	土師質 灯芯油瓶(あり・なし) 陶磁器 産地	法量(cm)			土師質 胎土:色調 陶磁器 釉薬:装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
1135-1	碗	中国(龍泉窯)		5.3	(3.4)	青磁	見込)印花		ひ 129

土坑10-1138(FKJ02-10 C-5)図142

図面	器種	土師質 灯芯油瓶(あり・なし) 陶磁器 産地	法量(cm)			土師質 胎土:色調 陶磁器 釉薬:装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
1138-1	縁釉皿	瀬戸	10.9	5.3	2.7	鉄釉	糸切底		ひ 065
1138-2	土師質皿	なし	14.0		(2.6)	灰白色	見)回しナデ、圏線、外)回し段ナデ		ひ 179

土坑10-1338(FKJ02-10 C-1・2)図142

図面	器種	土師質 灯芯油瓶(あり・なし) 陶磁器 産地	法量(cm)			土師質 胎土:色調 陶磁器 釉薬:装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
1338-1	縁釉皿	瀬戸	10.0	4.6	2.75	鉄釉	糸切底		ひ 050
1338-2	平碗	瀬戸		4.6	(5.5)	灰釉		接合 遺構10-1133	ひ 052

土坑10-1281(FKJ02-10 C-5)図142

図面	器種	土師質 灯芯油瓶(あり・なし) 陶磁器 産地	法量(cm)			土師質 胎土:色調 陶磁器 釉薬:装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
1281-1	德利	朝鮮		11.2	(19.2)	灰釉	胎土微粒子赤紫色土、肩部に刻印、内面)同心円印、器壁薄(1.3-4mm)		ひ 081

土器埋設遺構10-5015(FKJ02-10 C-6)図142

図面	器種	土師質 灯芯油瓶(あり・なし) 陶磁器 産地	法量(cm)			土師質 胎土:色調 陶磁器 釉薬:装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
5015-1	土師質皿	なし	7.25		1.6	にぶい褐色	口縁)回しナデ	13世紀	ひ 068
5015-2	土師質皿	なし	7.4		1.55	にぶい褐色	口縁)回しナデ	13世紀	ひ 067
5015-3	土師質皿	なし	(9.9)		1.85	白灰色	内)回しナデ、外)回し段ナデ		ひ 069

土器埋設遺構4-522(FKJ02-4 B-1)図142

図面	器種	土師質 灯芯油瓶(あり・なし) 陶磁器 産地	法量(cm)			土師質 胎土:色調 陶磁器 釉薬:装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
522-1	端反皿	中国(景德鎮)	11.9	5.9	2.7	白磁	被熱により内外面黒くすすけている		ひ 025
522-2	壺		12.7		(5.55)	鉄釉			ひ 096
522-3	大甕	越前	83.8	28.9	86.2			接合 遺構4-528	と 135
522-4	甕	越前	(98.0)		(20.5)				ひ 026
522-5	甕	越前	34.2		(33.2)		肩部窯印		ひ 114

土器埋設遺構9-123(FKJ02-9 C-7)図143

図面	器種	土師質 灯芯油瓶(あり・なし) 陶磁器 産地	法量(cm)			土師質 胎土:色調 陶磁器 釉薬:装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
9123-1	大甕	越前	92.0	34.0	82.5	自然釉	肩部に窯印	接合 遺構9-309 20層	と 134

土器埋設遺構4-520(FKJ02-4 B-2)図144

図面	器種	土師質 灯芯油瓶(あり・なし) 陶磁器 産地	法量(cm)			土師質 胎土:色調 陶磁器 釉薬:装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
520-1	片口壺	越前	15.1	15.0	27.0	自然釉	注口、窯印(線刻)、内外面に紙又は菜種油(?)粉が付着、底部裏に板状痕	前	と 096

土器埋設遺構4-528(FKJ02-4 B-1)図144

図面	器種	土師質 灯芯油瓶(あり・なし) 陶磁器 産地	法量(cm)			土師質 胎土:色調 陶磁器 釉薬:装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
528-1	甕	越前	20.0		(18.05)			前	と 095

溝4-600(FKJ02-4・10 B・C-4)図144

図面	器種	土師質 灯芯油瓶(あり・なし) 陶磁器 産地	法量(cm)			土師質 胎土:色調 陶磁器 釉薬:装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
600-1	小坏	中国(景德鎮)	6.4	2.5	4.0	染付	胴部八角形		ひ 062
600-2	端反皿	中国(景德鎮)	11.6	6.3	2.6	白磁	漆繕ぎ		ひ 066
600-3	土師質皿	あり	8.8		2.5	灰黄色	見)横ナデ回しナデ		ひ 070
600-4	縁釉皿	瀬戸	10.0	5.0	1.95	鉄釉	糸切底		と 093
600-5	土師質皿	あり	11.9	6.0	1.95	淡赤褐色	見込圏線、外面ナデ段		と 094
600-6	捏鉢	越前	32.0		(9.3)		口縁断面三角、口縁下沈線	期	ひ 074

溝10-1147(FKJ02-4 A-2)図144

図面	器種	土師質 灯芯油瓶(あり・なし) 陶磁器 産地	法量(cm)			土師質 胎土:色調 陶磁器 釉薬:装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
1147-1	土師質皿	なし	7.9		1.85	淡黄褐色	見)回しナデ、外)回しナデ1/2		と 092
1147-2	土師質皿	なし	13.2	8.0	2.0	淡灰黄色	見込)横ナデ、回しナデ、圏線、外)回しナデ1/2		と 141

柱穴4-812(FKJ02-4 B-1)図144

図面	器種	土師質 灯芯油瓶(あり・なし) 陶磁器 産地	法量(cm)			土師質 胎土:色調 陶磁器 釉薬:装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
812-1	土師質皿	なし	4.65		2.1	浅黄褐色	見)回しナデ指抜き、口縁)つまむ		ま 001
812-2	土師質皿	あり	9.6		2.4	淡褐色	見込)回しナデ、圏線、口縁)つまむ		ま 002
812-3	土師質皿	なし	11.5		2.6	淡黄褐色	見込)回しナデ、圏線、口縁)つまむ		ま 003

溝2-207(FKJ02-2・4 A-8, B-8-9)図144

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり/なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・裝飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
207-1	捏鉢	越前	17.8	9.6	8.8		付高台		ひ 155
207-2	卍血	瀬戸	9.7	4.7	1.8	灰釉	糸切底		ひ 152
207-3	椀皿	瀬戸美濃	(11.0)	5.5	2.3	灰釉	見込 菊印花		ひ 098
207-4	椀花皿	中国(龍泉窯)	13.0	6.0	2.75	青磁			ひ 153
207-5	摺鉢	越前	(30.0)				楕目2.8cm/10本、口縁下沈線		ひ 119
207-6	摺鉢	越前			(2.5)		口縁下沈線		ち 114
207-7	椀	越前			(7.45)				の 097
207-8	土師質皿		5.8		1.18	灰白色	見込 横ナデ、回シナデ、口縁 つまむ		ち 107
207-9	土師質皿	なし	6.4		1.5	浅黄褐色	見込 横ナデ回シナデ指抜き、口縁 回シナデつまむ		ひ 101
207-10	土師質皿	あり	6.3		1.45	黄褐色	見込 横ナデ回シナデ、口縁、外 回シナデ		ひ 107
207-11	土師質皿	あり	6.4		1.25	黄褐色	見込 横ナデ、回シナデ指抜き		ひ 109
207-12	土師質皿		6.4		1.5	灰白色			ち 108
207-13	土師質皿		8.0		(1.75)	にぶい橙色			ち 113
207-14	土師質皿	あり	8.95		1.88	にぶい黄褐色	見込 回シナデ指抜き		ち 110
207-15	土師質皿		8.8		1.7	灰白色	見込 横ナデ、回シナデ、口縁 つまむ		ち 109
207-16	土師質皿	あり	9.0		1.7	黄褐色	内・口縁 回シナデ、端部つまむ		ひ 110
207-17	土師質皿	なし	10.2	4.6	2.0	にぶい橙色			ひ 099
207-18	土師質皿	なし	13.0		(2.0)	にぶい黄褐色	見込 横ナデ回シナデ、口縁、外 回シナデ		ひ 108
207-19	土師質皿		12.4		2.05	外面：灰黄色 内面：にぶい橙色	見込 横ナデ、回シナデ、口縁、口縁 つまむ		ち 111
207-20	土師質皿		12.8		2.15	灰白色	見込 横ナデ、回シナデ、口縁、口縁 つまむ		ち 112
207-21	土師質皿	あり	13.2		2.1	黄褐色	見込 横ナデ回シナデ、口縁、外 回シナデ		ひ 111
207-22	土師質皿	あり	14.0		2.0	にぶい黄褐色	見込 横ナデ、回シナデ、口縁、外 回シナデ		ひ 100

溝2-217(FKJ02-2 A・B-7~9)図145-147

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり/なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・裝飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
217-1	碗	中国(龍泉窯)		5.6	(4.3)	青磁	外)縦刻線、見込)印花		の 119
217-2	碗	中国(龍泉窯)		6.2	(4.4)	青磁	見込印花		と 145
217-3	碗	中国(龍泉窯)		5.2	(5.8)	青磁	漆継ぎ、見込)印花		の 092
217-4	皿	中国(龍泉窯)	8.8	5.0	2.8	青磁	漆継ぎ痕		と 143
217-5	椀花皿	中国(龍泉窯)	12.2	5.4	3.0	青磁			の 098
217-6	蓋?	中国(龍泉窯)			(3.7)	青磁			の 132
217-7	盥会蓋	中国(龍泉窯)	29.1	受径 17.1	6.2	青磁	漆継ぎ痕、外面陽刻牡丹紋、内面貼花		と 146
217-8	皿	中国	13.0	6.9	3.2	白磁	漆継ぎ痕		と 144
217-9	端反皿	瀬戸美濃	11.4	6.2	2.55	灰釉	底、輪ノ子痕		の 108
217-10	端反皿	中国(景德鎮)	11.4	6.4	2.9	白磁			の 103
217-11	端反皿	中国(景德鎮)	11.6	6.0	3.2	白磁			の 105
217-12	小皿	中国	9.0	3.8	1.95	白磁	椀高台		の 121
217-13	小杯	中国		2.0	(1.1)	白磁	高台周面意匠的に打ち欠		の 122
217-14	碗?	中国(景德鎮)		4.6	(2.1)	染付			の 102
217-15	天目碗	瀬戸美濃	12.0		(5.8)	鉄釉・錆釉	露胎部錆釉		の 116
217-16	天目茶碗	瀬戸美濃		4.3		鉄釉・錆釉	高台内刻線一文字		の 109
217-17	天目小碗	瀬戸美濃		3.2		鉄釉・錆釉	高台内放射線墨書		の 110
217-18	碗	中国(龍泉窯)	14.2		(5.4)	青磁			の 115
217-19	小皿	李朝	(12.0)		(2.3)	蕎麦手			と 153
217-20	碗?	瀬戸美濃		5.2	(3.3)	灰釉	見込目2ヶ所		と 147
217-21	杯(土師器)	なし		(8.0)	(2.8)	浅黄色		古代	の 133
217-22	卍血	瀬戸		7.5	(1.15)		糸切底		の 093
217-23	深鉢	古瀬戸			(3.1)	灰釉			の 120
217-24	樽形香炉	瀬戸		6.7	(3.55)	鉄釉	底)糸切底、脚		の 117
217-25	摺鉢	越前	37.0	16.0	13.7		スリ目(3cm幅に10本)横楕目あり見込楕目なし、		と 154
217-26	摺鉢	越前			(7.2)		楕目2.5/10本、口縁下1.7cm段		の 135
217-27	摺鉢	越前	35.0		(7.35)		楕目3.1cm/9本	後~前	の 094
217-28	摺鉢	越前	(36.0)		(6.2)		スリ目(3cm幅に11本)、口縁下沈線		と 148
217-29	摺鉢	越前	(33.4)	(13.8)	7.75		口縁下1cm沈線	後	の 118
217-30	摺鉢	越前	34.2		(7.9)		楕目2.2cm/8本	後	ひ 154
217-31	摺鉢	越前		16.0	13.4		楕目3cm/11本、口縁下1.7cm沈線		の 134
217-32	椀	越前			(5.5)		窯印あり		の 113
217-33	壺	信楽		7.9	(7.4)				の 111
217-34	壺	越前	(22.9)		(6.8)				の 112
217-35	羽釜	越前	12.7		(3.7)	淡灰褐色		下面煤付着	と 151
217-36	土埴	越前	長 5.9	幅 4.05 内径 1.7	厚 3.9				の 123
217-37	土師質皿	なし	5.8		1.6	灰白色			の 099
217-38	土師質皿	あり	6.8		1.3	灰白色	内)回シナデ、外)回シナデ		の 127
217-39	土師質皿	あり	7.5		1.5	灰白色	内)回シナデ、外)回シナデ		の 126
217-40	土師質皿	なし	7.6		1.8	灰黄色	内)回シナデ		の 130
217-41	土師質皿	あり	8.4		1.75	淡灰黄色	見込 横ナデ、回シ指ぬきナデ		と 150
217-42	土師質皿	あり	8.4		1.7	灰黄色	内)回シナデ、外)回シナデ		の 125
217-43	土師質皿	なし	8.9		1.95	灰白色	内)回シナデ、外)回シナデ		の 124
217-44	土師質皿	なし	8.6		(1.7)	浅黄褐色	見込 横ナデ回シナデ		の 100
217-45	土師質皿	あり	8.6		1.85	浅黄色	見込 横ナデ指抜き、口縁 回シナデつまむ		の 095
217-46	土師質皿	あり	9.0		1.8	にぶい黄褐色	見込 横ナデ回シナデ、口 回シナデ		の 106
217-47	土師質皿	あり	9.0		1.7	暗灰黄色	内)回シナデ、外)回シナデ		の 131
217-48	土師質皿	なし	10.2		2.0	灰白色	見込 横ナデ、回シナデ、口縁、外)回シナデ		の 101
217-49	土師質皿	なし	11.0		1.7	灰白色	内)回シナデ、外)回シナデ		の 128
217-50	土師質皿	あり	12.6		1.9	灰褐色		極薄	と 149
217-51	土師質皿	なし	13.0		2.4	灰白色	見込 横ナデ、口縁、外)回シナデ1/2		の 104
217-52	土師質皿	なし	17.0	10.6	2.65	灰白色	見込 横ナデ、口縁、外)回シナデ1/2		の 107
217-53	土師質皿	あり	17.0		(2.15)	灰白色	内)回シナデ、外)回シナデ		の 129
217-54	土師質皿	なし	15.0	8.5	3.45	にぶい橙色	口縁 横ナデ	13世紀	の 096

溝2-292(FKJ02-2 B-7・8, C-8)図147

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり/なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・裝飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
292-1	碗	中国(龍泉窯)	14.2	5.7	7.25	青磁	縦刻線、漆継ぎ		ひ 149
292-2	碗	中国(龍泉窯)	16.0		(3.75)	青磁	鑄蓮弁		ひ 150
292-3	小皿	中国	8.9	3.6	2.5	白磁	軟質、見込)目跡、高台内)漆書三つ星		ひ 151

溝4-597(FKJ02-4 B-9)図147

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり/なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・裝飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
597-1	椀	越前							ひ 116
597-2	土師質皿	あり	6.6		1.5	にぶい黄褐色	手摺ね、コピオサエ後ナデ仕上げ		ひ 105
597-3	土師質皿	あり	(8.8)	(4.4)	(1.7)	暗灰黄色	見込 横ナデ回シナデ、口 回シナデ		ひ 122
597-4	土師質皿	なし	11.4		2.2	灰白色	見込 横ナデ回シナデ、口縁、口 回シナデ		ひ 104

溝2-297(FKJ02-2 B-7-8)図147

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
297-1	皿	中国		3.3	(1.8)	白磁	胎土軟質, 高台内赤漆書き記号		ち 100
297-2	深鉢	瀬戸		13.6	(5.4)	灰釉	脚		ち 099
297-3	縁釉皿	瀬戸	11.0	5.0	2.22	灰釉	糸切底		ち 101
297-4	土師質皿	なし	13.55		2.65	にぶい橙色	見) 回しナデ, 外) 回しナデ		ち 106
297-5	土師質皿	なし	14.3		3.15	にぶい黄橙色	見) 回しナデ, 外) 回しナデ		ち 103
297-6	土師質皿	なし	8.95		1.9	橙色	見) 横ナデ, 回しナデ, 外) 回しナデ1/2		ち 104
297-7	土師質皿		8.9		2.05	にぶい黄橙色	見) 回しナデ		ち 105
297-8	土鉢		長 6.82	幅 4.72	内径 2.1	にぶい黄橙色			ち 102

溝4-598(FKJ02-4 9 B・C-9)図148

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
598-1	小坏	中国		3.5		白磁	軟質, 高台部露胎, 漆継ぎ痕, 高台内漆書き記号		ま 012
598-2	深鉢	瀬戸	(30.0)			灰釉	古瀬戸	古瀬戸後期	ま 010
598-3	播鉢	越前					播目2.8cm/14本	後b	ま 011
598-4	土師質皿	あり	7.8		1.75	灰白色			ま 009
598-5	土師質皿	あり	6.7		1.4	灰白色	見) 回しナデ, 指抜き口縁つまむ		と 140
598-6	土師質皿	あり	7.0		1.7	赤橙色	見) 回しナデ指抜き,		ま 008
598-7	土師質皿	なし	16.8	9.8	2.6	淡灰褐色	見) 横ナデ, 回しナデ, 圏線, 外) 横ナデ		ま 007
598-8	土師質皿	あり	10.15		2.1	灰褐色	見) 横ナデ, 回しナデ, 外) 回しナデ, 見込み線状に段付		と 124
598-9	土師質皿	なし	16.0		(2.1)	灰黄色	見) 横ナデ, 回しナデ, 圏線, 外) 横ナデ		と 125
598-10	土師質皿	あり	(18.0)		2.15	灰白色	見) 横ナデ, 回しナデ, 圏線, 外) 横ナデ		と 126

溝4-802(FKJ02-9 C-9)図148

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
802-1	播鉢	越前		29.4	(4.4)		播目2.8cm/11本	後	と 117
802-2	風炉? (脚)	瓦質土器			(7.2)				と 118
802-3	土師質皿	あり	7.4		1.9	淡黄橙色	口縁/回しナデ		と 122
802-4	土師質皿	あり	7.7		1.85	淡灰褐色	口縁/回しナデ		と 123
802-5	土師質皿	なし	14.2		1.9	淡灰褐色	内外) 横ナデ		と 120
802-6	土師質皿		(16.0)		2.85	灰黄色	見) 横ナデ回しナデ, 外) 段ナデ		と 121

焼土層(北庄城?) (FKJ02-10 C-1)図148

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
焼-1	天目碗	瀬戸美濃	11.6		(5.2)	鉄釉・錆釉	露胎部錆釉		ひ 126
焼-2	瀧反皿	中国(景德鎮)	11.2	6.1	2.25	白磁			ひ 127
焼-3	土師質皿	なし	9.0		1.9	浅黄褐色	見) 回しナデ, 口) 回しナデつまむ		ひ 124
焼-4	土師質皿	なし	8.7		1.9	浅黄褐色	見) 回しナデ, 口) 回しナデつまむ		ひ 125
焼-5	土師質皿	なし	9.7		2.1	浅黄褐色	見) 回しナデ, 口) 回しナデ		ひ 123

2層(FKJ02-4 10 B-3・4, C-1・4~6)図148

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
包-1	碗	中国?	12.0		(5.0)	青磁釉			ひ 113
包-2	鉢	越前			(8.1)				ひ 133
包-3	播鉢	越前	(40.0)		(5.2)		播目3cm/11本, 口縁下沈線		ひ 135
包-4	土師質皿	なし	6.4		1.7	淡黄褐色	内) 回しナデ指抜き		ひ 140
包-5	土師質皿	あり	8.2		(1.8)	灰白色	内) 回しナデ, 口縁つまむ		ひ 141
包-6	土師質皿	なし	8.4		(1.6)	灰白色	内) 回しナデ, 口) 回しナデ		ひ 142
包-7	土師質皿	なし	11.8		2.7	黄褐色	見) 込) 回しナデ, 圏線, 口縁/回しナデ		ひ 131
包-8	土師質皿	なし	11.3		2.6	橙色	見) 込) 回しナデ, 圏線, 口縁/回しナデ		ひ 130
包-9	入子皿	瀬戸	3.3	2.0	0.65	灰釉			ひ 139
包-10	平碗	朝鮮		5.0	3.85	靑瓷手	見) 込) 砂目6ヶ所, 湯高台		ひ 137
包-11	皿	朝鮮?	9.4	4.0	2.25	灰釉	見) 込) 高台量付) 胎土目痕3ヶ所		ひ 132
包-12	碗	中国	9.9	5.0	2.9	染付	替筋底		ひ 136
包-13	茶入	瀬戸	2.6	3.0	5.9	鉄釉	底部糸切)		ひ 134
包-14	播鉢	越前		12.0	(6.5)		播目2.5cm/9本・1本線,		へ 006
包-15	茶入	瀬戸美濃(大塚)	4.6	4.2	7.1	鉄釉	底) 糸切		ひ 095
包-16	天目碗	瀬戸		4.3	(4.4)	鉄釉	高台量付) 床底着痕		ひ 138

土坑3-09(FKJ02-3 A-5・7, B-5)図149

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
3009-1	四耳壺(茶壺)	瀬戸	11.9	(13.4)	(36.0)	錆釉	種刷毛塗, 底部付近露胎		せ 018
3009-2	土師質皿	あり	9.15		2.4	にぶい黄褐色	見) 回しナデ, 口縁つまむ		た 031
3009-3	土師質皿	なし	10.0		2.2	橙色	見) 回しナデ, 圏線, 外) 回しナデ		た 028
3009-4	土師質皿	あり	9.0		2.45	明黄褐色	見) 回しナデ, 口縁つまむ		た 030
3009-5	土師質皿	なし	9.0		2.0	明黄褐色	見) 回しナデ, 口縁つまむ		た 029
3009-6	皿	瀬戸	10.4	5.0	2.4	鉄釉			た 026
3009-7	播鉢	越前	23.0	11.4	9.15		播目2.5cm/11本, 口縁下沈線		た 027

土坑3-10(FKJ02-3 B-6)図149

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
3010-1	天目碗	瀬戸美濃	11.8	4.6	5.4	鉄釉・錆釉	露胎部錆釉		た 035
3010-2	土師質皿	あり	8.75		1.95	にぶい黄褐色	見) 回しナデ, 口縁つまむ		た 033
3010-3	土師質皿	なし	9.0		1.95	橙色	見) 横ナデ, 回しナデ指抜き, 口縁つまむ		た 032
3010-4	土師質皿	あり	11.9		2.4	暗灰黄色	見) 横ナデ, 回しナデ, 外) 回しナデ		た 034

溝3-92(FKJ02-3 A-6)図149

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
3092-1	土師質皿	あり	9.4		2.25	浅黄褐色	見) 横ナデ, 回しナデ, 圏線, 外) 回しナデ, 口縁つまむ		そ 038
3092-2	土師質皿	あり	11.7		2.7	にぶい橙色	見) 横ナデ, 回しナデ, 圏線, 外) 回しナデ, 口縁つまむ		そ 039

土坑3-313(FKJ02-3 B-6)図149

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
3313-1	皿	瀬戸美濃	10.2	5.9	2.45	灰釉	高台内) 輪ナデ痕		そ 040

土坑3-314(FKJ02-3 B-6)図149

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・裝飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
314-1	端反皿	中国(景德鎮)	12.4	7.0	3.1	白磁			そ 041
314-2	土師質皿	あり	8.4		2.0	にぶい橙色	見)横ナデ、回しナデ指抜き、口縁)つまむ		そ 042

柱穴3-82(FKJ02-3 B-8)図149

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・裝飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
3082-1	土師質皿	なし	11.4		2.9		見)横ナデ、回しナデ、外)回し段ナデ、口縁)つまむ		そ 037

土坑3-103(FKJ02-3 B-8)図149

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・裝飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
3103-1	菊形皿	中国(華南)	6.0	3.7	1.1	浅葱釉・鉄釉	高台内刻印、型押し成形、浅葱交趾	接合 遺構3-228・225	せ 026
3103-2	皿	中国(景德鎮)		7.0	(0.82)	染付			せ 025
3103-3	皿	中国	10.1	2.6	2.9	白磁	替菊底	被熱により内面火彫れ、接合 a層	せ 024
3103-4	土師質皿	あり	11.5		2.25	淡灰橙色	見)横ナデ回しナデ、圈縁		せ 027

土坑3-106A(FKJ02-3 B-8)図149

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・裝飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
3106-1	土師質皿	あり	11.7		2.6	にぶい橙色	見)横ナデ、回しナデ、外)回し段ナデ		そ 043

溝3-117(FKJ02-3 A-7)図149

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・裝飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
3117-1	皿	瀬戸美濃	10.5	6.15	2.65	灰釉		大窯前期	そ 044

2A層(FKJ02-3 A~C-6~8)図149-150

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・裝飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
2A-1	天目碗	瀬戸美濃	11.4		(5.45)	鉄釉・錆釉	露胎部錆釉		た 043
2A-2	天目碗	瀬戸美濃	12.0		(5.1)	鉄釉		大窯後期	た 045
2A-3	天目碗	瀬戸美濃	11.6		(4.7)	鉄釉	被熱		た 044
2A-4	碗	瀬戸		4.3	(10.4)	鉄釉			そ 062
2A-5	小坏	瀬戸美濃	6.2	2.7	2.9	鉄釉	漆繕ぎあり		た 041
2A-6	皿	瀬戸美濃	9.6	4.6	2.6	灰釉(灰志野?)	替菊底、漆繕ぎ、青磁写し		た 037
2A-7	皿	瀬戸美濃	10.8	6.0	2.35	灰釉	底)輪ト手痕		た 038
2A-8	皿	瀬戸美濃	10.4	5.4	2.35	灰釉		大窯前	た 039
2A-9	皿	中国(景德鎮)	(10.4)	8.1	(1.5)	染付			た 040
2A-10	端反皿	中国(景德鎮)	13.0	6.8	3.0	白磁			た 036
2A-11	播鉢	越前	(31.0)		(5.2)		播目2.5cm/8本、口縁下沈線	後	た 046
2A-12	大海茶入	瀬戸美濃	5.6	4.8	5.2	鉄釉	糸切底		た 042
2A-13	土師質皿	あり(内面に3ヶ所)	8.8		1.85	にぶい黄橙色	見)横ナデ、回しナデ、口縁)つまむ		た 047
2A-14	土師質皿	あり(1/2)	9.6		2.2	橙色	見)横ナデ、回しナデ、口縁)つまむ		た 048
2A-15	土師質皿	なし	9.8		2.55	にぶい黄橙色	見)回しナデ、圈縁、外)回し段ナデ		た 050
2A-16	土師質皿	なし	(11.0)		(2.35)	浅黄橙色	見)回しナデ、外)回しナデ		た 049
2A-17	土師質皿	あり	11.7		2.2	浅黄橙色	見)回しナデ、圈縁、外)回し段ナデ		た 051

2B層(FKJ02-3 B-5、C-5・6)図150

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・裝飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
2B-1	土師質皿	なし	9.0		2.3	にぶい黄橙色	見)回しナデ指抜き、		そ 049
2B-2	土師質皿	あり	10.0		2.05	にぶい黄橙色	見)回しナデ、外)回し段ナデ		そ 045
2B-3	播鉢	越前	(33.6)	(15.0)	9.95		播目3cm/11本、口縁直下沈線		そ 050
2B-4	播鉢	越前	(39.0)		(9.5)		播目3cm/9本、口縁1.8cm下沈線		そ 051
2B-5	播鉢	信楽			(3.4)		播目1.3cm/5本、胎土砂粒多し、		そ 052

3A層(FKJ02-3 A-6、B-5・6・8)図150

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・裝飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
3A-1	天目茶碗	瀬戸美濃	10.0		(4.3)	鉄釉		大窯	そ 065
3A-2	大海茶入	瀬戸美濃(備前?)	4.9	5.9	8.05	橙緑	胴部沈線1条、外底面刷り仕上げ		そ 046
3A-3	碗	中国(景德鎮)		4.9	(2.7)	染付	見込)竜紋		そ 066

3B層(FKJ02-3 A・B-8)図150

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・裝飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
3B-1	皿	瀬戸美濃	8.35	4.5	1.9	灰釉	高台内輪ト手痕あり		そ 057
3B-2	土師質皿	あり	9.0		2.05	にぶい黄褐色	見)回しナデ、口縁)つまむ		そ 056
3B-3	土師質皿	あり	5.0		2.15	にぶい橙色	見)回しナデ、圈縁、外)回し段ナデ		そ 064

3層(FKJ02-3 A-6、B-5・6)図150

図面	器種	土師質・灯芯油痕(あり・なし) 陶磁器・産地	法量(cm)			土師質・胎土・色調 陶磁器・釉薬・裝飾	成形・調整・その他	備考	実測
			口径	底径	高さ				
3層-1	大皿	中国(龍泉窯)	34.0	13.4	7.5	青磁	漆繕ぎ		そ 067
3層-2	碗	中国(漳州窯)	10.0	4.0	(2.0)	染付	見込みやや盛り上がる		そ 061
3層-3	皿	瀬戸美濃	10.6	5.8	2.45	灰釉	高台内輪ト手痕		そ 058
3層-4	土師質皿	あり	11.2		2.4	明褐色	見)回しナデ、圈縁、外)回し段ナデ		そ 055
3層-5	土師質皿	あり	8.8		2.05	褐灰色	見)横ナデ、回しナデ、口縁)つまむ		そ 060
3層-6	土師質皿	あり	9.0		1.8	にぶい黄褐色	見)横ナデ、回しナデ、口縁)つまむ		そ 063
3層-7	土師質皿	あり	8.2		2.0	にぶい橙色	見)横ナデ、回しナデ、口縁)つまむ		そ 059
3層-8	小壺	越前	6.3	8.3	9.7				そ 047

木製品

漆塗椀（第 151 図 1 ~ 第 155 図 57） 総数 90 点出土している。本報告には 57 点を掲載。器高と口径の比率から 6 分類される。1 ~ 16 は高台部、器高とも高く、飯椀に相当する。器高は 8 ~ 10cm、口径は 15cm 前後 ~ 18cm。口径によりさらに 2 分類され、12 ~ 14・16 は口径が 16 ~ 18cm あり特に大振りのもの。他は口径 15cm 前後。高台裏に刻文や文字を持つものが多い。17 ~ 48 は、飯椀より高台部、器高とも低く、汁椀に相当すると考えられるもの。器高は 3.5 ~ 7cm、口径は 12 ~ 15cm。器高と口径の比率から 3 分類される。17 ~ 29・35・36 は器高 6 ~ 7 cm、口径 14 ~ 15cm。口径は飯椀とあまりかわらないが、高台部が低い。30 ~ 32・34・37・39 は器高 4.5 ~ 5.5cm、口径 13 ~ 14cm 前後。33・40 ~ 48 は器高 3.5cm 前後、口径 12 ~ 13cm。43・46 ~ 48 は内外共赤色で、48 は端反。43 は近世に降るものかとも考えられる。49 ~ 57 は器高が低く皿に相当する。器高は 3 cm 前後、口径は 8 ~ 10cm 前後。

椀・皿類のみで、平椀・壺椀などは無い。上塗りは、内外とも黒が 6 割ほどで、外面黒内面赤が 3 割ほど。漆絵は全体の 8 割ほどで確認でき、内外ともに描かれるものが 4 割ほど、外面のみが 3 割ほど、内面のみが 2 割ほど。家紋風の丸文は 1 割ほどである。漆絵の種類は、鶴・亀・松・柑橘類などを描く蓬菜文が 3 割ほど、扇や宝珠などの吉祥物を描く器物文が 3 割ほど、植物文が 2 割ほどである。文様の展開では、内面では中央に 1 箇所、周囲に 3 箇所というのが多い。

柄杓（第 156 図 58） 底板は欠落。径約 15cm。柄は長さ約 63cm、幅 3 cm、厚さ 1 cm。

釣瓶（第 156 図 59） 平面形が台形の側板。釘が打ち込まれている。近世のものより若干小振り。

鍬身・鍬柄（第 156 図 60・61） 柄穴は方形で、着柄角度は約 60°。

切匙・筥（第 156 図 62 ~ 64） 62・64 は切匙で、長さは 19.6 と 37.5cm。63 は筥で、板を弧状に切って柄とし、先端は細く尖らせる。身は直線的。蒲鉾板かとも考えられる。

加工木（第 156 図 65・第 159 図 93・94・97） 65 は断面長方形の棒の 1 側面に約 1 cm 間隔に穴を開ける。93 は長方形の板に径 3 cm ほどの穴を開け、先端を細くする。94 は先端が尖る棒。97 は平面楕円形で側面が斜めの厚さ 4 cm 程のもので、上下の接地面のみ平で中央に径 4 cm 程の穴が開く。

箸（第 156 図 67 ~ 74） 24 点を資料化し、8 点を掲載した。67 は一方の端のみを細く削る片口箸。68 は端を削り込まず同じ太さの寸胴箸。69 ~ 74 は両端とも削られる両口箸。片口箸と寸胴箸が 1 点ずつあり、残りはすべて両口箸である。長さは約 19 ~ 28cm までである。

容器（第 157 図 75 ~ 79・81 ~ 87・第 158 図 88 ~ 90） 82・86 は柄杓。82 は径約 11cm、86 は 7 cm。83 は径約 19cm。75 は取手の痕跡があり蓋板。76 ~ 79・81・84 ~ 90 は底板。径 16 ~ 20cm で 5 割ほど。88 は大甕の蓋。

折敷（第 157 図 80） 長さ約 22cm。2 個 1 組の穴が四方にある。

木簡（第 159 図 91） 側面に切り込みなどはない。厚さ 0.4cm。

楊枝（第 159 図 92） 頭部を斜めに切り落とし、先端に向かって細くなる。

糸巻（第 159 図 95・96） 96 を十字に 2 段に組み、回りに 95 を 4 本立てて糸巻となる。

舟形（第 159 図 98） 縁を持つ精巧な作り。船尾に穴がある。

下駄（第 159 図 99 ~ 108） 一木の連歯下駄が 5 点、無歯の雪下駄が 4 点、差歯の露卯下駄が 1 点、である。100・108 には台表に「×」印があり、さらに 108 には花卉と格子目文様が焼印される。これらは、悪霊除けの呪符だと考えられる。102・103 は釘で補修される。104 は長さ 10.3cm で子供用。

（本多）

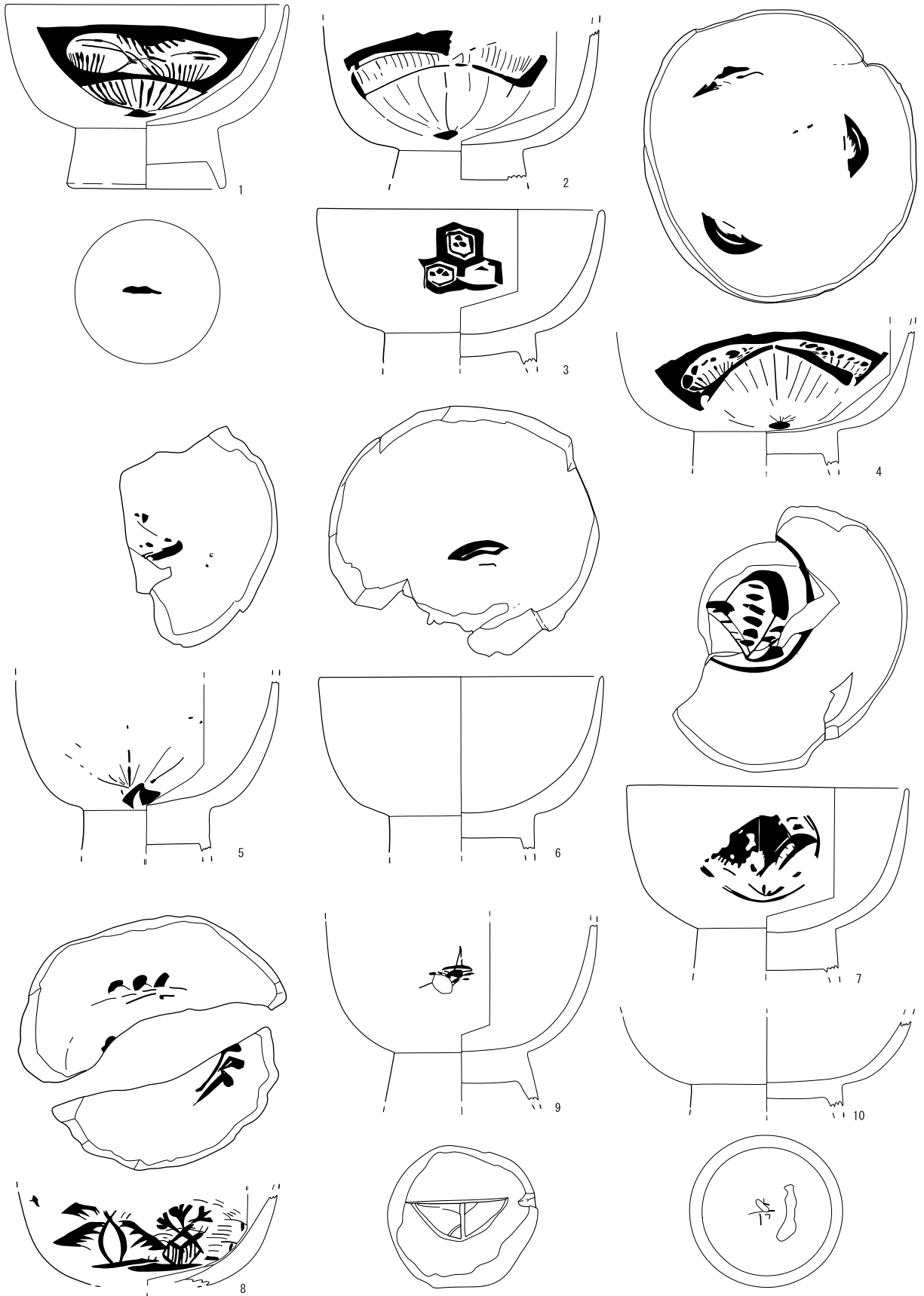


图151 漆器① (S=1/3)

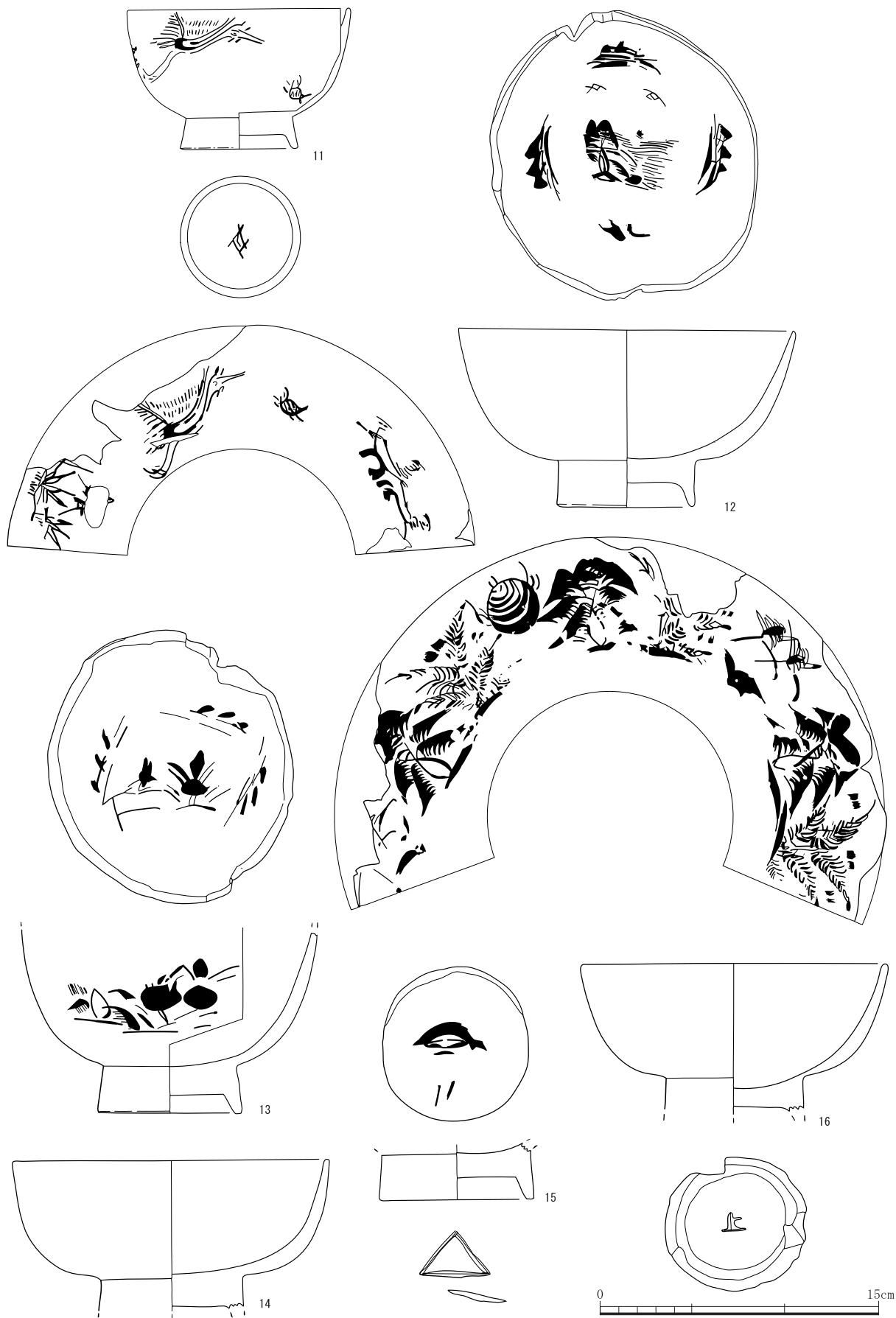


图152 漆器② (S=1/3)

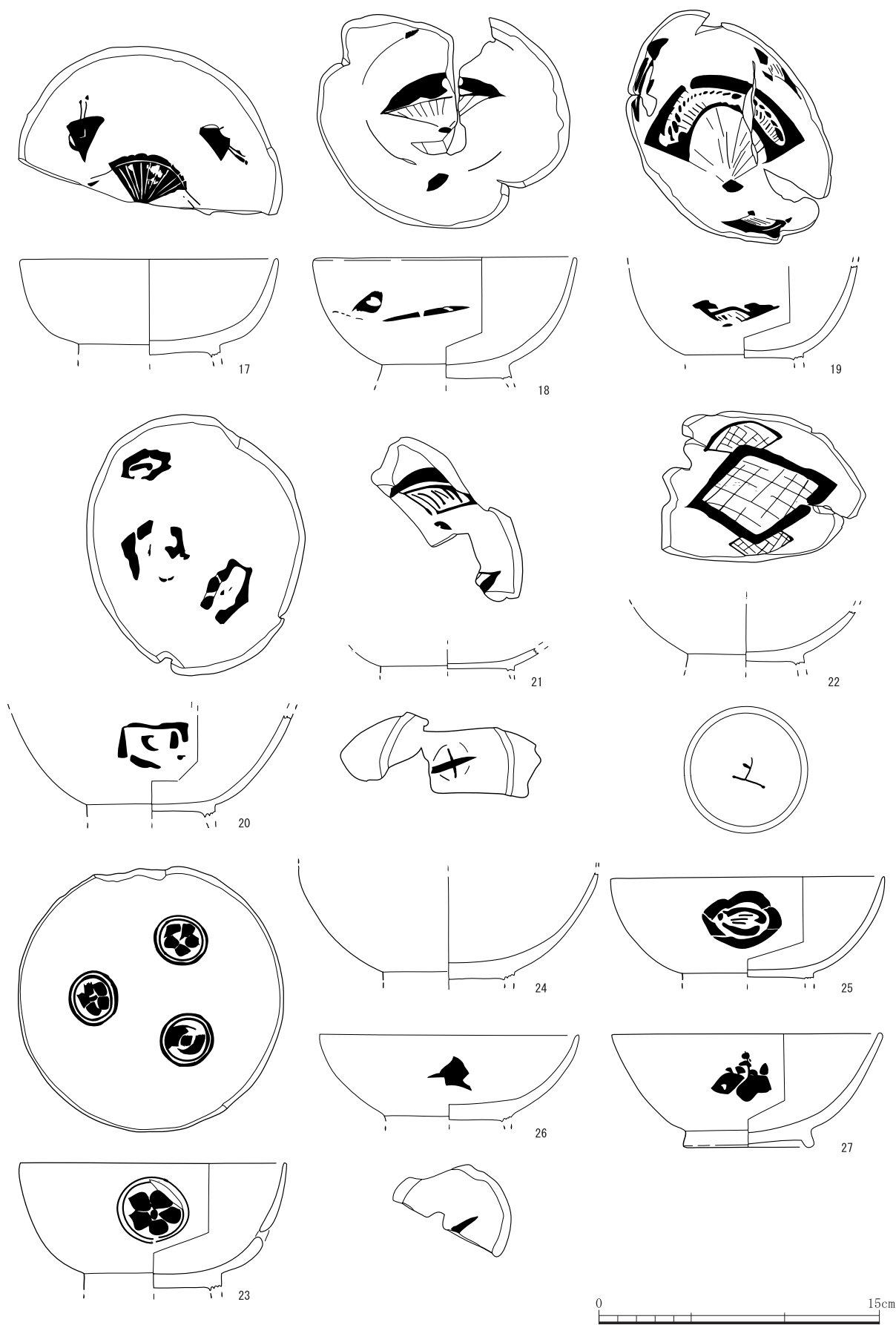


图153 漆器③ (S=1/3)

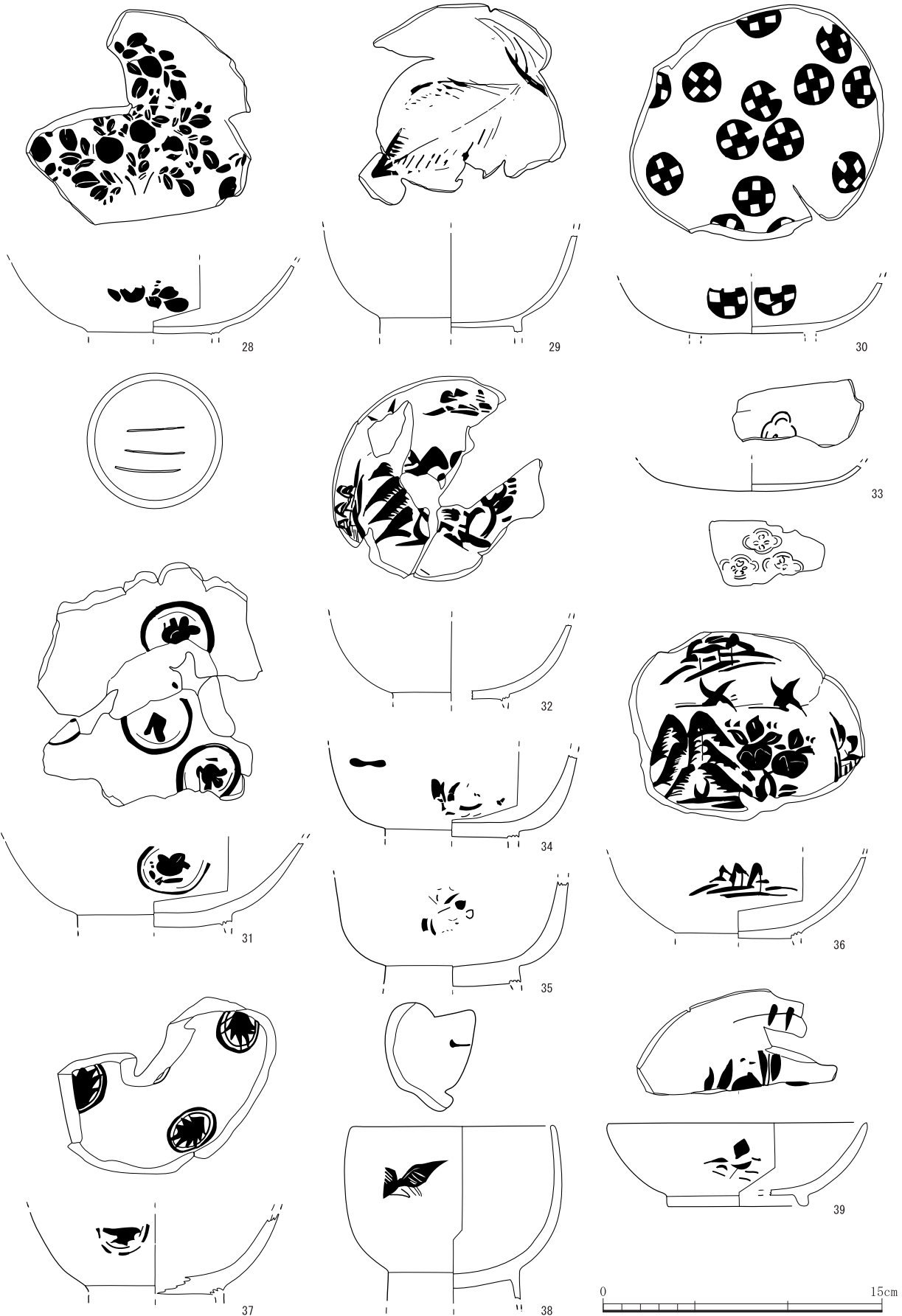


图154 漆器④ (S=1/3)

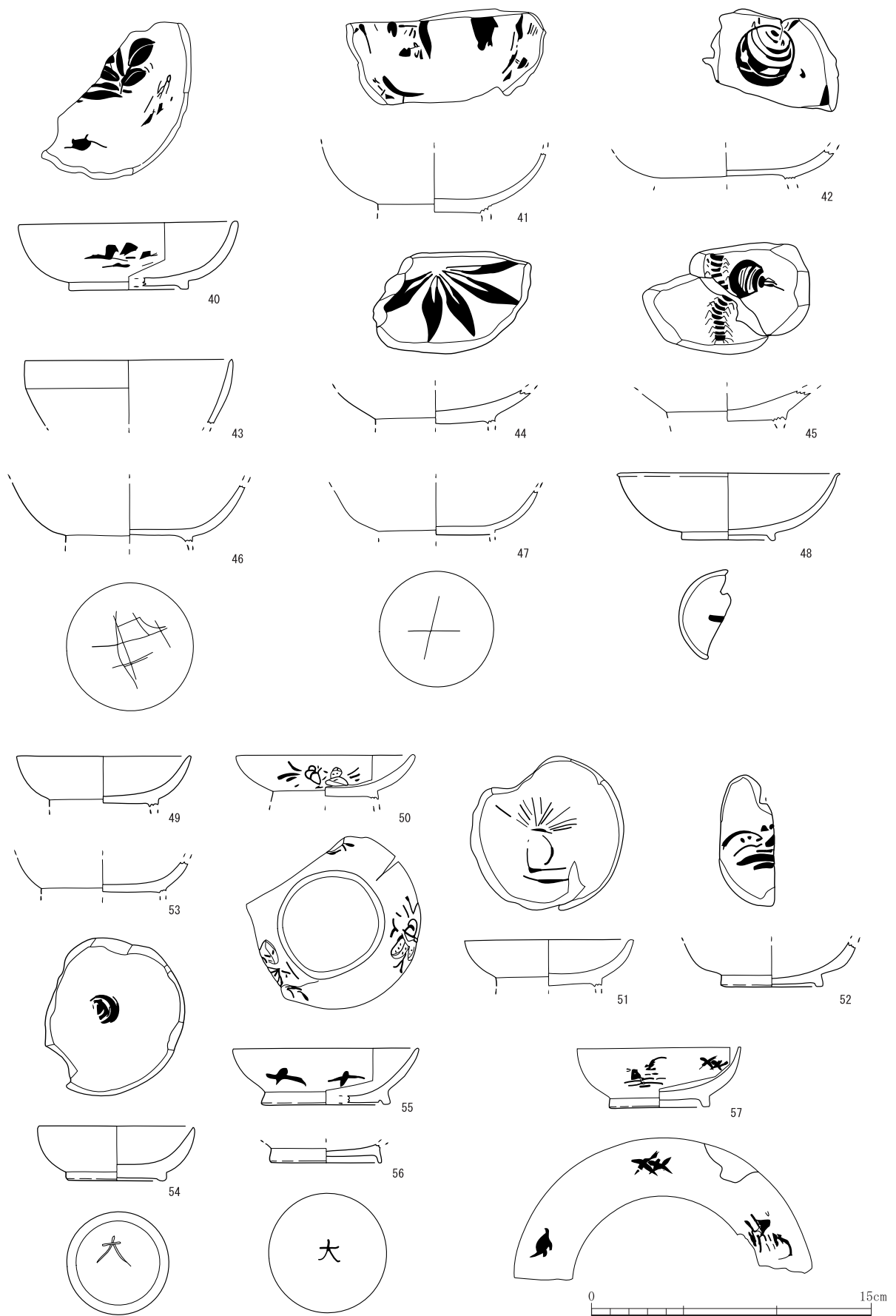


图155 漆器⑤ (S=1/3)

表21 漆器觀察表

押図番号	写真図版	遺構番号	時期	器種	上		上				高台裏		法量(cm)					
					内面	外面	漆		繪		刻印	漆文字・記号		口径	器高	高台径	高台高	
							位置	色	種類	(圍線)		色	種類					
151-1	54	10-包含層	16世紀	飯椀	赤	黒	外	外-2	赤	外-輪線			赤	「一」	14.9	9.6	8.4	3.1
151-2	54	10-包含層	16世紀	飯椀	赤	黒	外	外-2	赤	輪線					(14.4)	(8.0)	(7.0)	(1.5)
151-3	55	9-128	16世紀中-後	飯椀	赤	黒	外	外-3	赤	三つ盛の亀甲に三つ星					15.0	(8.3)	(8.0)	(1.7)
151-4	54	10-1286	16世紀前-中	飯椀	黒	黒	内外	内-中1, 周3 外-3?	赤	輪線					(15.6)	(7.2)	(7.6)	(1.9)
151-5	54	2-217	16世紀中-末	飯椀	黒	黒	内外	内-中1, 周-? 外-3?	赤	輪線					(13.8)	(9.0)	(6.8)	(2.3)
151-6	-	10-包含層	16世紀	飯椀	黒	黒	内外	内-中1	赤	輪線					14.9	(9.1)	(7.6)	(1.9)
151-7	54	10-1009	16世紀後-末	飯椀	黒	黒	内外	内-中1 外-2x2	赤	外-葉または 葉、「引掻き」	内- 外-、繪				14.8	(9.7)	(7.6)	(2.4)
151-8	4	9-229	16世紀	飯椀	黒	黒	内外	内-中1, 周3 外-全面	赤	蓮葉文(松、井戸?、植物)					(13.6)	(5.0)	-	-
151-9	54	10-1009	16世紀後-末	飯椀	赤	黒	外	外-2種	赤	水鳥?、蓮葉文	有				(14.2)	(9.4)	(8.0)	(2.6)
151-10	54	2-209	16世紀中-後	飯椀	赤	黒	高台裏	外-2種	赤	水鳥?、蓮葉文	有	赤	「吉?」	(15.0)	(4.8)	(8.0)	(1.5)	
152-11	54	3-118	16世紀後-末	飯椀	黒	黒	外	外-全面	赤	蓮葉文(龜、龜、松、竹)		赤	「獨立て井筒?」	12.0	7.5	6.4	2.2	
152-12	55	9-222	16世紀中-後	飯椀	黒	黒	内外	内-中1, 周4 外-全面	赤	蓮葉文(松、竹、珠、寶珠、龜、龜)					18.2	9.4	7.4	2.5
152-13	54	2-217	16世紀中-末	飯椀	黒	黒	内外	内-中1, 周3 外-全面	赤	蓮葉文(松、柑、櫻、鶴)	「一?」				(17.0)	(9.8)	7.8	2.5
152-14	-	9-06	16世紀末	飯椀	赤	黒	外	外-3	赤	?					16.0	(8.1)	(7.8)	(1.8)
152-15	54	10-1009	16世紀後-末	飯椀	黒	黒	内外	外-3	赤	輪線	「1」?」?				(8.2)	(2.5)	8.3	2.4
152-16	-	9-76	16世紀中-後	飯椀	赤	黒	内外	外-3	赤	輪線「引掻き」	「上」				16.6	(7.8)	(7.5)	(1.9)
153-17	55	2-291	15世紀後-16世紀後	汁椀	黒	黒	内外	内-中1, 周3? 外-?	赤	楕圓、「引掻き」					14.0	(5.4)	(7.6)	(0.8)
153-18	55	10-1009	16世紀後-末	汁椀	黒	黒	内外	内-中1, 周2? 外-?	赤	輪線					14.3	(6.5)	(7.4)	(0.9)
153-19	55	10-1340	16世紀	汁椀	黒	黒	内外	内-中1, 周3 外-3?	赤	輪線					(12.4)	(5.0)	(6.4)	(0.3)
153-20	55	2-217	16世紀中-末	汁椀	黒	黒	内外	内-1, 周3? 外-3?	赤	龜甲文?	有				(15.2)	(5.5)	(6.9)	(0.8)
153-21	55	2-247	16世紀中	汁椀	黒	黒	内	外-3?	赤	輪線	有				(10.0)	(1.3)	(7.2)	(0.4)
153-22	55	4-板石敷通路上	16世紀中-後	汁椀	黒	黒	内	単独?	赤	菱、扇?	有				(12.0)	(3.2)	(6.4)	(0.7)
153-23	55	4-5034	16世紀後-末	汁椀	黒	黒	内外	内-周3 外-3	赤	植物(花?)					14.4	(6.7)	(7.4)	(1.0)
153-24	-	9-86	16世紀中-後	汁椀	赤	黒	外	外-3	赤	?					(16.0)	(5.8)	(7.0)	(0.5)
153-25	55	9-130	16世紀	汁椀	赤	黒	外	外-3	赤	木瓜					14.6	(5.5)	(7.0)	(1.0)
153-26	-	9-包含層	16世紀	汁椀	赤	黒	外	外-3	赤	?		赤	?		14.0	(4.6)	(6.8)	(0.4)
153-27	55	2-包含層	16世紀	汁椀	黒	黒	外	外-2?	赤	?					14.6	6.0	7.2	0.9
154-28	55	10-1199	16世紀	汁椀	黒	黒	内外	内-楕圓 外-?	赤	柑楕圓「引掻き」	「三引?」				(15.2)	(4.8)	(7.1)	(0.2)
154-29	55	2-297	15世紀後-16世紀後	汁椀	黒	黒	内	中1, 周3?	赤	植物(葉)					(13.6)	(5.5)	(7.7)	(0.9)
154-30	55	2-297	15世紀後-16世紀後	汁椀	黒	黒	内外	内-中1, 周-6 外-3? x3	赤	錢?					(14.0)	(2.9)	(6.8)	-
154-31	-	9-23	16世紀中-後	汁椀	黒	黒	内外	内-中1, 周-3 外-3	赤	楕圓					(16.0)	(4.6)	(8.2)	(0.7)
154-32	55	2-包含層	16世紀	汁椀	黒	黒	内外	内-中1, 周?	赤	蓮葉文(松、柑、楕圓、鶴?)					(13.0)	(4.3)	(6.2)	(0.5)
154-33	55	4-817A	16世紀中-後	汁椀	黒	赤	内外	内-赤外-黒	赤	三つ盛の木瓜?					(12.0)	(1.5)	-	-
154-34	-	10-包含層	16世紀	汁椀	黒	黒	内外	内-中1, 周2? 外-?	赤	木瓜					(14.2)	(4.5)	(7.2)	(0.4)
154-35	-	9-146	16世紀中-後	汁椀	赤	黒	外	外-3	赤	?		赤	「一」		(12.6)	(5.7)	(7.4)	(1.1)
154-36	55	2-217	16世紀中-末	汁椀	黒	黒	内外	内-中1, 周3 外-3	赤	蓮葉文(松、柑、楕圓、鶴、龜)	「引掻き」				(13.8)	(4.4)	(6.8)	(0.3)
154-37	55	2-包含層	16世紀	汁椀	黒	黒	内外	外-4? 内-中1, 周4	赤	植物					(13.4)	(4.5)	(7.2)	(0.5)
154-38	-	9-222	16世紀中-後	汁椀	赤	黒	外	外-3	赤	「引掻き」					11.0	(9.4)	(7.2)	(1.7)
154-39	55	4-包含層	16世紀	汁椀	黒	黒	内外	内-中1, 周3 外-?	赤	蓮葉文(植物、鶴)					(12.8)	(2.8)	7.6	0.6
155-40	55	9-215	16世紀中-後	汁椀	黒	黒	内外	内-中1, 周? 外-?	赤	蓮葉文(柑楕圓、鶴、松)	「引掻き」				11.8	(3.5)	(6.4)	0.5
155-41	-	2-包含層	16世紀	汁椀	黒	黒	内	内-中1, 周3?	赤	蓮葉文(鶴?、龜、松)					(12.0)	(3.5)	(6.0)	(0.5)
155-42	55	9-129	16世紀中-後	汁椀	黒	黒	内	単独?	赤	宝珠					(11.8)	(1.7)	(7.5)	(0.3)
155-43	-	3-包含層	16世紀	汁椀	赤	赤	内	単独?	赤	?					11.2	(3.5)	-	-
155-44	55	2-包含層	16世紀	汁椀	黒	黒	内	単独?	赤	葉または花					(10.4)	(1.3)	(6.4)	(0.4)
155-45	55	9-180	16世紀中-後	汁椀	黒	黒	内	単独?	赤	百足、宝珠					(9.2)	(1.6)	(6.2)	(0.5)
155-46	-	4-包含層	16世紀	汁椀	赤	赤	無				有?				(12.6)	(3.4)	(6.8)	(0.5)
155-47	55	2-297	15世紀後-16世紀後	汁椀	赤	赤	無				「x」				(11.0)	(2.5)	(6.2)	(0.4)
155-48	-	10-1057	16世紀後-末	汁椀	赤	赤	高台裏		黒	?		黒	「一」		12.6	3.5	5.0	0.5
155-49	-	4-包含層	16世紀	皿	黒	黒	内		赤	?					9.4	(2.8)	(5.8)	(0.5)
155-50	55	3-10	16世紀後-末	皿	赤	赤	外	外-3	黒	植物					9.6	2.5	(5.8)	(0.7)
155-51	55	2-包含層	16世紀	皿	黒	黒	内	単独?	赤	蓮葉文(松)					9.0	(2.5)	(5.6)	(0.5)
155-52	55	2-217	16世紀中-末	皿	黒	黒	内	単独?	赤	蓮葉文(松)	有				(9.0)	(2.5)	5.6	0.6
155-53	-	2-297	15世紀後-16世紀後	皿	黒	黒	内		赤	輪線?	有				(8.6)	(2.0)	(6.6)	(0.4)
155-54	55	4-597	16世紀中-後	皿	黒	黒	内	中-1	赤	?	「大」				8.4	2.9	5.4	0.5
155-55	-	3-包含層	16世紀	皿	赤	黒	外		赤	つる					10.0	3.1	7.0	0.7
155-56	55	2-217	16世紀中-末	皿	黒	黒	-				「大」				(6.4)	(1.0)	6.1	0.8
155-57	55	9-215	16世紀中-後	皿	赤	黒	外	外-3	赤	蓮葉文(植物、鶴、龜)					8.8	3.2	5.4	0.5

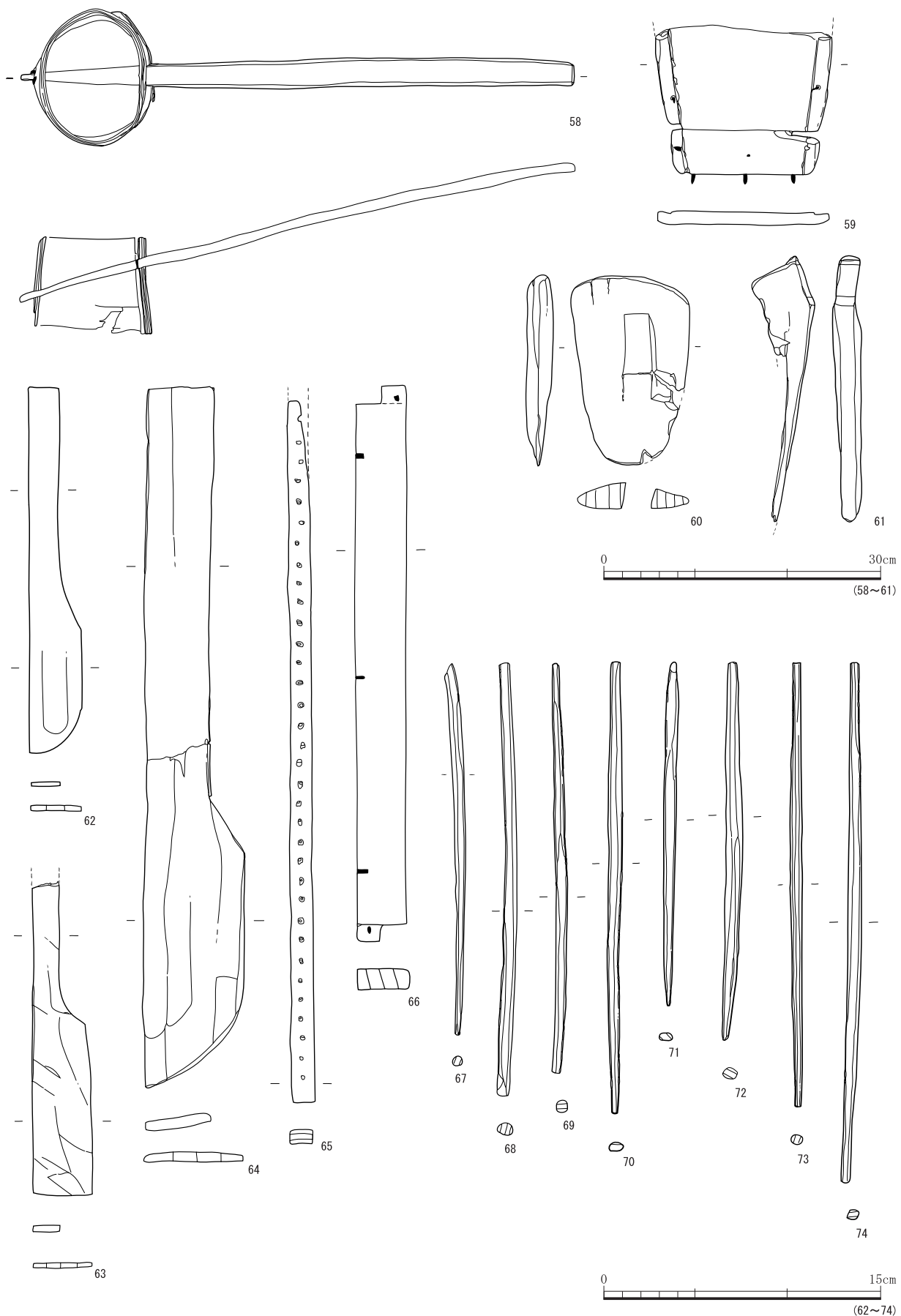


图156 木製品① (S = 1/3 · 1/6)

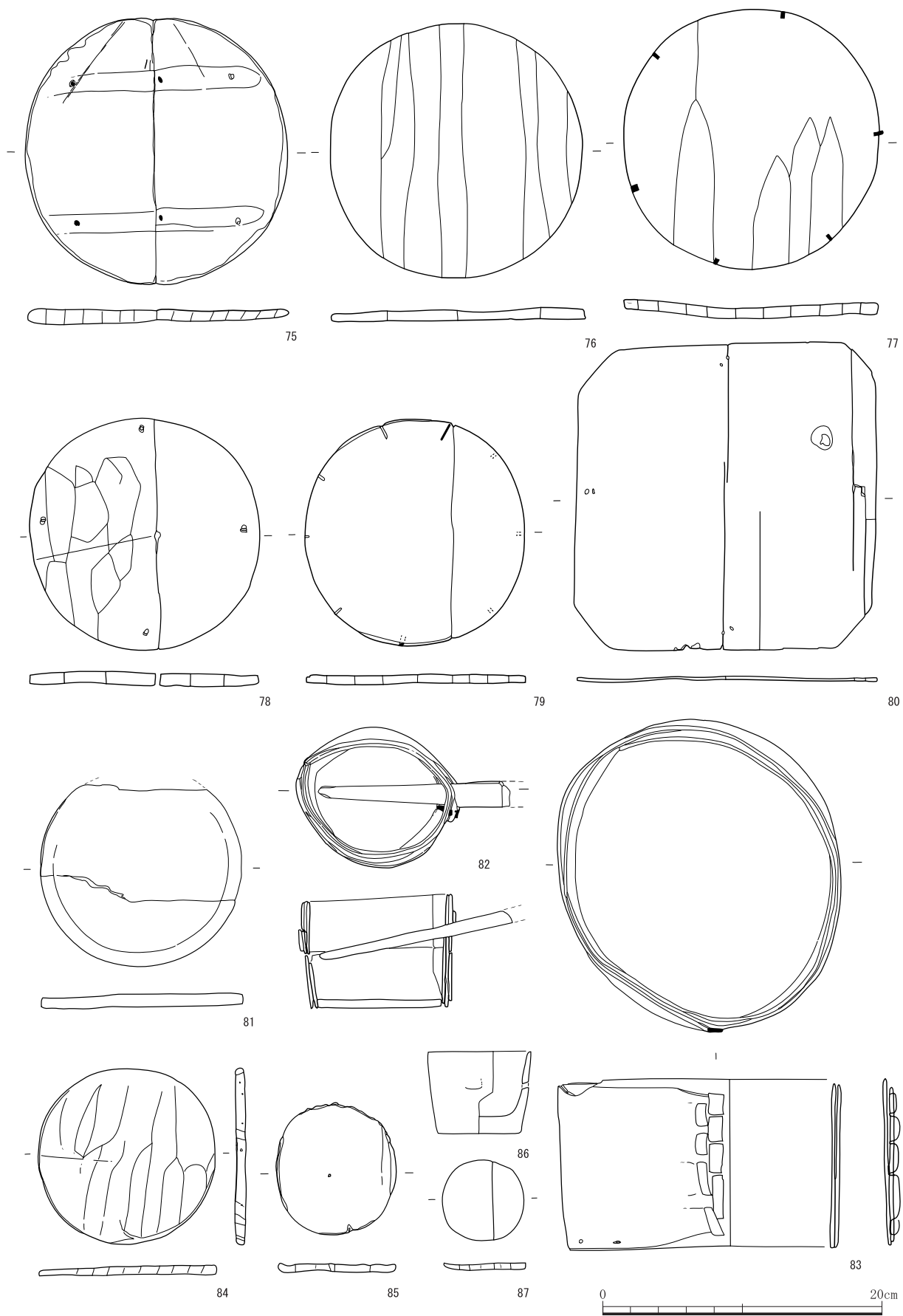
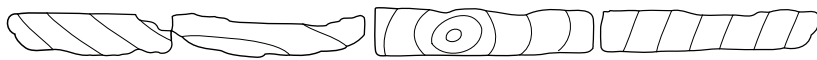
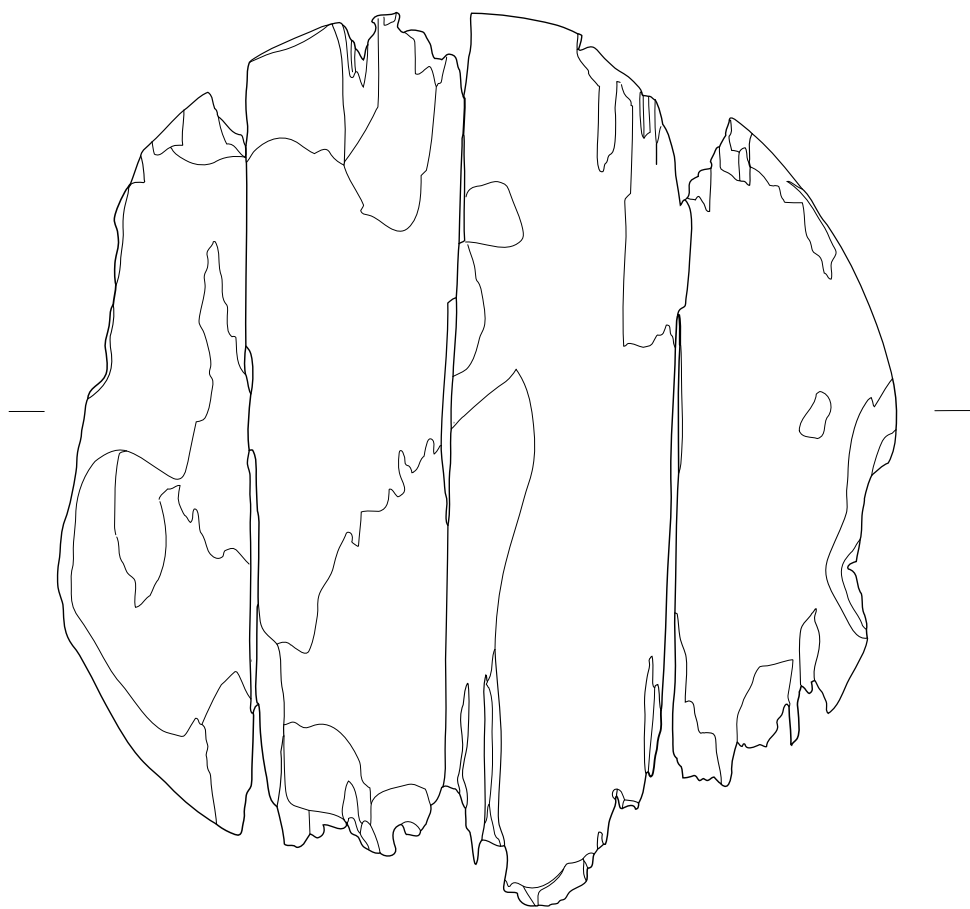
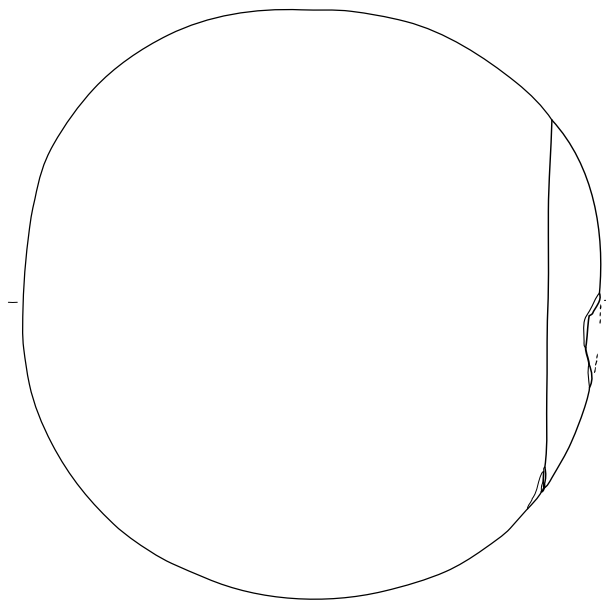


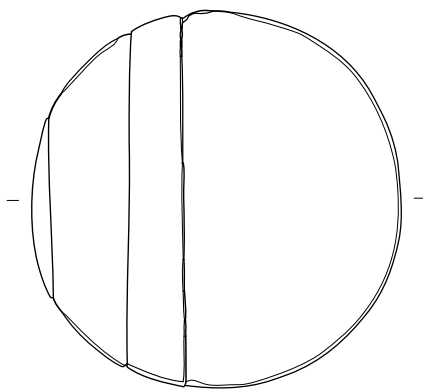
图157 木製品② (S=1/4)



88



89



90

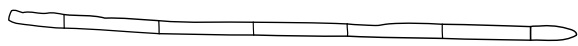


图158 木製品③ (S = 1/4)

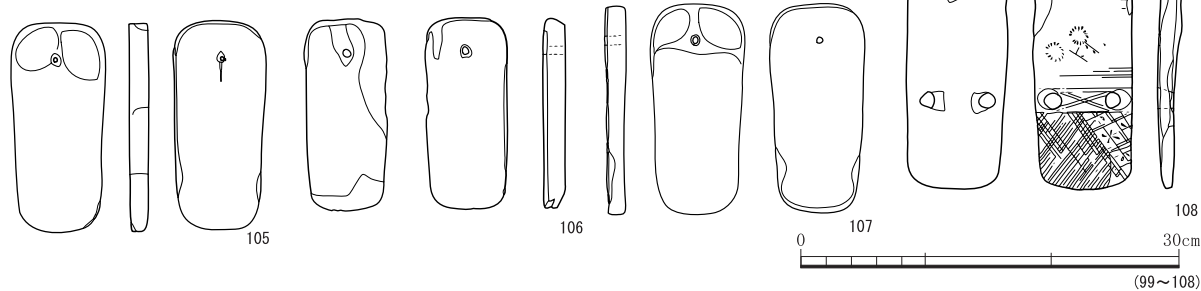
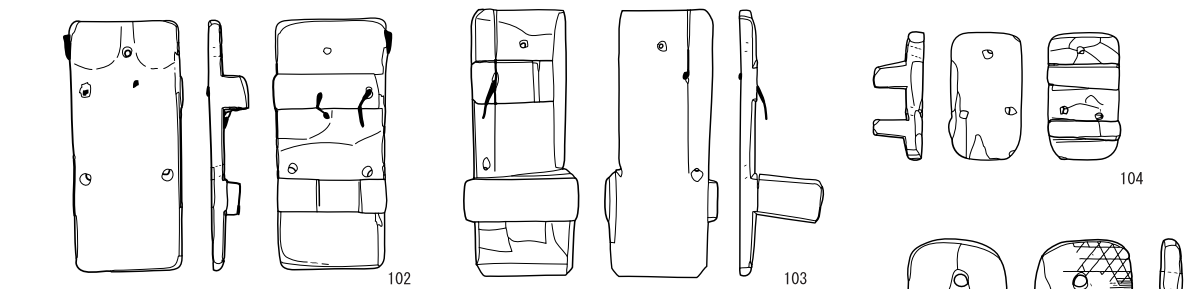
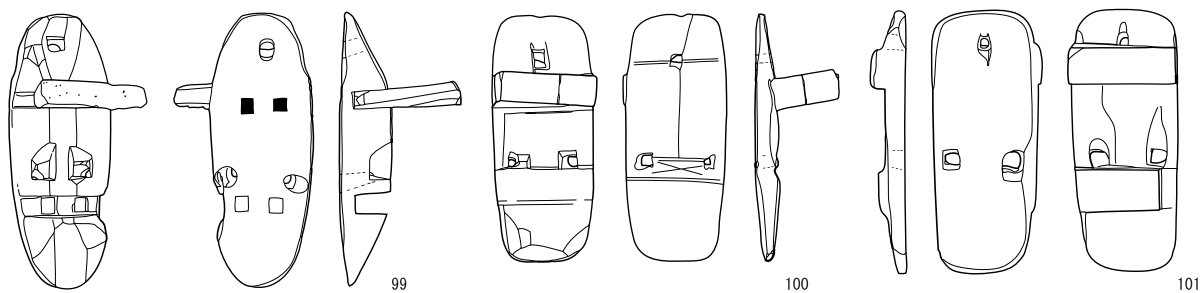
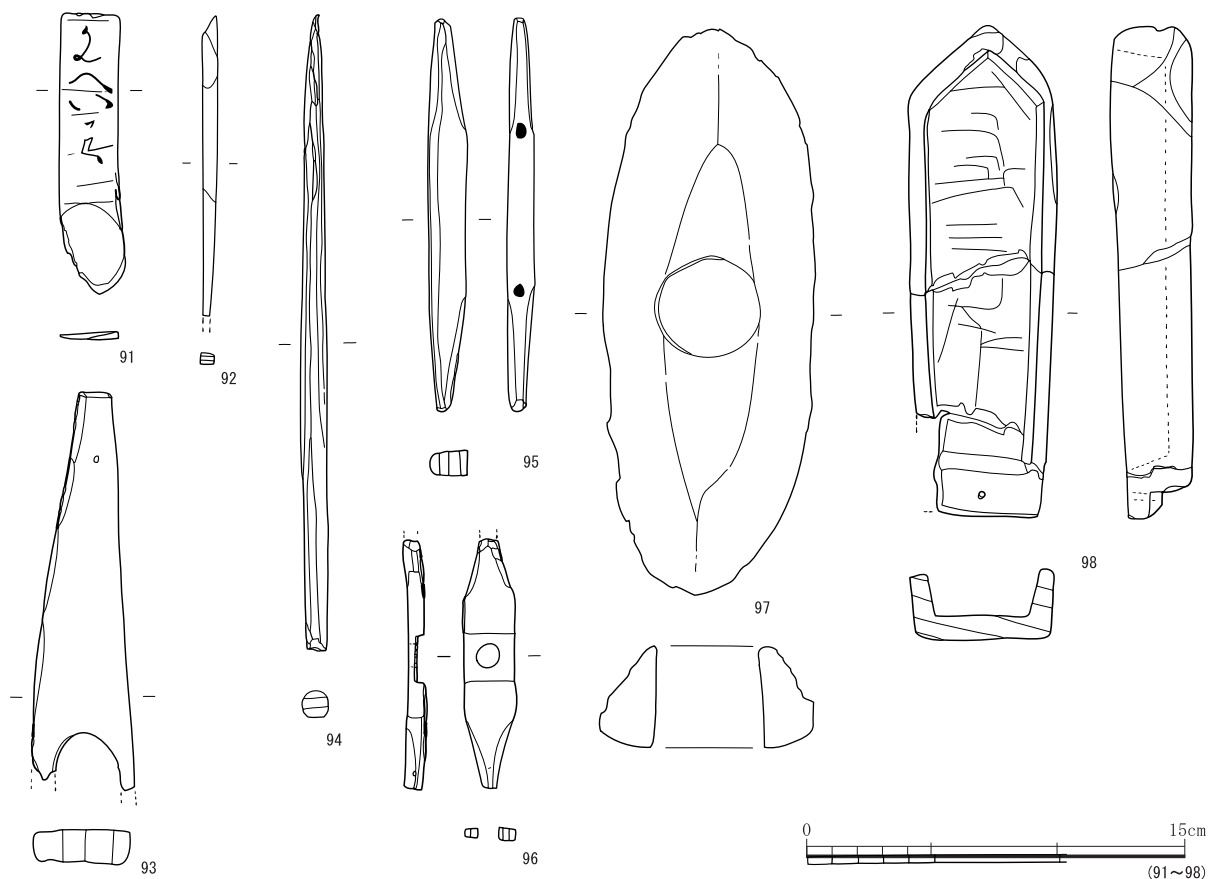


図159 木製品④・下駄 (S=1/3・1/6)

表22 木製品観察表

挿図番号	遺構番号	時期	種類	法量(cm)			備考
				長	巾	厚	
156-58	9-15	16世紀中～末	柄杓	15.0	—	1.0	底板は欠損、柄の長さは62.5cm
156-59	9-14	16世紀中～後	釣瓶	(16.3)	(18.6)	1.4	側板、釘7ヶ所残存
156-60	9-135	16世紀中	鍬	20.7	13.0	2.8	身部
156-61	9-135	16世紀中	鍬	29.0	6.2	3.0	柄部、一部欠損
156-62	10-1009	16世紀後～末	切匙	19.6	2.8	0.3	
156-63	10-1009	16世紀後～末	切匙	(17.0)	3.2	0.4	
156-64	10-1009	16世紀後～末	切匙	37.5	5.4	0.6	
156-65	10-1009	16世紀後～末	部材	(37.7)	1.3	0.7	0～0.3cm穿孔33ヶ所
156-66	10-1009	16世紀後～末	部材	29.9	2.8	1.1	
156-67	4-802	16世紀中	箸(片口箸)	20.0	0.7	0.7	
156-68	10-1009	16世紀後～末	箸(寸胴箸)	23.3	0.8	0.7	
156-69	9-94	16世紀中～後	箸(両口箸)	22.0	0.6	0.6	
156-70	9-28	16世紀中～後	箸(両口箸)	24.3	0.7	0.6	
156-71	4-802	16世紀中	箸(両口箸)	18.5	0.7	0.4	
156-72	9-222	16世紀中～後	箸(両口箸)	20.3	0.9	0.6	
156-73	10-1009	16世紀後～末	箸(両口箸)	23.9	0.7	0.6	
156-74	10-1009	16世紀後～末	箸(両口箸)	27.9	0.7	0.6	
157-75	9-131	16世紀中～後	蓋板	18.8	—	1.0	木釘4ヶ所残存
157-76	9-257	16世紀中～後	底板	18.2	—	0.8	
157-77	9-94	16世紀中～後	底板	18.2	—	0.8	
157-78	9-135	16世紀中	底板	16.5	—	1.0	中央に1ヶ所、側面に4ヶ所穴
157-79	9-130	16世紀	底板	16.2	—	0.6	側板の一部残存
157-80	9-130	16世紀	折敷	21.9	21.4	0.3	側板の一部残存
157-81	10-1057	16世紀後～末	底板	14.4	—	0.9	
157-82	4-802	16世紀中	柄杓	8.1	11.3	0.6	
157-83	4-586	16世紀中～後	曲物	12.2	19.0	—	底板欠損
157-84	9-15	16世紀中～末	底板	12.7	—	0.7	
157-85	10-1009	16世紀後～末	底板	9.4	—	0.6	
157-86	10-1057	16世紀後～末	柄杓	7.2	5.7	—	
157-87	9-168	16世紀中	底板	5.7	—	0.5	
158-88	9-221	16世紀中～後	底板	(4.7)	—	2.5	
158-89	10-1286	16世紀前～中	底板	31.1	—	0.8	
158-90	9-166	16世紀中～後	底板	20.0	—	0.9	
159-91	10-1133	16世紀中～末	木簡	11.0	2.4	0.3	
159-92	10-1009	16世紀後～末	楊枝	(11.9)	0.6	0.4	
159-93	9-15	16世紀中～末	加工木	(15.6)	4.1	1.4	
159-94	9-17	16世紀中～後	加工木	25.0	1.1	1.1	
159-95	9-130	中世	糸巻	15.5	1.5	1.1	
159-96	9-130	中世	糸巻	(9.8)	2.0	0.7	
159-97	4-石垣I裏込	16世紀後～末	加工木	22.2	8.3	4.0	炭化激しい。中央部に直径4.0cm穴
159-98	12-溝	16世紀中	舟形	19.4	5.8	3.2	

表23 下駄観察表

挿図番号	遺構番号	時期	種類	法量(cm)					備考
				長さ	巾	台巾	台厚	全高	
159-99	9-33	16世紀前～末	露卯下駄	21.9	11.2	8.4	4.2	9.7	前歯の一部と後歯欠損、歯裏に細礫付着
159-100	9-包含層	16世紀	連歯下駄	19.8	8.4	8.1	1.7	6.7	後歯欠損。台表に「×」印
159-101	9-129	16世紀中～後	連歯下駄	20.9	8.9	8.6	1.8	2.8	
159-102	10-1009	16世紀後～末	連歯下駄	20.1	9.1	8.9	1.1	3.2	前後の歯一部欠損、後歯補修
159-103	10-1009	16世紀後～末	連歯下駄	21.4	9.1	7.6	1.2	6.8	前歯の台の一部欠損、前歯に釘
159-104	4-包含層	16世紀	連歯下駄	10.3	5.9	5.7	1.5	4.0	後歯半分ほど炭化
159-105	9-包含層	16世紀	雪下駄	16.6	7.5	—	1.6	—	
159-106	4-包含層	16世紀	雪下駄	15.2	6.5	—	1.8	—	
159-107	9-14	16世紀中～後	雪下駄	16.7	7.4	—	1.2	—	
159-108	9-76	16世紀中～後	無歯下駄	19.8	8.1	—	1.9	—	台表に焼印・格子目文、台裏に黒漆少量残存

石製品

中世の遺構・包含層から出土した石製品のうち、状態が良好で呈示し得たのは119点である。以下、これらの石製品を、日用品・その他、石造塔、石瓦に分ける。なお、地下駐車場建設工事の際、平面的には未調査となった百間堀部分から、五輪塔水輪1点が出土した。川砂中に埋もれていたということから、吉野川の底に堆積した遺物として捉えられるため、ここで扱う(図169-9)。

日用品・その他

鉢・盤(図160-1・図164-1～3・5・図168-1・2) 図160-1・図168-1は鉢である。図168-1の外面には縦方向の丁寧な鑿調整が施される。内面には火鉢として利用した痕跡が残る。

石臼(図160-2～4・図161・図168-3) 図160-2～4・図161-1～8は石臼である。石臼は上下の臼を重ね、上臼を回転させ穀物などを粉に挽く道具である。図160-2～4・図168-3は粉挽き臼(いわゆる石臼)の上臼である。臼面に刻まれる溝の間隔は粗く、一単位の本数は6本である。

図161-1～8は茶葉を抹茶にする茶臼である。図161-1は茶臼の上臼である。側面に挽手を入れる穴があり、その周囲の形状は子持ち菱である。通常の上臼(粉挽き臼)に比べ溝の間隔は密で細く、一単位の本数は8～10本である。図161-2～8は茶臼の下臼である。臼面の周囲に、粉を受けるため丸膳状の皿が削り出される。

バンドコ・火鉢など(図162・図163・図164-4・図168-4) 図162・図168-4は、バンドコの蓋で、平面形は半楕円形のもの(図168-1～4・6)、楕円形のもの(図168-5・図168-4)がある。図163は、バンドコの本体である。図163-1・2は蓋を持たない型である。それぞれの平面形は、1・2が方形もしくは台形、3・5は半楕円形、6～8は楕円形と見られる。3・5～8は窓を持つ。図163-4は火鉢である。一部分の破片であるが、平面形は隅丸(長)方形で、各隅に脚が付くものと見られる。外面には縦方向の丁寧な鑿調整が施される。内面と口縁端部は滑らかに仕上げられる。図164-4は風炉の底部である。2つの脚が残る。

硯(図165・図166-1～3) 図165-12・13・図166-1・2を除き長方形の硯である。図165-14・15・図166-3は裏面に双脚を持つ。図165-14の裏面には「長州赤間関 藤原金澄」の線刻が認められる。図166-1は自然礫を方形に粗成形のまま利用し、表面に硯面を作り使用している。淡黄灰色の石材であるため、使用による墨痕が目立つ。図166-2は硯面の側縁部に装飾が見られる。

砥石(図166-4～7・図167-1～5・図168-5・6) 図167-1・3は中央部の凹みが強く、かなり使用していたと思われる。いずれも中砥もしくは仕上げ砥と思われる。

その他(図167-6～8) 6は笏谷石製の鑄型であり、小柄を鑄造したものと見られる。外面は鑿による粗成形である。7は、小形ではあるが、重石などに使用されたものと見られる。8は薬研である。

石造塔(図169・図170)

五輪塔(図169・図170-1～5) 五輪塔には、一石五輪塔と、空輪と風輪が一体となった空風輪・火輪・水輪・地輪の4つの部位からなる組み合わせ五輪塔がある。

図169-1～5は空風輪である。4・5は空輪部分を欠く。1には梵字の「キャ」「カ」が認められる。

図169-7・8は火輪である。7はごく一部を残すのみであり、8は完形である。空風輪を組み合わせるための臍穴は、ともに隅丸方形である。

図 169-6・9～11 は水輪で、球形または楕円球形の上下端を切り取った形をしている。6 は、ごく一部を残すのみである。完形である 9 の月輪は、陽刻された圏線の周囲に小花弁状紋様が全周し、反花座が備わる。月輪には梵字の「ア」が刻まれる。10・11 の月輪は、素紋で面的に陽刻されたものであり、11 の月輪の下部には、残存状態が良くないが、反花座が認められる。ともに梵字の「バ」が刻まれる。なお、9・11 に認められる反花座の形状は、14 世紀以降の所産であることを示す。

図 169-12～14・図 170-1～5 は地輪である。地輪は形状から他に比べ転用されることが多かったと思われる。図 169-12 には梵字の「ア」が刻まれる。図 170-3～5 は一石五輪塔のものと思われるが、これらには線刻による文字が書かれている。3 には、梵字の「ア」と、「壽洞青波禅定門」(戒名)「永禄七甲子年五月十五日」(1564 年の命日)が確認される。4 は、石垣の裏込中から検出されたものである。「永禄五壬戌五月」(1562 年)と確認される。5 は、板石敷通路下層の造成土中から検出されたものである。「永禄八年」(1565 年)と確認される。いずれも朝倉氏が栄華を誇った時期に建てられた一石五輪塔である。

宝篋印塔(図 170-6～9) 6・7 は相輪、8 は笠部、9 は基礎である。いずれも宝篋印塔として扱うが、8 の笠部以外については確証がない。

6 は、水煙・九輪上半部を欠くが、請花・伏鉢部分は良好に残存する。7 は大型であるが、伏鉢の部分が辛うじて残存するのみである。6・7 の伏鉢は、ともに無文であることから、鎌倉時代後期～室町時代後期の間(文禄期以前)に製作されたものと見られる。

8 の笠部は、一体成形で、笠部上部段形は 7 段、下部段形は 2 段である。隅飾りは、装飾がなく、やや外側に直線的に傾く。上部に隅丸方形の臍穴を持つ。下面には軸受け孔を持たない。

9 の基礎は、2 段の直角段座であり、上面の塔身の載る部分に四角い軸受け孔を持つ。これは、石垣の裏込栗石中から出土したもので、底面には切断しようとしたかのような痕跡が認められる。

石 瓦(図 168-7・8・図 171～174)

鬼瓦(図 171-1・2) 1 は、鬼瓦の鳥衾部分である。鳥衾には三つ巴文があり、黒漆が塗られる。一体成形の鬼瓦である。鳥衾の基部の左右にも線刻の一端が認められ、黒漆が付着する。2 は、鬼面の口の周囲で、赤漆で彩色された痕跡が認められる。ハリカワには渦文が線刻されており、その渦文には黒漆が見られる。2 点とも笏谷石製である。それぞれの図の横に、復元案をあわせて提示した。1 の正面中央部は無紋の可能性もあるが、何らかの紋が陽刻などにより造り出されていたことも考えられる。

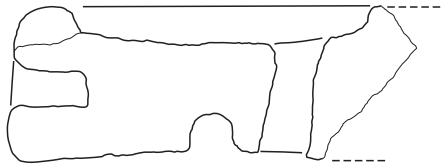
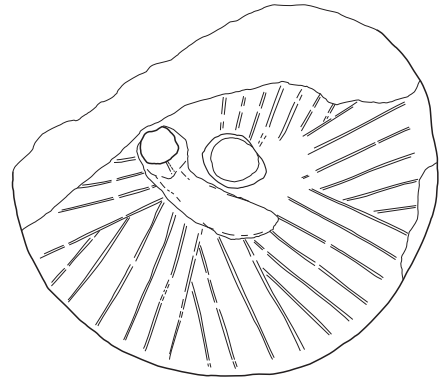
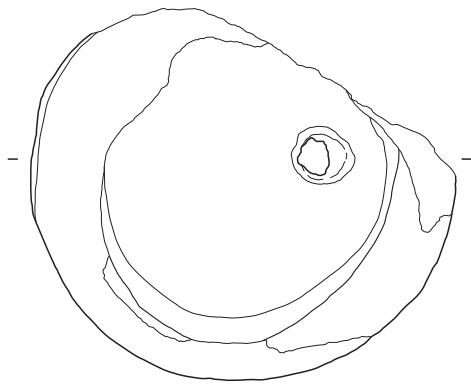
軒丸瓦(図 168-8・図 172-1～5) いずれも三つ巴紋の文様があり、図 172-1～4 の三つ巴紋には黒漆が塗られる。いずれも笏谷石製である。なお、図 172-1・2 は向って左側に平瓦が接続する形状の棧瓦である。

棟瓦(図 168-7・図 171-3・5～7・図 172-6～8・図 173-1～3) 図 168-7・図 171-3 は、堀に使われた瓦と思われる。棟瓦は、規模・形態が様々であり、建物や使用される部位の異なるものと見られる。いずれも笏谷石である。

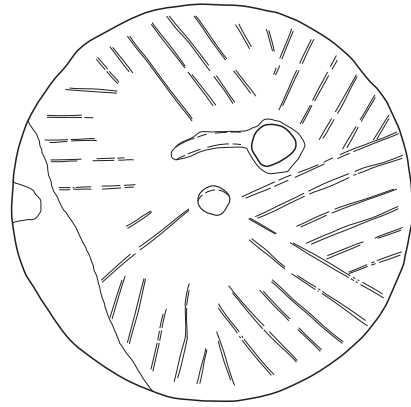
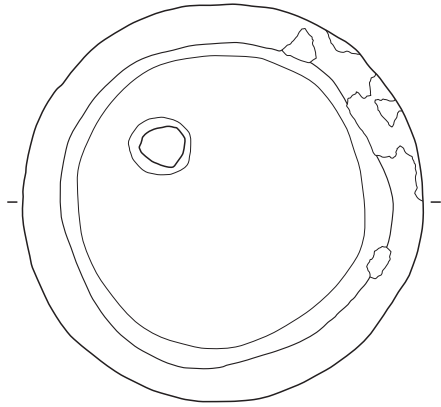
丸瓦(図 173-4～7・図 174-1～7) 図 174-4 には方形の孔が 2 箇所を確認される。いずれも笏谷石製である。

軒平瓦・平瓦(図 174-8・9) 8 は平瓦、9 は軒平瓦である。いずれも笏谷石製である。

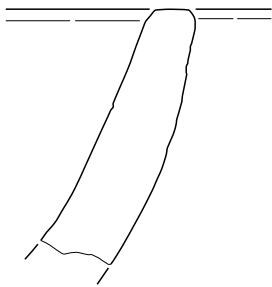
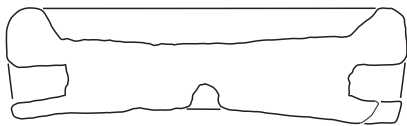
(青木)



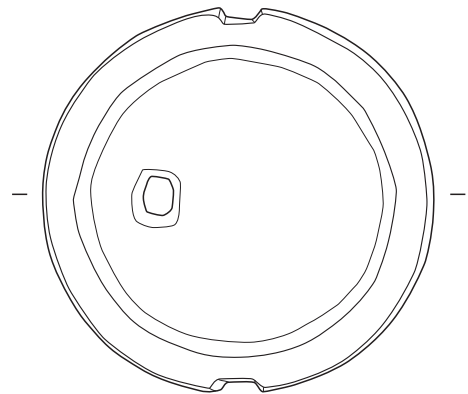
2



3



1



4



图160 石製品① (S=1/4 : 1, S=1/6 : 2-3, S=1/8 : 4)

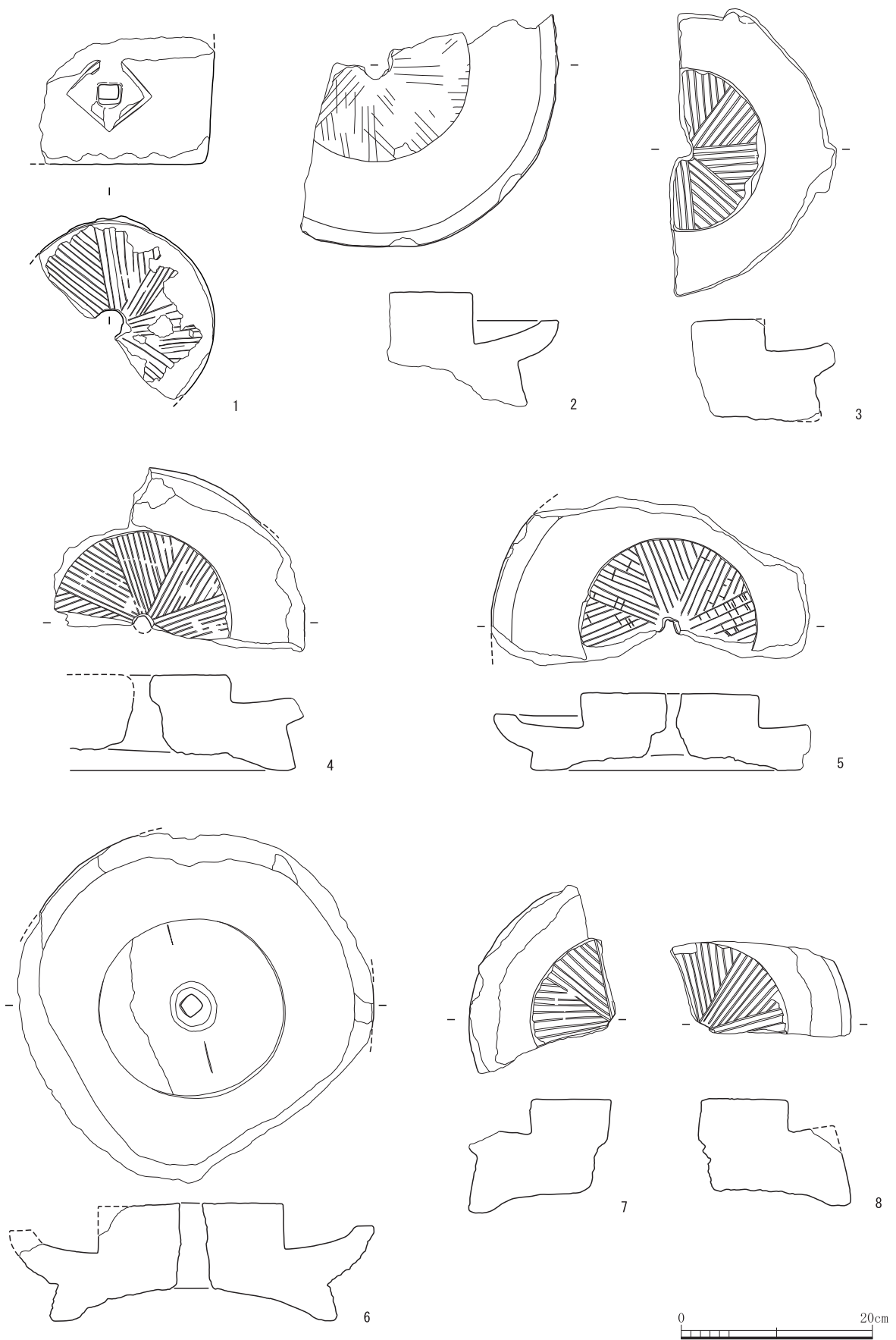


图161 石製品② (S=1/6)



图162 石製品③ (S = 1/4)

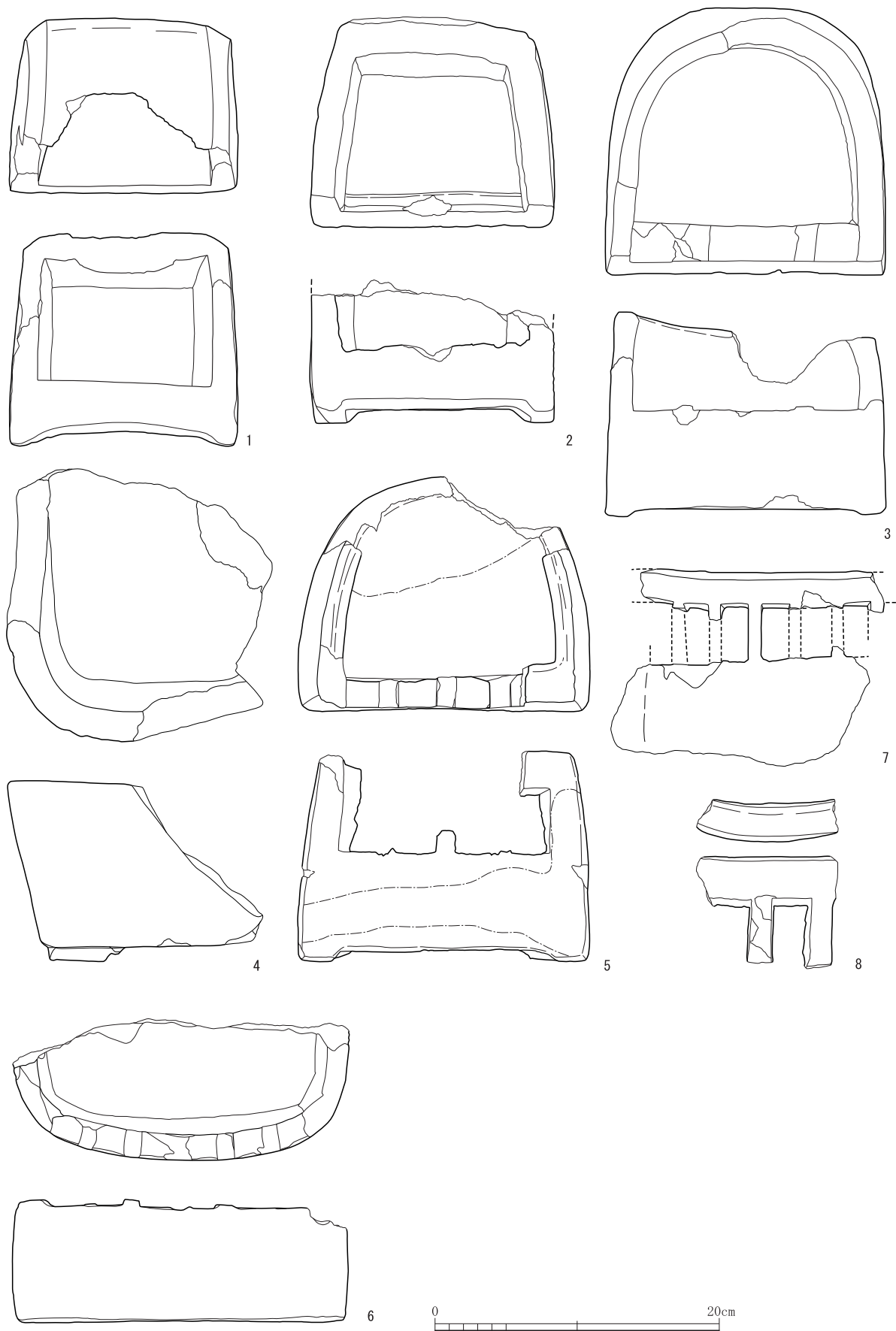


图163 石製品④ (S = 1/4)

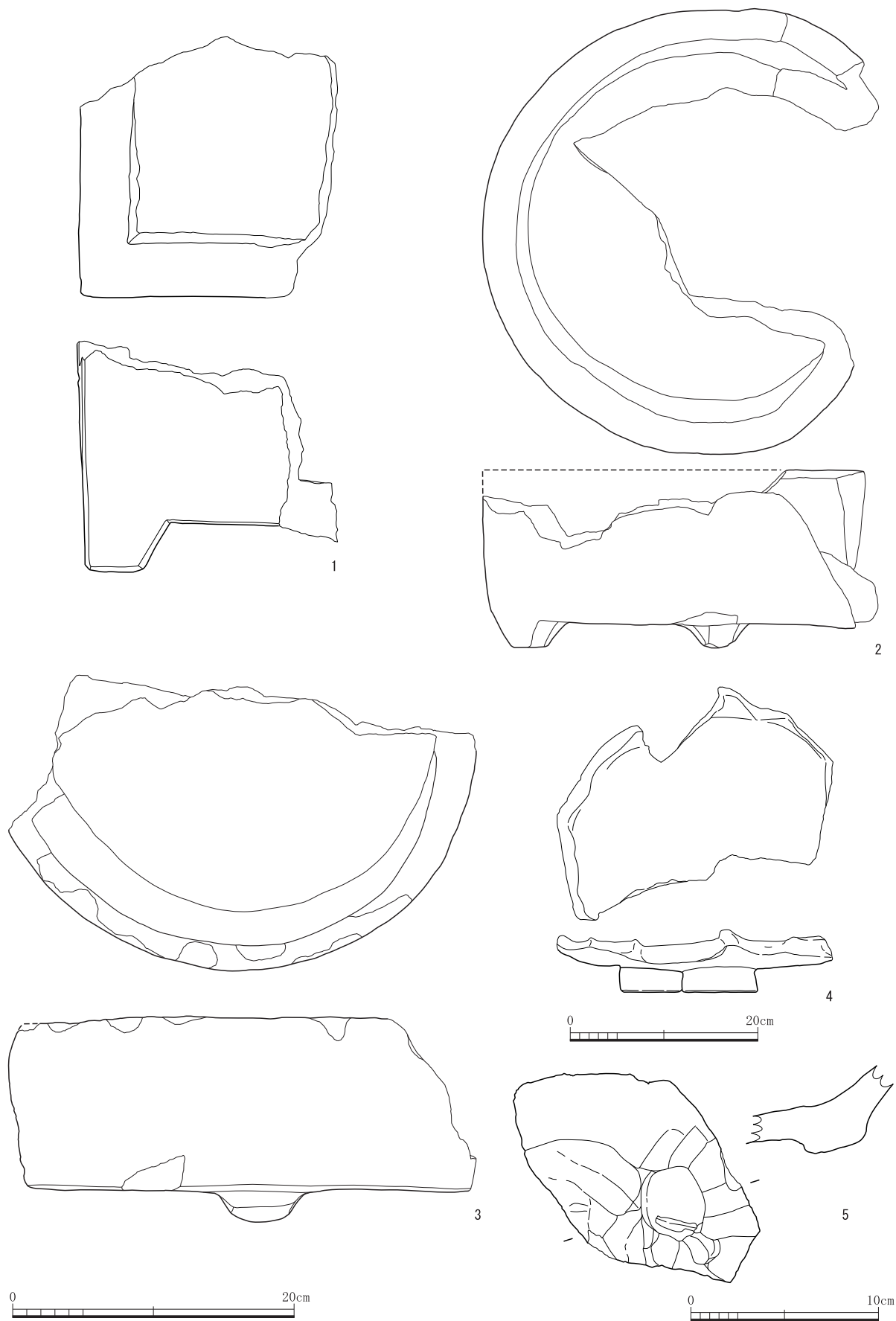


图164 石製品⑤ (S=1/3 : 5, S=1/4 : 1~3, S=1/6 : 4)

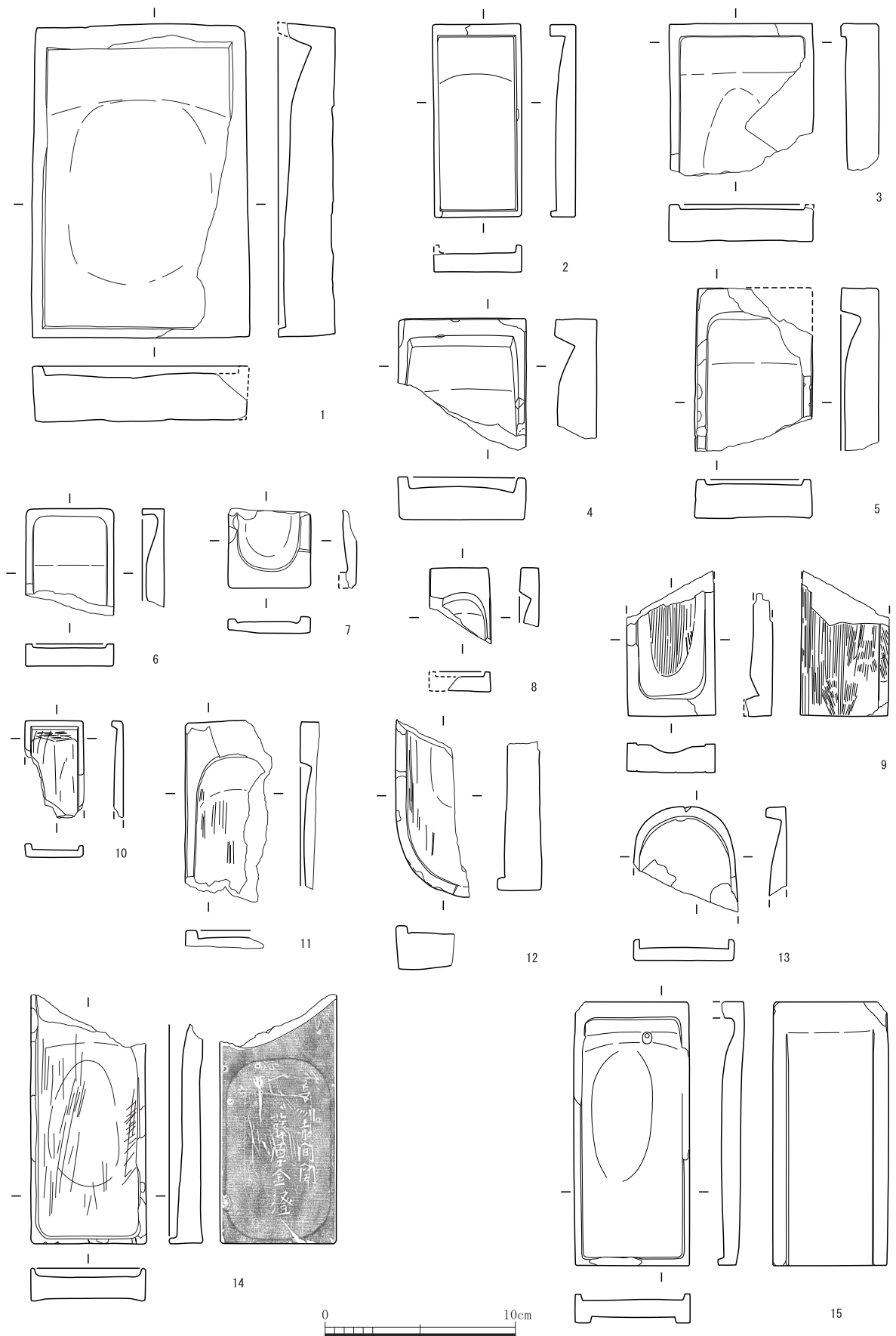


图165 石製品⑥ (S = 1/3)



图166 石製品⑦ (S=1/3)

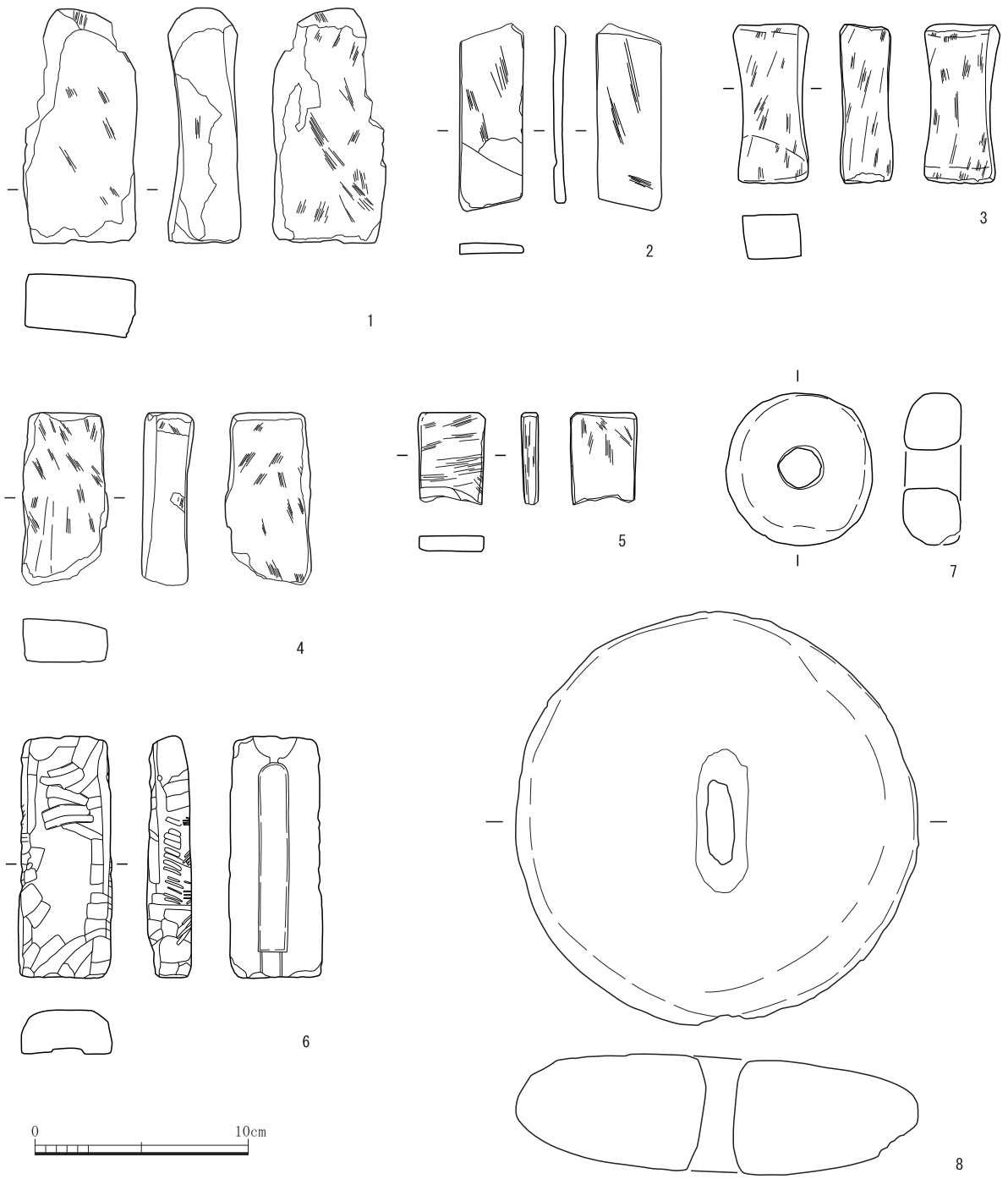


图167 石製品⑧ (S=1/3)

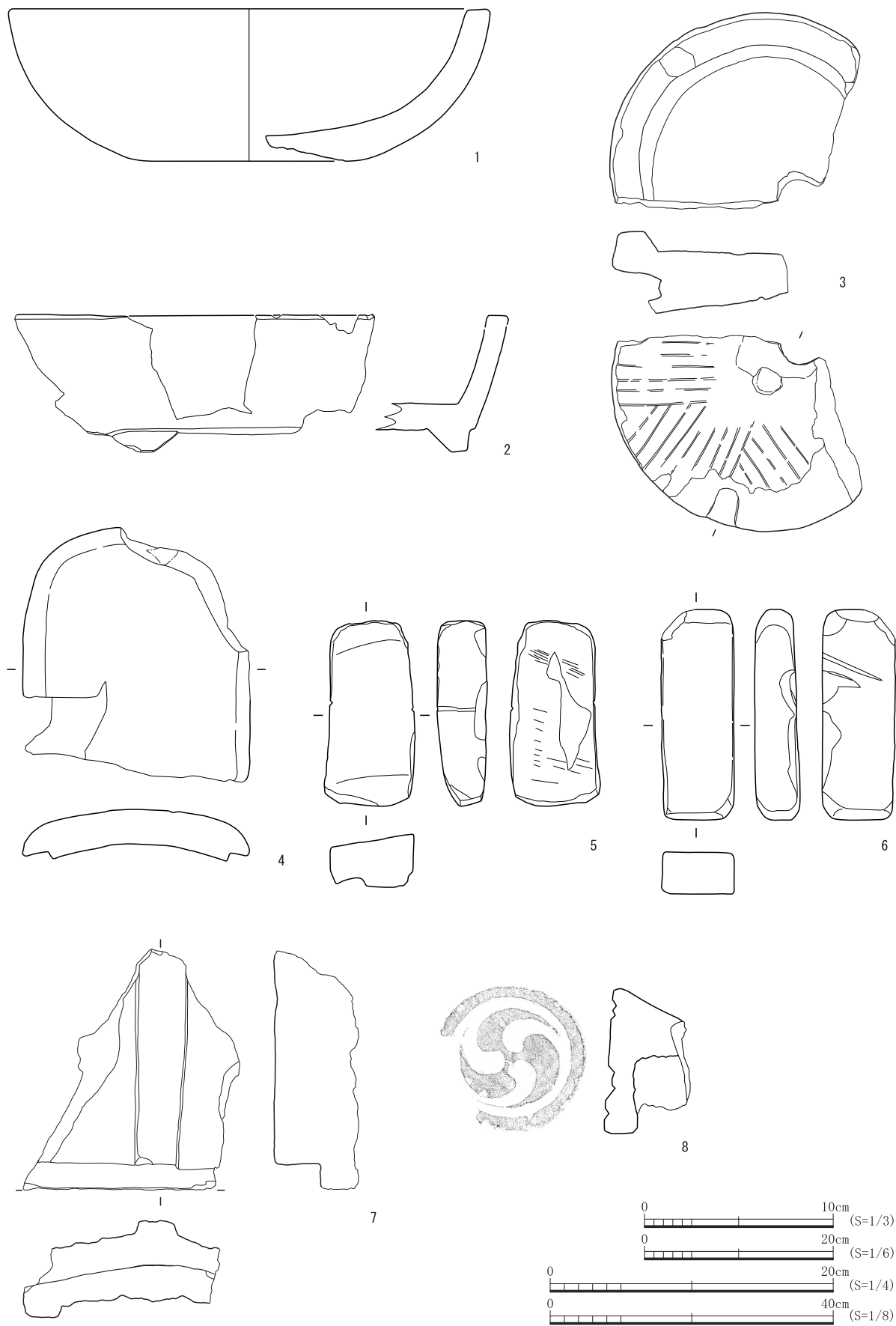


图168 石製品⑨ (S=1/3 : 5·6, S=1/4 : 1·4, S=1/6 : 2·3·8, S=1/8 : 7)

表24 石製品観察表

挿図番号	種類	出土地点		法 量 (cm)			備 考	S番号	R番号
		グリッド	遺構						
160-1	鉢	C-8	9-169	-	(13.5)		D縁	209S16	R9-434
160-2	石臼			33.7	12.7		粉挽き臼・上臼	2x S 02	RX-10
160-3	石臼			31.8	9.1		粉挽き臼・上臼	2x S 03	RX-12
160-4	石臼			41.6	10.2		大形・粉挽き臼・上臼		
161-1	石臼	B-6・C-6	石垣 裏込	21.5	(13.3)		茶臼・上臼	210S32	R10-559
161-2	石臼	A-5	板石敷通路周辺	(20)	(38.5)	12.0	茶臼・下臼	204S09・10	R4-137 R4-157
161-3	石臼	A-5・B-5	板石敷通路下層	(17.5)	(29.5)	11.0	茶臼・下臼	204S30	R4-859
161-4	石臼	C-7	9-11	(18.6)	(35)	10.0	茶臼・下臼	209S17	R9-466
161-5	石臼	B-7	2-217	(18.6)	(35)	8.1	茶臼・下臼	202S08	R2-160
161-6	石臼	A-7	2-226	(18.5)	(38.4)	13.2	茶臼・下臼	202S10・11	R2-161
161-7	石臼	C-7	9-11	(18)	(36)	11.2	茶臼・下臼・S27と同一個体	209S19	R9-122
161-8	石臼	C-7	9-11	(18)	(36)	11.2	茶臼・下臼・S19と同一個体	209S27	R9-122
162-1	バンドコ	B-9	2-214	(17.7)	(14.6)	2.95	蓋(半楕円形)	202S18	R2-249
162-2	バンドコ	A-9	トレンチ204	(16.7)	14.4	3.8	蓋(半楕円形)	202S89	R2-22
162-3	バンドコ	C-1	10-1056	13.8	11.3	2.2	蓋(半楕円形)	210S09	R10-161
162-4	バンドコ	C-9	包含層	(16.25)	(13.7)	3.5	蓋(半楕円形)	209S103	R9-457
162-5	バンドコ	C-7	石垣	17.3	(13.8)	3.6	蓋(楕円形)	210S11	R10-190
162-6	バンドコ	C-8	9-31	(15.5)	14.4	3.0	蓋(半楕円形)	209S10	R9-284
163-1	バンドコ	B-8	2-241	16.0	15.0	12.3	無蓋・手焙り形	202S14	R2-239
163-2	バンドコ	C-8	9-154	17.0	(10)	14.8	無蓋・手焙り形	209S14	R9-405
163-3	バンドコ	B-9	2-214	19.6	(14.4)	18.8	有蓋・半楕円形・4つ窓	202S16	R2-240
163-4	火鉢	B-7	カクラン	(17.5)	(19.4)	12.8	方形・脚付き・外面丁寧な調整	204S211	R4-18
163-5	バンドコ	A-7・B-7	2-217	20.4	14.9	(16.4)	有蓋・半楕円形・4つ窓	202S12	R2-164
163-6	バンドコ	C-7	石垣	(23.7)	(8.6)	(9.9)	有蓋・楕円形・6つ窓	210S12	R10-193
163-7	バンドコ	C-7	包含層	(19.2)	(13.8)	2.1	有蓋・楕円形・窓部分	209S38	R9-309
163-8	バンドコ	C-8	包含層	(10)	(7.5)	2.7	有蓋・楕円形・8つ窓?	209S102	R9-171
164-1	盤		石垣 裏込	(18)	(17.5)	(16.1)	大形・方形・脚付き	210S31	R10-544
164-2	盤	A-7	2-335	(32)	12.8		円形・脚付き	202S19	R2-366
164-3	盤		カクラン	(35)	14.7		円形・脚付き	202S101	R2-01
164-4	風炉	C-1	10-1057	-	(6)		底部のみ・三脚のうち二脚残存	210S10	R10-168 R10-234
164-5	盤		包含層	(11)	(11)	(5)	方形・脚付き	210S	
165-1	硯	C-7・C-9	包含層	16.4	11.5	3.1	3点接合	209S78	R9-145
165-2	硯		包含層	10.5	4.65	1.4		203S	R3-123
165-3	硯	C-9	9-15	(8)	7.6	2.0		209S18	R9-481
165-4	硯	C-8	9-129	(7)	7.8	2.2		209S15	R9-433
165-5	硯	C-9	9-15	(8.6)	6.2	2.1		209S02	R9-78
165-6	硯	C-8・9	包含層	(5.6)	4.6	1.2		209S76	R9-07
165-7	硯	B-9	2-217(下層)	(4.2)	4.4	0.9		202S48	R2-197
165-8	硯	C-7	包含層	(4.0)	3.2	1.1		209S80	R9-309
165-9	硯		包含層	7.6	4.5	1.5		203S	R3-320
165-10	硯		包含層	(5.1)	3.1	0.7		203S	R3-61
165-11	硯	C-8	9-25	(9.5)	(4.5)	(1.0)		209S26	R9-92
165-12	硯	B-6・B-7	2-217	(9.3)	(3.9)	2.3		202S30	R2-128
165-13	硯		包含層	4.7	5.3	1.1		203S	R3-444
165-14	硯		最上層	(13)	6.0	1.8	記銘「長州赤間関 藤原金澄」	210S219	R10-01
165-15	硯		包含層	13.8	6.1	1.5		203S	R3-648
166-1	硯	C-8	9-134	(11.3)	8.6	2.7		209S11	R9-300
166-2	硯	C-2	10-1271	(11.3)	(6.3)	1.6		210S19	R10-446
166-3	硯	B-8	包含層	(6.6)	(3.0)	1.7		202S94	R2-72
166-4	砥石	B-8	4-817	(7.3)	5.4	1.4		204S89	R4-715
166-5	砥石	C-6	10-5036	(9.2)	3.1	1.2		210S82	R10-569
166-6	砥石	C-2	包含層2層	19.3	9.6	5.5		210S179	R10-313
166-7	砥石	C-2	カクラン	(13.2)	(7.2)	2.1		210S185	R10-25
167-1	砥石	C-7	9-06	(11.0)	5.3	3.4	R9-77接合	209S41	R9-521
167-2	砥石	B-8	トレンチ201	8.8	3.0	3.0		202S88	R2-05
167-3	砥石		4-857	7.4	3.5	2.4		204S36	R4-1075
167-4	砥石	B-4・5	板石敷通路下層	(8.1)	4.0	2.4		204S94	R4-817
167-5	砥石	B-7・8	包含層	(4.3)	4.0	2.4		204S63	R4-244
167-6	鋳型	A・B-7・8	包含層	11.4	4.4	2.1	小柄鋳造	203S	R3-310
167-7	環状石製品	B-1	4-811	7.3	2.4		重石?	204S26	R4-714
167-8	薬研	B-4・5	板石敷通路下層	19.4	5.3		笏谷石製	204S29	R4-783
168-1	鉢	A-4	3-014	34.1	(15)	10.7	外面に丁寧な調整・煤付着	203S01	R3-119
168-2	盤		包含層	(38.2)	14.6		円形・脚付き	203S	R3-602
168-3	石臼		東側石垣裏込	(31)	(9)		粉挽き臼	203S10	R3-696
168-4	バンドコ		包含層	(18)	16.0	2.5	蓋(楕円形)	203S35	R3-671 R3-630
168-5	砥石	B-8・C-8	包含層	9.8	4.7	2.6		203S34	R3-644
168-6	砥石	B-6	包含層	11.1	3.9	2.3		203S41	R3-279